Canon

レーザビームプリンタ

Satera
LBP5800/5700

ＬＩＰＳ機能ガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の取扱説明書CD-ROMに収められているPDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **パソコンと接続するには**
- **オプション品を取り付けるには**

設置ガイド

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／スタート編

- **プリンタドライバのインストール方法を知るには**
- **印刷するには**
- **添付ソフトウェアの使いかたを知るには**

LIPS ソフトウェアガイド／本編

- **プリントサーバの取り付けかたを知るには**
- **TCP/IP ネットワーク（Windows）の設定方法を知るには**

LBP5800の場合のみ

ネットワークガイド／スタート編

- **いろいろなネットワークの設定方法を知るには**

LBP5800の場合のみ

ネットワークガイド／本編

- **操作パネルを使ってプリンタを設定するには**

LIPS 機能ガイド（本書）

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**

LBP5800の場合のみ

リモート UI ガイド

別売の取扱説明書

お求めについては販売店にご相談ください。

プログラマーズマニュアル

LIPS対応のプリンタドライバや印刷の設定プログラムなどを作成するプログラマー用の取扱説明書です。

オプション品に付属の取扱説明書

オプション品の設置のしかたや使いかたを説明しています。

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

第1章 メニュー機能の使いかた

必ずお読みください

第2章 メニューの機能と操作

必ずお読みください

第3章 共通セットアップメニューの設定項目

第4章 LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

第5章 ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

第6章 セットアップ以外のメニューの設定項目

第7章 付録

ソフトウェアのバージョンアップ方法やユーティリティメニューから出力できるリスト、動作モードを切り替えて出力できるリストの内容などについて説明しています。

巻末に、各メニューの階層を示す「メニュールートマップ」があります。各メニューの設定項目や内容を知りたいときにご活用ください。

本製品のリモート UI を使い、パソコンからリモートで設定や管理を行う場合は添付の「リモート UI ガイド」(CD-ROM) もお読みください。(LBP5800 のみ標準)

ユーザーズガイドをあわせてお読みください。

目次

第３章　共通セットアップメニューの設定項目

第 5 章　ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

第６章　セットアップ以外のメニューの設定項目

第７章　付録

はじめに

このたびはキヤノンLBP5800/5700をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となる説明などに、下記のマークを付けています。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

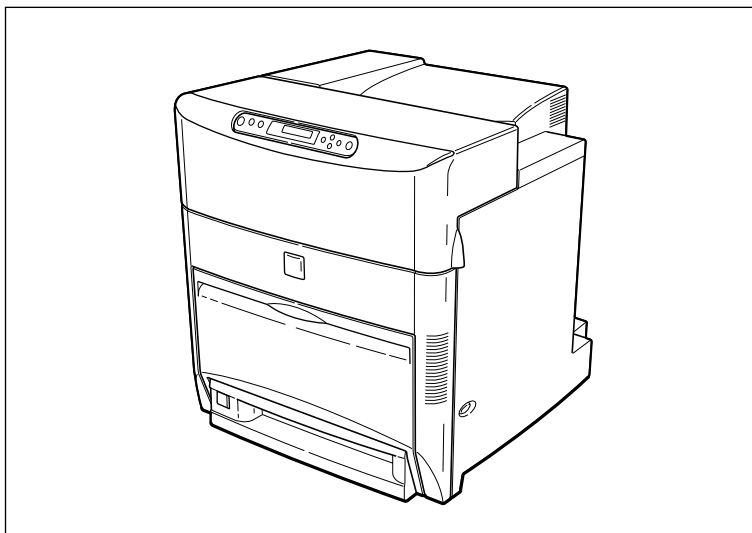
メモ　操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：[キー名称]
  例：[オンライン]
  　　[ユーティリティ]

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りのない限り、LBP5800 の場合のものです。（HDD ランプは LBP5700 にはありません。）

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版：	Windows NT
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows® operating system：	Windows
Extended Unix Code：	EUC

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、LIPS は、キヤノン株式会社の商標です。

Apple、Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

HP、HP-GL は、米国 Hewlett-Packard Company の米国の商標です。

IBM、AT は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

ESC/P、ESC/P-J84 は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）の商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc. よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

Century 702 Century Schoolbook, Century 702 Century Schoolbook Bold, Century 702 Century Schoolbook Bold Italic, Century 702 Century Schoolbook Italic, Chancery 801 ITC Zapf Chancery Medium Italic, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Book Oblique, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi, Geometric 711 ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique, ITC Zapf Dingbats, Revival 711 ITC Bookman Demi, Revival 711 ITC Bookman Demi Italic, Revival 711 ITC Bookman Light, Revival 711 ITC Bookman Light Italic, Swiss 721 Narrow, Swiss 721 Narrow Bold, Swiss 721 Narrow Bold Oblique, Swiss 721 Narrow Oblique, Zapf Calligraphic 801, Zapf Calligraphic 801 Bold, Zapf Calligraphic 801 Bold Italic, Zapf Calligraphic 801 Italic, Zapf Humanist 601, Zapf Humanist 601 Bold, Zapf Humanist 601 Italic

下記の書体は米国 Bitstream Inc. の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

下記の書体は International Typeface Corporation の商標です。

ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, ITC Zapf Chancery, ITC Zapf Dingbats

本製品で使用している明朝体、ゴシック体のフォントは、それぞれ平成明朝体™ W3、平成明朝体™ W5、平成明朝体™ W7、平成明朝体™ W9、平成角ゴシック体™ W3、平成角ゴシック体™ W5、平成角ゴシック体™ W7、平成角ゴシック体™ W9 を使用しています。これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品が対応しているコントロールコマンドについて

標準対応しているコントロールコマンドについて

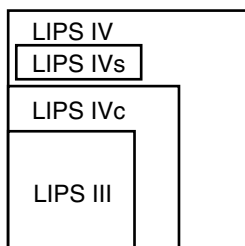
LBP5800は標準でLIPS、ESC/Pエミュレーションコマンドに対応していて、LBP5700はLIPSコマンドのみに対応しています。

コントロールコマンドとは、プリンタを制御するコマンド体系のことで、パソコンのデータをプリントするという一連の作業は、すべてパソコンから送られてくるコントロールコマンドによって指示されています。

メモ　LBP5800の場合、IBM5577、HP-GLなどの標準プリンタとしてエミュレートさせることもできます。この場合、オプションのコントロールROMが必要です。（LBP5700はコントロールROMの装着はできません。）

■ LIPSモード

LIPSは、LBP Image Processing Systemの略で、キヤノンが独自に開発したページプリンタをコントロールするためのコマンド体系です。LIPSに対応しているアプリケーションソフト（一太郎、Lotus 1-2-3、桐など）は、このモードでプリントします。Windows やMacintoshでは、付属のプリンタドライバを組み込むと、自動的にLIPSモードでプリントします。

LIPSには、現在LIPS II、LIPS II+、LIPS III、LIPS IVc、LIPS IVs、LIPS IVのバージョンがあります。これらのうちLBP5800では、LIPS II+、LIPS III、LIPS IVに、LBP5700では、WindowsおよびMacintosh専用のコントロールコマンドのLIPS IVs（内蔵フォントなし）に対応しています。

メモ
- LIPS II+対応アプリケーションソフトを使用する場合、従来のレーザショットシリーズで行ったプリントとは解像度が異なります。
- LIPS IVc対応アプリケーションソフトからも本製品でプリントすることができますが、解像度の違いにより、プリント結果の見た目は異なります。

■ ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V コンピュータ）、AX コンピュータで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンタの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。これらのコンピュータで、LIPS に対応していないアプリケーションソフトを使用しているときは、このモードでプリントします。セイコーエプソン（株）が提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

■ BMLinkS モード

BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMIA）が推進しているオフィス機器インタフェースです。BMLinkS を利用することで、ネットワーク上にある様々なメーカーのプリンタやスキャナを共通のフォーマットを用いて接続することができます。LBP5800 は標準で BMLinkS に対応しています。LBP5700 は、BMLinkS に対応したオプションのプリントサーバを装着することで BMLinkS に対応します。BMLinkS の詳細については、ユーザーズガイド「第 2 章 プリンタの使いかた」を参照してください。

コントロールコマンドごとの動作モード

LBP5800 はパソコンから送られてきたデータのコントロールコマンドを判別して、自動的に動作モードを LIPS モード、ESC/P エミュレーションモードに切り替えることができます。ただし、アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが限定されている場合や、自動切り替えでうまく動作モードが切り替わらないときは以下のように、コントロールコマンドと動作モードを対応させます。LIPS のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「LIPS モード」、ESC/P のコントロールコマンドでデータを受け取ってプリントできる状態にするには「ESC/P エミュレーションモード」に切り替えます。LBP5800 では操作パネルのメニュー機能を使って動作モードを切り替えたり、プリントするときの環境を設定することができます。

メニュー機能の使いかた

この章では、プリンタの操作パネルに表示されるメニューの機能と種類、操作キーの使いかた、ディスプレイの見かたについて説明しています。

メニュー機能

メニュー機能の概要や種類について説明しています。

メニュー機能とは

プリント時には、プリント枚数や用紙サイズなどを設定します。これらの一般的な設定は、通常はアプリケーションソフトやプリンタドライバで行います。

しかし、本プリンタには、プリント枚数や用紙サイズ設定などのほかにも多数の設定項目が用意されており、多様な用途に応じてプリントできます。本プリンタの設定項目の中には、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できないものもあり、その場合は「メニュー機能」で設定します。

メニュー機能では、多数の設定項目が目的別にメニューの形式でまとめられているので、設定がしやすくなっています。

メニュー機能を設定する方法には次の 2 種類があります。

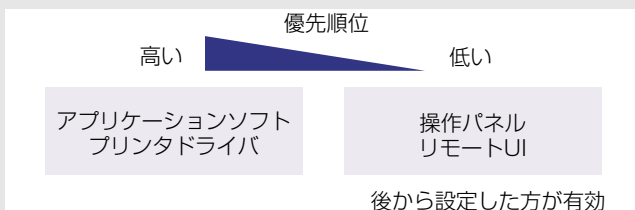
■ プリンタの操作パネルで設定する方法
プリンタのディスプレイの表示を見ながらキーを押して操作します。

■「リモート UI」で設定する方法（LBP5800 のみ標準）
操作パネルで行う設定の一部が、パソコン側から Web ブラウザを使用して行うことができます。

メモ

- 本書では、操作パネルでメニュー機能を設定する方法のみを説明しています。リモート UI で設定する方法については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- メニュー機能の設定内容は、通常は電源をオフにしても消えないメモリ（NVRAM）に登録されます。したがって、電源を入れなおしても、電源をオフにする前と同じ設定で起動します。

●設定の優先順位

アプリケーションソフトやプリンタドライバと同じ項目をメニュー機能で設定しても、アプリケーションソフトやプリンタドライバで設定した内容のほうが有効になります。また、メニュー機能にしかない項目を、操作パネルで行う場合と「リモート UI」で行う場合では、後から設定した内容が有効になります。

プリンタドライバやリモート UI は本プリンタに付属しています。操作については、「LIPS ソフトウェアガイド／本編」、プリンタドライバのヘルプおよび「リモート UIガイド」を参照してください。

設定項目によっては、プリンタの電源を入れなおすか、ハードリセットを行ったときに有効になるものもあります。

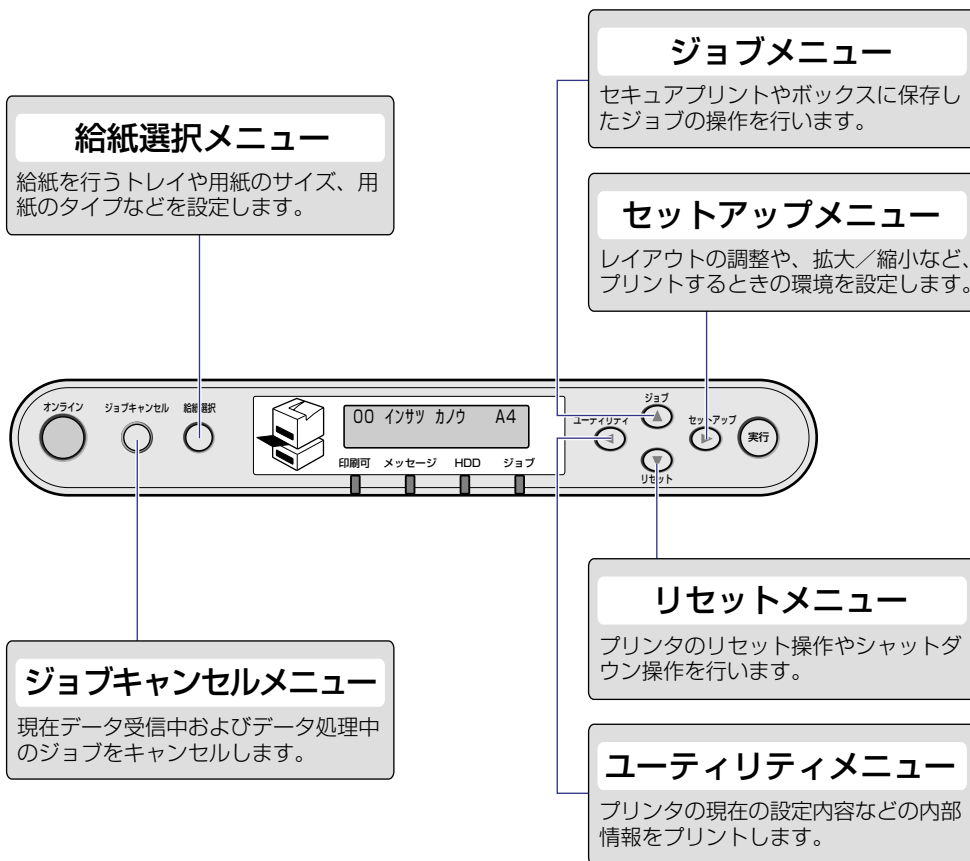
メニューの種類

メニューには、次の図で示した 6 種類があります。

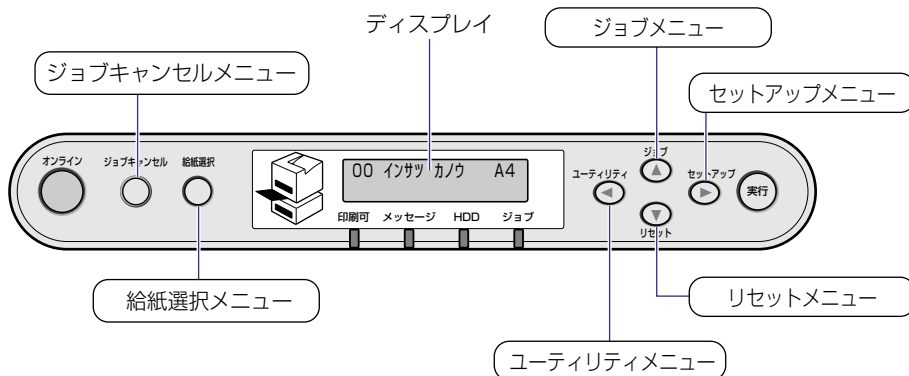
それぞれのメニューは、プリンタをオフラインにした状態で操作パネルのキーを押して、ディスプレイに表示します。

各メニューの機能、構造、および操作の流れについては、「メニューの機能と操作」（→ P.2-1）を参照してください。

また、各メニューの内容については、「共通セットアップメニューの 設定項目」（→ P.3-1）、「LIPS 専用セットアップ メニューの設定項目」（→ P.4-1）、「ESC/P 専用セットアップ メニューの設定項目」（→ P.5-1）、「セットアップ以外のメニューの設定項目」（→ P.6-1）を参照してください。

ジョブメニュー
セキュアプリントやボックスに保存したジョブの操作を行います。
給紙選択メニュー
給紙を行うトレイや用紙のサイズ、用紙のタイプなどを設定します。
セットアップメニュー
レイアウトの調整や、拡大／縮小など、プリントするときの環境を設定します。
オンライン
ジョブキャンセル
給紙選択
00 インサツ カノウ A4
印刷可
メッセージ
HDD
ジョブ
ジョブ
ユーティリティ
セットアップ
実行
リセット
リセットメニュー
プリンタのリセット操作やシャットダウン操作を行います。
ジョブキャンセルメニュー
現在データ受信中およびデータ処理中のジョブをキャンセルします。
ユーティリティメニュー
プリンタの現在の設定内容などの内部情報をプリントします。

操作キーの使いかた

メニューの操作には、以下のキーを使います。

それらのうち、[セットアップ]、[ユーティリティ]、[ジョブ]、[リセット]、[ジョブキャンセル]、[給紙選択] には、メニューを表示する機能があります。

■ 各キーの機能は、次のとおりです。

キー	機能	
オンライン	オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。メニューの操作は、すべてこのキーを押してオフライン状態に切り替えてから行います。キーが点灯しているときがオンライン状態、消灯しているときがオフライン状態です。 本文中では［オンライン］と表記します。	
ジョブキャンセル	オフライン状態に切り替えた直後	メニューの表示中
	ジョブランプが点灯・点滅している状態（データ処理中・データ受信中）で押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。本文中では［ジョブキャンセル］と表記します。	動作しません。
給紙選択	給紙選択メニューを表示します。本文中では［給紙選択］と表記します。	給紙選択メニュー内では、［►］と同じ動作（項目や設定値の選択）をします。
ユーティリティ	ユーティリティメニューを表示します。本文中では［ユーティリティ］と表記します。	同じ階層の左側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が減ります。そのまま押し続けると、数値の減る速度が速くなる項目もあります。本文中では［◄］と表記します。

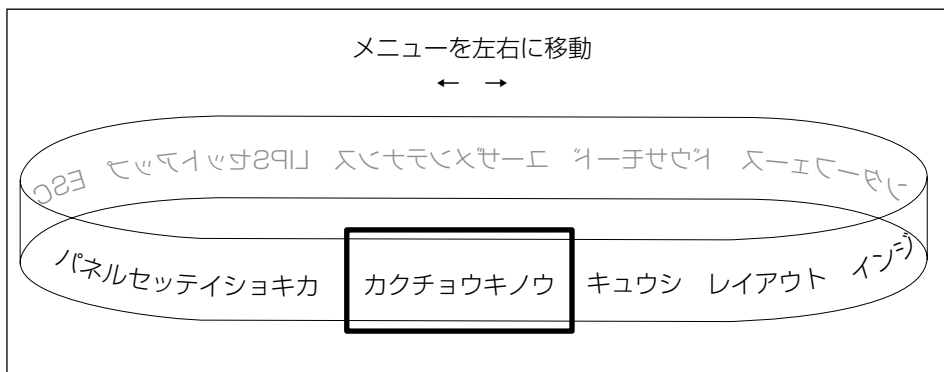
キー	機能	
ジョブ ▲	ジョブメニューを表示します。本文中では［ジョブ］と表記します。	上の階層の項目を表示します。本文中では［▲］と表記します。
▼ リセット	リセットメニューを表示します。本文中では［リセット］と表記します。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［▼］と表記します。［実行］と同じ動作をします。
セットアップ ►	セットアップメニューを表示します。本文中では［セットアップ］と表記します。	同じ階層の右側の項目を表示します。項目が数値の場合は数値が増えます。そのまま押し続けると、数値の増す速度が速くなる項目もあります。本文中では［►］と表記します。
実行	動作しません。	選択した項目を実行します。または次の階層に進みます。本文中では［実行］と表記します。［▼］と同じ動作をします。

ディスプレイの見かた

メニュー機能を設定するときの、プリンタのディスプレイに表示される内容について説明しています。

メニューの構造

メニューは下の図のように、1 つのつながった輪のような構造（ループ構造）になっており、この輪の中の一項目がディスプレイに表示されています。したがって、[◀] や [▶] を押して、同じ方向に続けてメニューを移動すると、最初の項目が再び表示されます。

メニューは、階層ごとにそれぞれ別のループ構造になっています。

メニュー操作に入ることができる状態

プリント可能な状態のときに、オフライン状態にしてメニュー操作を行うことができます。プリント可能な状態とは、次の 2 つの条件を満たしている状態です。

- ジョブランプとメッセージランプが消灯している
- ディスプレイに「00　■■■■」のメッセージが表示されている

例 1）動作モード自動選択の場合のプリント可能表示（LBP5800 のみ）

```
00 インサツ カノウ    A4
```

例 2）LIPS モードの場合のプリント可能表示

```
00 LIPS              A4
```

例 3）ESC/P エミュレーションモードの場合のプリント可能表示（LBP5800のみ）

```
00 ESC/P      A4
```

ディスプレイの見かた

ディスプレイは上下 2 段表示になっています。上の段には前の階層で選択した項目が、下の段には現在の階層内で選択できる項目が表示されます。

同じ階層の中で他に選択できる項目がある場合は、ディスプレイの右端に「→」が表示されます。

```
カクチョウ キノウ
スリープ゜ ト゛ウサ     →
```

現在の階層の下にさらに階層がある場合は、ディスプレイの右端に「↓」が表示されます。

```
カクチョウ キノウ
スリープ゜ ト゛ウサ     ↓
```

他に選択できる項目と、下の階層が同時にある場合は「→」と「↓」が交互に表示されます。

現在設定されている設定値は、ディスプレイの左端に「＝」が表示されます。

```
スリープ゜ ト゛ウサ
=スル               →
```

メニューの機能と操作

この章では、各メニューの構造と操作パネルでプリント環境を設定する方法について説明しています。

共通セットアップメニューの機能と操作

共通セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。

共通セットアップメニューの機能と構造

ここでは、共通セットアップメニューの機能とメニュー構造について説明します。

共通セットアップメニューの機能

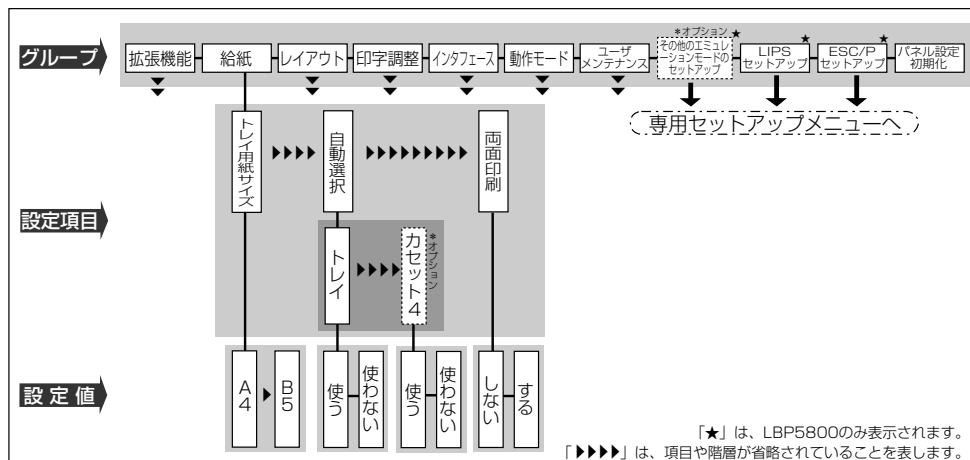
共通セットアップメニューでは、印字する位置や、文字の種類、パソコンと接続するときのインタフェースの選択などをはじめ、さまざまなプリント環境を設定することができます。

通常、プリント環境は、接続しているパソコンのアプリケーションソフトやプリンタドライバで設定できます。しかし、中にはインタフェースの設定など、プリンタの共通セットアップメニューでしか行えないものもあります。また、LBP5800 の場合、印刷条件を設定できないアプリケーションソフトや、MS-DOS のコマンドで直接プリントすることもできますので、これらのパソコンからプリントするときは、プリンタの共通セットアップメニューでプリント環境を設定します。

共通セットアップメニューの構造

共通セットアップメニューは「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれています。グループは、いくつかの設定項目が機能別にまとめられたもので、その中から設定項目を選び、設定項目ごとに設定値が選択できる構造になっています。

LBP5800 の場合、グループの階層で「LIPS セットアップ」、「ESC/P セットアップ」、オプションのコントロール ROM によるエミュレーションモードを選択すると、それぞれの専用セットアップメニューに移行します。

メモ

- 項目によっては、「給紙」グループの「自動選択」のように、設定項目の階層が 2 つに分かれているものがあります。
- 「パネル設定初期化」はグループの下の階層がありません。初期化の操作方法については、「セットアップメニューの初期化」（→ P.2-21）を参照してください。
- 「動作モード選択」（→ P.3-35）で、特定の動作モード（LIPS や ESC/P）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用セットアップメニューに移行することはできません。
- 点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM（LBP5800 のみ）やペーパーフィーダを装着している場合のみ、追加して表示され、選択できるようになります。オプションエミュレーションの専用セットアップメニューについては、オプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

共通セットアップメニューの操作の流れ

共通セットアップメニューには、「グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、印字調整グループの「印字動作」の項目を「画質優先」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順 / キー操作

1 オフライン状態に切り替える

[オンライン] を押す

2 セットアップメニューを表示する

[セットアップ] を押す

セットアップメニューが表示されます。

3 グループを選択する

「印字調整」グループを選択した場合

```
ｾｯﾄｱｯﾌﾟ
ｲﾝｼﾞ ﾁｮｳｾｲ        →
```

[◀] または [▶] を押す

目的のグループが表示されます。

4 設定項目を表示する

```
ｲﾝｼﾞ ﾁｮｳｾｲ
ﾃﾞｰﾀｼｮﾘ           →
```

[実行] を押す

選択したグループの設定項目が表示されます。

5 設定項目を選択する

「印字動作」を選択した場合

```
ｲﾝｼﾞ ﾁｮｳｾｲ
ｲﾝｼﾞ ﾄﾞｳｻ         →
```

[◀] または [▶] を押す

目的の設定項目が表示されます。

6 **設定値を表示する**

```
インジ゛ ト゛ウサ
=ジ゛ト゛ウ          →
```

[実行]を押す

選択した設定項目の設定値が表示されます。

7 **設定値を選択する**

「画質優先」を選択した場合

```
インジ゛ ト゛ウサ
 ガ゛シツ ユウセン    →
```

[◀]または[▶]を押す

目的の設定値が表示されます。

8 **選択した値を確定する**

[実行]を押す

9 **オンライン状態に戻す**

[オンライン]を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で[▲]を押すと、1つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で[オンライン]を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。
- グループの階層で、「LIPSセットアップ」、「ESC/Pセットアップ」を選択した場合は、「LIPS専用セットアップメニューの機能と操作」(→P.2-5)、「ESC/P専用セットアップメニューの機能と操作」(→P.2-7)を参照してください。(LBP5800のみ)
- 項目によっては、設定項目の階層が2つの層に分かれている場合があります。

LIPS専用セットアップメニューの機能と操作

LIPS 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。LIPS 専用セットアップメニューは、LBP5800 のみ設定することができます。

LIPS 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「LIPS セットアップ」を選択すると、LIPS 専用セットアップメニューに移行します。

LIPS 専用セットアップメニューは、「設定項目」と「設定値」の 2 つの階層に分かれていて、LIPS モードが動作した場合のみ有効な設定をすることができます。

LIPS 専用セットアップメニューの操作の流れ

LIPS 専用セットアップメニューには、「設定項目」「設定値」の 2 つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、「複数ページ印刷」の項目を「2 ページ（左）」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	［オンライン］を押す
2 セットアップメニューを表示する	［セットアップ］を押す セットアップメニューが表示されます。

3	**グループで「LIPS セットアップ」を選択する**	**［◀］または［▶］を押す**

```
セットアップ゜
LIPS セットアップ゜    →
```

「LIPS セットアップ」が表示されます。

4	**設定項目を表示する**	**［実行］を押す**

```
LIPS セットアップ゜
カクダ゛イ/シュクショウ   →
```

LIPS セットアップの設定項目が表示されます。

5	**設定項目を選択する**	**［◀］または［▶］を押す**

「複数ページ印刷」を選択した場合

```
LIPS セットアップ゜
フクスウヘ゜ーシ゛ インサツ →
```

目的の設定項目が表示されます。

6	**設定値を表示する**	**［実行］を押す**

```
フクスウヘ゜ーシ゛ インサツ
=シナイ               →
```

選択した設定項目の設定値が表示されます。

7	**設定値を選択する**	**［◀］または［▶］を押す**

「2 ページ（左）」を選択した場合

```
フクスウヘ゜ーシ゛ インサツ
 2ヘ゜ーシ゛(ヒタ゛リ)   →
```

目的の設定値が表示されます。

8	**選択した値を確定する**	**［実行］を押す**
9	**オンライン状態に戻す**	**［オンライン］を押す**

メモ

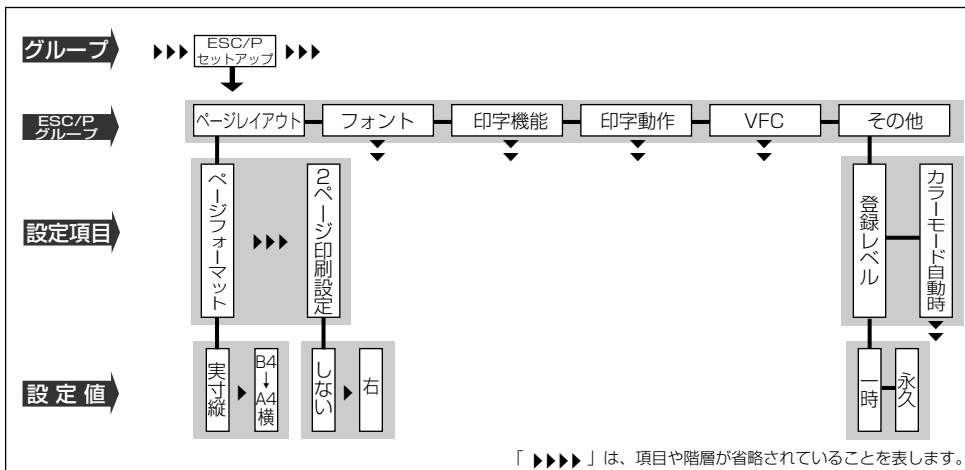
- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

ESC/P 専用セットアップメニューの機能と操作

ESC/P 専用セットアップメニューの概要と操作手順について説明しています。ESC/P 専用セットアップメニューは、LBP5800 のみ設定することができます。

ESC/P 専用セットアップメニューの機能と構造

共通セットアップメニューのグループの階層で「ESC/P セットアップ」を選択すると、ESC/P 専用セットアップメニューに移行します。

ESC/P 専用セットアップメニューは、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の 3 つの階層に分かれていて、ESC/P エミュレーションモードが動作した場合のみ有効な設定をすることができます。

メモ　オプションのコントロール ROM を装着すると、設定項目が追加されます。詳しくはオプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

ESC/P 専用セットアップメニューの操作の流れ

ESC/P 専用セットアップメニューには、「ESC/P グループ」「設定項目」「設定値」の３つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、フォントグループの「国別文字」の項目を「USA」に設定する手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2	セットアップメニューを表示する	[セットアップ] を押す セットアップメニューが表示されます。
3	グループで「ESC/P セットアップ」を選択する ｾｯﾄｱｯﾌﾟ ESC/P ｾｯﾄｱｯﾌﾟ →	[◀] または [▶] を押す 「ESC/P セットアップ」が表示されます。
4	ESC/P グループを表示する ESC/P ｾｯﾄｱｯﾌﾟ ﾍﾟｰｼﾞﾚｲｱｳﾄ →	[実行] を押す ESC/P グループが表示されます。
5	ESC/P グループを選択する 「フォント」グループを選択した場合 ESC/P ｾｯﾄｱｯﾌﾟ ﾌｫﾝﾄ →	[◀] または [▶] を押す 目的の ESC/P グループが表示されます。
6	設定項目を表示する ﾌｫﾝﾄ ｶﾝｼﾞｼｮﾀｲ →	[実行] を押す 選択した ESC/P グループの設定項目が表示されます。
7	設定項目を選択する 「国別文字」を選択した場合 ﾌｫﾝﾄ ｸﾆﾍﾞﾂﾓｼﾞ →	[◀] または [▶] を押す 目的の設定項目が表示されます。

8 設定値を表示する

クニヘ゛ツモシ゛
=ニホン →

[実行］を押す

選択した設定項目の設定値が表示されます。

9 設定値を選択する

「USA」を選択した場合

クニヘ゛ツモシ゛
USA →

［◄］または［►］を押す

目的の設定値が表示されます。

10 選択した値を確定する

[実行］を押す

11 オンライン状態に戻す

[オンライン］を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。

ユーティリティメニューの機能と操作

ユーティリティメニューの概要と操作手順について説明しています。

ユーティリティメニューの機能と構造

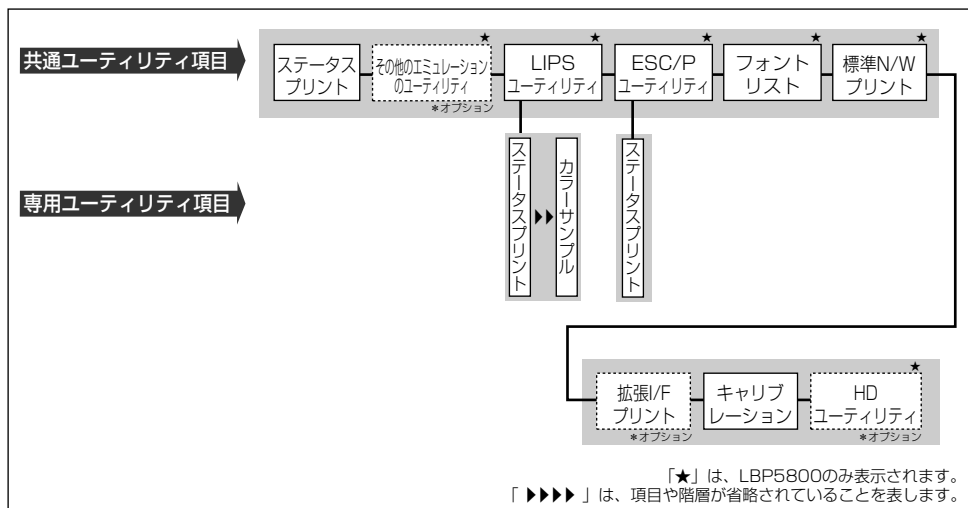
ここでは、ユーティリティメニューの機能とメニュー構造について説明します。

ユーティリティメニューの機能

ユーティリティメニューでは、セットアップメニューの設定内容や、搭載されているフォントなどの情報をプリントして確認することができます。

詳しい項目の内容については「ユーティリティメニューの設定項目」（→ P.6-4）を参照してください。

ユーティリティメニューの構造

ユーティリティメニューは、LIPS、ESC/P、オプションのエミュレーションなどの各動作モードに共通して選択できる「共通ユーティリティ項目」と、動作モードごとに選択する「専用ユーティリティ項目」の２つの階層に分かれています。

メモ

- 点線枠の項目は、オプションのコントロール ROM（LBP5800 のみ）の装着時やハードディスク（LBP5800 のみ）が使用可能な場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。
- 「動作モード選択」（→ P.3-35）で、特定の動作モード（LIPS など）に設定した場合は、選択した動作モード以外の専用ユーティリティ項目を設定することはできません。

ユーティリティメニューの操作の流れ

ユーティリティメニューには、「共通ユーティリティ項目」「専用ユーティリティ項目」の２つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。専用ユーティリティ項目は、共通ユーティリティ項目の階層で「LIPS ユーティリティ」、「ESC/P ユーティリティ」のいずれかを選択した場合にのみ表示されます。

ここでは、「LIPS ユーティリティ」の「フォントリスト」をプリントする手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2	ユーティリティメニューを表示する	[ユーティリティ] を押す ユーティリティメニューが表示されます。
3	共通ユーティリティ項目を選択する 「LIPS ユーティリティ」を選択した場合 ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ LIPS ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ →	[◀] または [▶] を押す 目的の共通ユーティリティ項目が表示されます。
4	専用ユーティリティ項目を表示する LIPS ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ ｽﾃｰﾀｽ ﾌﾟﾘﾝﾄ →	[実行] を押す 専用ユーティリティ項目が表示されます。
5	専用ユーティリティ項目を選択する 「フォントリスト」を選択した場合 LIPS ﾕｰﾃｨﾘﾃｨ ﾌｫﾝﾄ ﾘｽﾄ →	[◀] または [▶] を押す 目的の専用ユーティリティ項目が表示されます。
6	選択した項目を確定する	[実行] を押す フォントリストがプリントされます。
7	オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

- 専用ユーティリティ項目（LIPS ユーティリティなど）を選択しなかった場合は、操作の手順４～５の設定はありません。

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［▲］を押すと、1 つ前の階層に戻ります。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。
- LIPS のオーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリントは、データが登録されている場合のみプリントされます。データが登録されていない場合はブザーが鳴り、何もプリントされません。

ジョブメニューの機能と操作

ジョブメニューの概要と操作手順について説明しています。

ジョブメニューの機能と構造

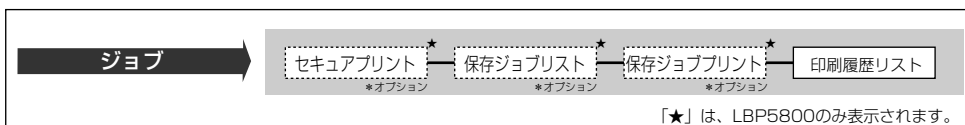
ここでは、ジョブメニューの機能とメニュー構造について説明します。

ジョブメニューの機能

ジョブメニューでは、セキュアジョブやボックスに保存したジョブをプリントしたり、セキュアジョブのリストや印刷履歴をプリントすることができます。

詳しい項目の内容については「ジョブメニューの設定項目」(→P.6-8) を参照してください。

ジョブメニューの構造

ジョブメニューの階層は 1 つです。

メモ　点線枠の項目は、オプションのハードディスク（LBP5800 のみ）が使用可能な場合のみ追加して表示され、選択できるようになります。

ジョブメニューの操作の流れ

ここでは、「印刷履歴リスト」をプリントする手順を例に説明します。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2	ジョブメニューを表示する	[ジョブ] を押す ジョブメニューが表示されます。
3	プリントしたい項目を選択する	[◄] または [►] を押す

「印刷履歴リスト」を選択した場合

```
ｼﾞｮﾌﾞ
ｲﾝｻﾂﾘﾚｷ ﾘｽﾄ        →
```

目的の項目が表示されます。

4　選択した項目を確定する

[実行］を押す

印刷履歴リストがプリントされます。

5　オンライン状態に戻す

[オンライン］を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。
- 「セキュアプリント」は、ハードディスクが使用可能な状態で、セキュアプリントジョブがある場合にのみ表示されます。
- 「保存ジョブリスト」、「保存ジョブプリント」は、ハードディスクが使用可能な状態で、保存ジョブがある場合にのみ表示されます。

リセットメニューの機能と操作

リセットメニューの概要と操作手順について説明しています。

リセットメニューの機能と構造

ここでは、リセットメニューの機能とメニュー構造について説明します。

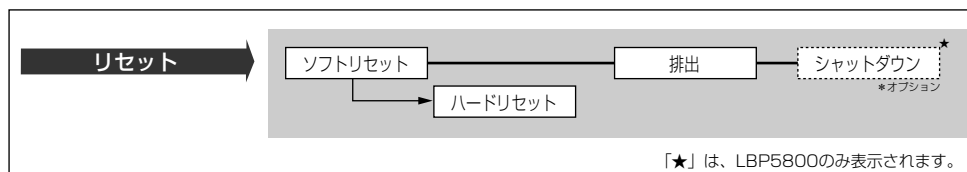
リセットメニューの機能

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っているプリントデータの排出、ハードディスク装着時に電源をオフにするときに行う「シャットダウン」をすることができます。

詳しい項目の内容については「リセットメニューの設定項目」（→ P.6-10）を参照してください。

リセットメニューの構造

リセットメニューの階層は 1 つです。

メモ

- 点線枠の項目は、オプションのハードディスク（LBP5800 のみ）が使用可能な場合のみ追加して表示され、 選択できるようになります。
- 「ハードリセット」は、ディスプレイに「ソフト リセット」と表示されている状態で、［実行］を 3 秒以上押すと表示されます。

リセットメニューの操作の流れ

ここでは、「ソフトリセット」を実行する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	［オンライン］を押す

2 リセットメニューを表示する

[リセット] を押す

リセットメニューが表示されます。

3 実行したい項目を選択する

「ソフトリセット」を選択した場合

```
リセット
ソフトリセット        →
```

[◀] または [▶] を押す

目的の項目が表示されます。

4 選択した項目を確定する

[実行] を押す

ソフトリセットが実行されます。

5 オンライン状態に戻す

[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00　■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 「シャットダウン」は、オプションのハードディスクを装着している場合にのみ表示されます。

ジョブキャンセルメニューの機能と操作

ジョブキャンセルメニューの概要と操作手順について説明しています。

ジョブキャンセルメニューの機能

ジョブキャンセルメニューを使うと、データ受信中およびデータ処理中のジョブだけをキャンセルすることができます。

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ジョブキャンセル処理が開始されます。

メモ

- 本プリンタ専用ではないプリンタドライバから送信されたデータが混在している場合、複数のデータがキャンセルされることがあります。
- ジョブキャンセルの処理は約 2 秒間行われます。この間にデータの受信を完了しなかった場合、ジョブスキップ処理に移行します。ジョブキャンセル処理が開始されると、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、この状態（ジョブキャンセル状態）ではリセット処理はできません。
- ジョブスキップ処理に時間がかかり、ジョブスキップを途中で中止したいときは、リセット処理を行ってください。ジョブスキップ状態に移行すると、ディスプレイに「00　ジョブ　スキップ」と表示され、この状態（ジョブスキップ状態）でリセット処理が行えるようになります。
- すでにデータ処理が終わり印刷処理中のデータは、キャンセルできません。その場合、その次のプリントデータがキャンセルされることがありますので、気を付けてください。
- ジョブキャンセルを行ったときに、「03　ジョブ　キャンセル」と表示されてもジョブがキャンセルされない場合があります。また、パスワード入力前のセキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブはキャンセルされません。セキュアプリントジョブやボックスに保存するジョブは、リモート UI で削除してください（セキュアプリントやボックス機能は、LBP5800 のみの機能です）。（→リモート UI ガイド「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」）

ジョブキャンセルメニューの操作の流れ

キャンセルしたいジョブの処理中にプリンタをオフライン状態にし、操作パネルの［ジョブキャンセル］を押すと、ディスプレイに「03　ジョブ　キャンセル」と表示され、ジョブキャンセル処理が開始されます。

操作の手順	キー操作
1 ジョブの処理中にオフライン状態に切り替える	［オンライン］を押す

2	ジョブをキャンセルする	［ジョブキャンセル］を押す
	03 ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ	メッセージの表示と同時にプリンタがオンライン状態になり、ジョブキャンセル状態が約2 秒間続きます。プリントデータの受信が完了している場合、ジョブのキャンセル処理が終了し、プリント可能な状態に戻ります。 プリントデータの受信が完了していない場合、ジョブキャンセル状態が続くと、「00　ジョブスキップ」が表示されます。ジョブのスキップが終了すると、プリント可能な状態に戻ります。

メモ

- ジョブをキャンセルできるのは、データ処理中、またはデータ受信中で、ジョブランプが点灯、または点滅している状態のときです。
- ジョブスキップの処理中は、処理中のジョブのインタフェース名（「セントロニクス」、「USB」など）がディスプレイに表示されます。

給紙選択メニューの機能と操作

給紙選択メニューの概要と操作手順について説明しています。

給紙選択メニューの機能と構造

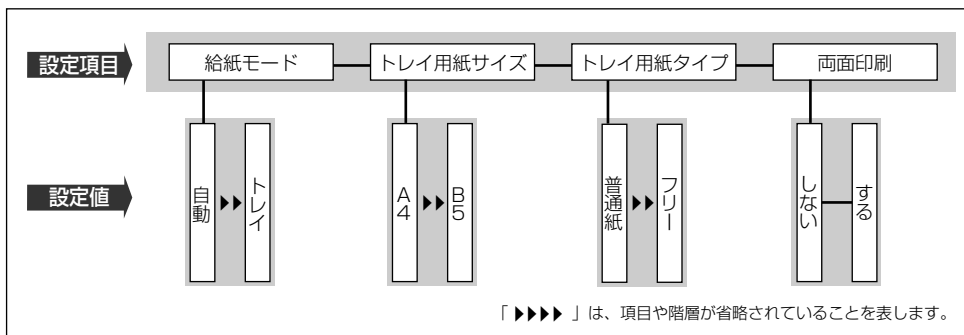
ここでは、給紙選択メニューの機能とメニュー構造について説明します。

給紙選択メニューの機能

給紙選択メニューでは、どの給紙カセットまたは給紙トレイの用紙を使ってプリントするかや、トレイの用紙サイズなどを選択できます。給紙元を選択した場合は、選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

詳しい項目の内容については「給紙選択メニューの設定項目」(→ P.6-12) を参照してください。

給紙選択メニューの構造

給紙選択メニューの階層は 2 つの階層に分かれています。

メモ　トレイ用紙サイズ、トレイ用紙タイプ、両面印刷については、セットアップメニューの給紙グループでも同様の設定ができます。

給紙選択メニューの操作の流れ

給紙選択メニューには、「設定項目」「設定値」の 2 つの階層があり、それぞれの階層で目的の項目を選択します。

ここでは、「トレイ用紙サイズ」の項目を「B5」に設定する手順を例に説明します。

操作の手順	キー操作
1 オフライン状態に切り替える	[オンライン] を押す
2 給紙選択メニューを表示する	[給紙選択] を押す 給紙選択メニューが表示されます。
3 設定項目を選択する 「トレイ用紙サイズ」を選択した場合 トレイ ヨウシ サイズ →	[◀] または [▶] を押す 目的の設定項目が表示されます。
4 設定値を表示する トレイ ヨウシ サイズ =A4 →	[実行] を押す 選択した設定項目の設定値が表示されます。 [実行] のかわりに [給紙選択] を押しても、設定値を表示することができます。
5 設定値を選択する 「B5」を選択した場合 トレイ ヨウシ サイズ B5 →	[◀] または [▶] を押す 目的の設定値が表示されます。 [◀] または [▶] のかわりに [給紙選択] を押しても、設定値を選択することができます。
6 選択した値を確定する	[実行] を押す
7 オンライン状態に戻す	[オンライン] を押す

メモ

- オフライン状態に切り替えることができるのは、プリント可能な状態のときです。プリント可能な状態とは、「00 ■■■■」が表示され、ジョブランプとメッセージランプが消灯している状態です。
- 操作の途中で [オンライン] を押すと、そのとき表示していた設定値を設定し、オンライン状態に戻ります。また、操作の途中で誤操作をした場合も、そのとき表示していた設定値を設定し、オフライン状態に戻ります。

セットアップメニューの初期化

セットアップメニューの初期化の概要と操作手順について説明しています。

セットアップメニューの初期化の機能

セットアップメニューを初期化すると、共通セットアップメニューや専用セットアップメニューで設定した内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

セットアップメニュー初期化の操作の流れ

初期化は、セットアップメニューの「グループ」の階層で「パネル設定初期化」の項目を選択して行います。

	操作の手順	キー操作
1	オフライン状態に切り替える	[オンライン]を押す
2	セットアップメニューを表示する	[セットアップ]を押す セットアップメニューが表示されます。
3	グループで「パネル設定初期化」を選択する セットアップ パネル セッテイ ショキカ →	[◀]または[▶]を押す
4	初期化を実行する パネル セッテイ ショキカ ジッコウ シマスカ? →	[実行]を押す 確認メッセージが表示されます。
5	メッセージを確認後、実行する	[実行]を押す 初期化の実行中は「ショキカ チュウ」が表示されます。終了すると、「ショキカ シュウリョウ」が表示されます。
6	オンライン状態に戻す	[オンライン]を押す

重要

- 初期化の実行中に電源をオフしないでください。プリンタのメモリが故障することがあります。
- 一部の設定項目は、初期化後に電源を入れなおすかハードリセット操作を行わないと有効になりません。

メモ

- 操作の途中で［オンライン］を押すと、操作を中止してオンライン状態に戻ります。ただし、ディスプレイに「ショキカ　チュウ」と表示されているときは、［オンライン］を押しても操作は中止できません。
- セットアップメニューの初期化を実行しても、以下の項目は初期化されません。
  ･共通セットアップメニューのインタフェースグループの「標準（拡張）ネットワーク」
  ･ユーザメンテナンスグループの「特殊印字処理」
  ･ユーザメンテナンスグループの「カウンタ初期化」

共通セットアップメニューの設定項目

3
CHAPTER

この章では、共通セットアップメニューで設定できる項目の内容について説明しています。

共通セットアップメニュー設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目や設定値は、オプション品の有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- 「★」印が付いている項目や設定値は、LBP5800のみ表示されます。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ 拡張機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
スリープ動作	**スル**、オンライン　ノミ	P.3-7
スリープモード	**30 プン**、60 プン、180 プン、15 フン	P.3-7
警告処理	**ケイゾク**、テイシ	P.3-8
自動エラースキップ	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-8
表示言語	**ニホンゴ**、ENGLISH	P.3-8
ブザー	**1 カイ**、レンゾク	P.3-9
警告表示	**スル**、シナイ	P.3-9
日付／時刻設定	日付：2001/01/01 ～ 2089/12/31 時刻（24 時間）：00:00:00 ～ 23:59:59	P.3-9
ハードディスク *★	**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-9
割り込み印刷許可 *★	**スル**、シナイ	P.3-10
セキュアプリント消去 *★	**1 ジカン**、2 ジカン、3 ジカン、6 ジカン、12 ジカン、24 ジカン	P.3-10
rip once* ★（リップワンス）	**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-11

■ 給紙グループ

設定項目	設定値	参照ページ
トレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウ Y4、フウトウ　K2、A5、B5	P.3-12
デフォルト用紙サイズ	**A4**、B4、A3、A5、B5	P.3-12
用紙の向き	**ジドウ**、タテオクリ、ヨコオクリ	P.3-13
トレイ優先	**シナイ**、スル	P.3-13

設定項目	設定値	参照ページ
自動選択	トレイ：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 1：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 2*：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 3*：**ツカウ**、ツカワナイ カセット 4*：**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-14
デフォルト用紙タイプ	**フツウシ**、アツガミ、アツガミ H、OHP	P.3-14
トレイ用紙タイプ	**フツウシ**、アツガミ、アツガミ H、OHP、フリー	P.3-15
手差し両面	**1 メンメ**、2 メンメ	P.3-16
両面印刷	**シナイ**、スル	P.3-16

■ レイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
コピー枚数	**1**～2000	P.3-17
縦補正	-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm	P.3-17
横補正	-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm	P.3-17
とじ方向	**ナガテ**、ミジカテ	P.3-18
とじ幅	-30.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +30.0 mm	P.3-18
特殊両面処理	**スル**、シナイ	P.3-19

■ 印字調整グループ

設定項目	設定値	参照ページ
データ処理	**ファイン**、クイック	P.3-21
階調処理	**コウカイチョウ 1**、コウカイチョウ 2、ヒョウジュン	P.3-21
トナー節約	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-21
トナー濃度 C、M、Y、K	1～**7**～15	P.3-22
カラーモード	**ジドウ**、カラー、モノクロ	P.3-23
モノクロ中間調	**パターン 1**、パターン 2	P.3-23
カラー中間調	テキスト：**カイゾウド**、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド グラフィック：**カイゾウド**、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド イメージ：カイゾウド、カイチョウ、**シキチョウ**、コウカイゾウド	P.3-23
OHP タイプ	**トウカガタ**、ハンシャガタ	P.3-24
画質警告	**ケイゾク**、テイシ	P.3-24
印字動作	**ジドウ**、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン	P.3-25

■ インタフェースグループ

設定項目	設定値	参照ページ
インタフェース選択	**ジドウ**、セントロニクス、USB、ヒョウジュン ネットワーク★、カクチョウ　ネットワーク *	P.3-27
タイムアウト	5 ～ **15** ～ 300 ビョウ、シナイ	P.3-27
セントロニクス設定 *		
BUSY-ACK	**A-B-A**、A-B、B-A	P.3-28
セントロ受信速度	**コウソク**、チュウソク、テイソク	P.3-29
セントロ送信速度	**コウソク**、チュウソク、テイソク	P.3-29
インプットプライム	**ドウサモード　イゾン**、リセット	P.3-29
双方向	**ECP**、ニブル、ツカワナイ	P.3-30
ジョブ区切り	**シナイ**、スル	P.3-30
標準ネットワーク *★		
TCP/IP	フレームタイプ： **Ethernet　2**、ムコウ IP モード *： **シュドウ**、ジドウ プロトコル *： DHCP .... **オフ**、オン BOOTP .... **オフ**、オン RARP .... **オフ**、オン アドレス *： IP アドレス...................... **192.168.0.215** サブネットマスク .... **0.0.0.0** ゲートウェイアドレス **0.0.0.0**	P.3-31
設定登録	─	P.3-32
ネットワーク設定初期化	─	P.3-32
拡張ネットワーク *		
TCP/IP	フレームタイプ： Ethernet　2、ムコウ IP モード *： シュドウ、ジドウ プロトコル *： DHCP ....オフ、オン BOOTP ....オフ、オン RARP ....オフ、オン アドレス *： IP アドレス..............................（数値） サブネットマスク ....（数値） ゲートウェイアドレス ....（数値）	P.3-32
設定登録	─	P.3-33
ネットワーク設定初期化	─	P.3-33
コネクション認識 *	**スル**、シナイ	P.3-34

■ 動作モードグループ

設定項目	設定値	参照ページ
動作モード選択	**ジドウ　センタク**、その他のエミュレーション＊★、BMLinkS、LIPS、ESC/P★、HEX-DUMP、LIPS-DUMP	P.3-35
自動切り替え	LIPS：**ツカウ**、ツカワナイ ESC/P★：**ツカウ**、ツカワナイ BMLinkS：**ツカウ**、ツカワナイ オプション＊★：**ツカウ**、ツカワナイ	P.3-37
優先エミュレーション	**ESC/P** ★、ナシ、その他のエミュレーション＊★、BMLinkS、LIPS	P.3-38

■ ユーザメンテナンスグループ

設定項目	設定値	参照ページ
定着特殊処理	**シナイ**、スル	P.3-39
印字位置調整	縦補正（トレイ）：0 ～ **52** ～ 104 横補正（トレイ）：0 ～ **52** ～ 104 縦補正（カセット 1）：0 ～ **52** ～ 104 横補正（カセット 1）：0 ～ **52** ～ 104 縦補正（カセット 2）＊：0 ～ **52** ～ 104 横補正（カセット 2）＊：0 ～ **52** ～ 104 縦補正（カセット 3）＊：0 ～ **52** ～ 104 横補正（カセット 3）＊：0 ～ **52** ～ 104 縦補正（カセット 4）＊：0 ～ **52** ～ 104 横補正（カセット 4）＊：0 ～ **52** ～ 104 縦補正（両面）：0 ～ **52** ～ 104 横補正（両面）：0 ～ **52** ～ 104	P.3-39
カウンタ初期化		
ETB ユニット	―	P.3-41
定着器	―	P.3-41
特殊モード J	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-41
特殊モード L	**ツカワナイ**、ツカウ	P.3-42
OHP フィルム鏡像	**シナイ**、スル	P.3-42
特殊印字処理		
OHP フィルム特殊処理	**シナイ**、スル	P.3-43
薄紙特殊処理	**シナイ**、スル	P.3-43
サービス特殊設定	**ツカワナイ**、セッテイ A、セッテイ B	P.3-44
封筒 Y4 横送り	**シナイ**、スル	P.3-44

拡張機能グループの設定項目

拡張機能グループでは、プリンタにエラーが発生したときの動作やオプションのハードディスク装着時の機能を使うかどうかなどについて設定できます。

スリープ動作

スル、オンライン　ノミ

本プリンタは、パネル操作を行わず、パソコンからデータが送られてこない状態が一定時間 * 経過したとき、スリープモードに移行します。(* 「スリープモード」(→次項目)で設定した時間)

本項目は、プリンタがオフライン状態のときに、スリープモードに移行するかどうかを設定します（オンライン状態では、必ずスリープモードに移行します）。

「スル」に設定すると、プリンタがオンライン状態でもオフライン状態でもスリープモードに移行します。

「オンライン　ノミ」に設定すると、プリンタがオフライン状態ではスリープモードに移行しません。

スリープモードになると、プリンタは消費電力の少ないスリープ状態になります。オンラインからスリープモードになった場合は、印刷可ランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。オフラインからスリープモードになった場合は、メッセージランプ以外のすべてのランプとディスプレイの表示が消えます。

メモ

- セキュアプリントデータを受信した場合、スリープモードであっても、ジョブランプが点灯します（セキュアプリントは、LBP5800 のみの機能です）。
- 操作パネルのキーが押されたり、エラーが起きると自動的にスリープモードは解除されます。また、オンライン状態ではパソコンからのデータを受信してもスリープモードが解除されます。オフライン状態ではエラーが解除されてもスリープモードが解除されます。

スリープモード

30 プン、60 プン、180 プン、15 フン

本項目は、スリープモードに移行するまでの時間を設定します。スリープモードに移行しないようにする設定はありません。

メモ

本プリンタはオフライン状態でもスリープモードに移行しますが、次のようなオフライン状態のときは、設定時間が経過してもスリープモードに移行しません。

・「nn-nn　サービスコール」（nn は 2 桁の英数字）が表示されている
・ハードディスクのシャットダウン中またはフォーマット中（LBP5800 のみ）
・ステータスプリントなどのユーティリティ項目の実行中
・「スリープ動作」（→前項目）を「オンライン　ノミ」に設定している

警告処理

ケイゾク、テイシ

以下の警告メッセージが表示されたときに、プリントを継続するか停止するかを設定します。

警告メッセージ	プリンタの状態
「16　X　トナー　チェック」 （X は Y または M、C、K）	表示された色のカートリッジの寿命が近くなって交換が必要

「ケイゾク」に設定すると、上記のメッセージを表示しながらプリントを継続します。「テイシ」に設定すると、プリントを停止します。その後、表示されたメッセージにしたがって警告状態を解除すると、プリントが再開されます。

重要　「16　X　トナー　コウカン」が表示されプリントが中断した場合は、カートリッジを交換したあと、再度プリントを行ってください。

メモ　本項目を「テイシ」にした場合、「16　X　トナー　チェック」は「16　X　トナー　コウカン」という表示に変わりプリントが停止します。

自動エラースキップ

ツカワナイ、ツカウ

エラーが起きたときに、エラーを一時的に解除してプリントを続ける機能（エラースキップ）を、自動的に使うかどうかを設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、[オンライン] を押してエラースキップさせる必要があります。

「ツカウ」に設定すると、[オンライン] を押さなくても自動的にエラースキップされます。

メモ

- エラースキップとはあくまでエラーを一時的に解除するものです。したがって、正しくプリントされないことがあります。
- 自動エラースキップで一時解除できるエラーの種類については、ユーザーズガイド「第 5 章 困ったときには」を参照してください。
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、複数のエラーが発生している場合でも、自動エラースキップ可能なエラーはすべて自動的にエラースキップします。

表示言語

ニホンゴ、ENGLISH

ディスプレイに表示されるメッセージを日本語で表示するか、英語で表示するかを設定します。

メモ　ENGLISH 表示の場合のメニュールートマップはありません。

ブザー

1カイ、レンゾク

エラーが発生した場合に、ブザー音が1回だけ鳴るのか、連続して鳴るのか設定します。連続して鳴るように設定した場合は、エラーを解除するか操作パネルのいずれかのキーを押すと止まります。

メモ　エラーの種類によっては、ブザーが鳴っているときに［オンライン］を押すと、エラーをスキップして、オンライン状態に戻すことができます。

警告表示

スル、シナイ

プリンタの状態を警告するメッセージ（警告メッセージ）を表示するかどうかを設定します。メッセージを表示してもしなくてもプリントは行われます。

メモ　本項目を「シナイ」に設定して表示されなくなるメッセージについては、ユーザーズガイド「第5章 困ったときには」を参照してください。

日付／時刻設定

日付............................2001/01/01 ～ 2089/12/31
時刻（24時間）.........00:00:00 ～ 23:59:59

本プリンタには時計機能が内蔵されています。この時計はプリンタのメンテナンスや履歴の管理に使用されます。日付や時間が合っていないときに、本項目で設定します。

メモ
- 日付と時刻は工場出荷時に合わせられています。
- 本プリンタに内蔵されている時計の精度は、月差±90秒です。定期的に本項目で時刻を合わせてください。
- 日付と時刻は、操作パネルの以下のキーを使って入力します。
  ・数字の増減・・・［▲］［▼］
  ・桁の移動・・・［◄］［►］
  ・入力した日付または時間の決定・・・［実行］

ハードディスク

ツカウ、ツカワナイ

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、64MB 以上の拡張 RAM（メインメモリ）が増設されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着したときに追加される以下の機能を使うかどうかを設定します。

- 印刷データの割り込み

- 印刷データの順番の変更
- 印刷データの属性（出力先や印刷部数など）の変更
- 印刷データの処理の一時停止／再開
- 印刷データをハードディスク（ボックス）に保管する（再プリントが可能）（→ P.6-9）
- セキュアプリント（→ P.6-8）
- rip once（リップワンス）（→ P.3-11）

通常は「ツカウ」に設定しておいてください。ハードディスクを使った機能で不具合がある場合に、「ツカワナイ」に設定してください。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

3

共通セットアップメニューの設定項目

割り込み印刷許可

スル、シナイ

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に、印刷データの割り込みの機能を使うかどうかを設定します。

メモ　「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、割り込み印刷はできません。

セキュアプリント消去

1 ジカン、2 ジカン、3 ジカン、6 ジカン、12 ジカン、24 ジカン

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

あらかじめパソコン側でファイル名、ユーザ名、パスワードを設定した「セキュアプリント」のデータを消去する時間を設定します。

セキュアプリントデータはハードディスクに保存されていて、通常はプリントしないと消去されませんが、データの処理が終了してから本項目で設定した時間が経過すると、プリントしていなくても自動的に消去されます。

メモ
- セキュアプリントデータのプリントは、ユーティリティメニューの「セキュアプリント」（→ P.6-8）やリモート UI で行います。
- 「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は無視され、セキュアプリント消去はできません。
- 本項目で設定した時間が経過していない場合でも、プリンタの電源を切るかハードリセットやソフトリセット操作を行うと、セキュアプリントデータは消去されます。
- ファイル名、ユーザ名、パスワードの設定は、プリンタドライバで行います。

rip once（リップワンス）

ツカウ、ツカワナイ

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、64MB 以上の拡張 RAM（メインメモリ）が増設されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクを装着している場合に、「rip once（リップワンス）」の機能を使うかどうかを設定します。rip once（リップワンス）とは、複数部数をプリントするときのために、1 部目のデータをハードディスクに保存しておいて 2 部目以降のプリントを高速に行う機能です。

大量の部数をプリントする場合や、複雑なデータ（多数の図形や画像が含まれるデータなど）を複数部数プリントする場合に効果があります。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ
- 「ハードディスク」の項目が「ツカワナイ」に設定されているときは、本項目の設定は自動的に「ツカワナイ」になり、rip once（リップワンス）の機能は使えません。
- 文字だけのデータなどのように比較的単純なデータや、部数の少ないデータでは、あまり効果がでないことがあります。

給紙グループの設定項目

給紙グループでは、給紙トレイや給紙カセットからプリントするときの用紙サイズなどについて設定できます。

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウ Y4、フウトウ K2、A5、B5

給紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1 枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされている場合、正しくプリントされません。「特殊モード J」(→P.3-41）を「ツカワナイ」に設定している場合は、エラーメッセージが表示され、プリントを中止します。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ Y4」は洋形 4 号に、「フウトウ K2」は角形 2 号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10 mm 内側までとなります。詳しくは、ユーザーズガイド「第 3 章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- 給紙選択メニューの「トレイ用紙サイズ」でも同様の設定ができます（→ P.6-13)。

デフォルト用紙サイズ

A4、B4、A3、A5、B5

アプリケーションソフトで用紙サイズが設定できない場合など、プリンタが処理を行う用紙サイズを決定できない場合の論理上の用紙サイズを設定します。

重要

通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで用紙サイズを設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合で（LBP5800 のみ）、用紙サイズが設定できないときは、本項目で設定してください。

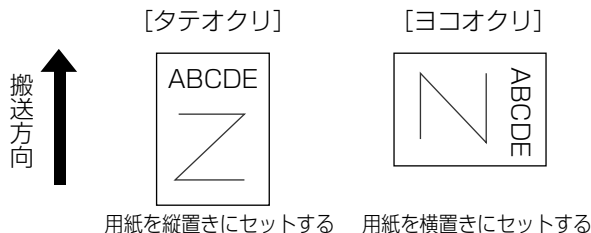
用紙の向き

ジドウ、タテオクリ、ヨコオクリ

横置きにも縦置きにもセットできる用紙を使うときに、用紙の置きかたを設定します。給紙カセットや給紙トレイにセットした用紙の置きかたが、横置きのときは「ヨコオクリ」に、縦置きのときは「タテオクリ」に設定します。自動的に認識させたいときは「ジドウ」に設定します。

なお、本項目は置きかたを設定するだけなので、本項目を変更しても用紙に印字する向きは変わりません。

［タテオクリ］　［ヨコオクリ］

用紙を縦置きにセットする　用紙を横置きにセットする

メモ

- LIPS モードの場合、印字の向きは、LIPS 専用セットアップメニューの「ページの向き」（→ P.4-6）で設定できます（LBP5800 のみ）。
- LIPS 以外のモードの場合、「ジドウ」に設定すると、「ヨコオクリ」として処理されます。
- 給紙カセットから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、B5、A5、レジャー、リーガル、エグゼクティブ、ユーザペーパー
  - ・縦置き・横置き：A4、レター
- 給紙トレイから給紙するときの各用紙の置きかたは次のようになります。
  - ・縦置きのみ：A3、B4、B5、A5、レジャー、リーガル、エグゼクティブ、ユーザペーパー、ハガキ、封筒（洋形 4 号、角形 2 号）
  - ・縦置き・横置き：A4、レター

トレイ優先

シナイ、スル

給紙選択メニューで自動給紙が設定されている場合に、プリンタが給紙トレイから順に給紙元を検知するかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は次の順序で行われます。
カセット 1 →カセット 2 *1 →カセット 3*1 →カセット 4 *1 → 給紙トレイ
「スル」に設定すると、受信データの用紙サイズに合致するかどうかの検知は、給紙トレイから次の順序で行われます。
給紙トレイ →カセット 1 →カセット 2 *1 →カセット 3 *1 →カセット 4 *1
*1：ペーパーフィーダ装着時のみ

メモ

- 自動給紙は、 給紙選択メニューの「給紙モード」（→ P.6-12）で設定します。

- 本項目は、給紙選択メニューの「給紙モード」が「ジドウ」に設定されている場合にのみ有効です。
- 本項目を「スル」に設定しても、給紙トレイの用紙サイズ、用紙タイプ、用紙名称と受信データの用紙サイズ、用紙タイプ、用紙名称が異なるときは、給紙トレイからは給紙されません。
- 受信データによっては、受信データと同じ用紙サイズの給紙カセットの給紙元表示ランプが点灯しているときに、本項目が「スル」に設定されていても給紙トレイから給紙されずにカセットから給紙される場合があります。
- カセット２、カセット３、カセット４はオプションです。

自動選択

トレイ........................ **ツカウ**、ツカワナイ
カセット１................ **ツカウ**、ツカワナイ
カセット２ *.............. **ツカウ**、ツカワナイ
カセット３ *.............. **ツカウ**、ツカワナイ
カセット４ *.............. **ツカウ**、ツカワナイ

* 「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

自動給紙が設定されている場合に、自動給紙の対象となる給紙元を設定します。給紙トレイ、給紙カセットのそれぞれについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、それぞれの給紙元を自動給紙の対象としません。

メモ　自動給紙は、給紙選択メニューの「給紙モード」（→ P.6-12）で設定します。

デフォルト用紙タイプ

フツウシ、アツガミ、アツガミ H、OHP

通常使用する用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

各印刷モードは、次のような用紙に対応しています。

- 「フツウシ」　普通紙、再生紙
- 「アツガミ」　厚紙（106 ～ 135g/m^2）、ラベル用紙
- 「アツガミ H」　厚紙（106 ～ 135g/m^2）、ラベル用紙
- 「OHP」　OHP フィルム

重要　「アツガミ」、「アツガミ H」、「OHP」のいずれかに設定した場合、両面印刷は行えません。また、印刷速度が遅くなります。

メモ
- 「アツガミ」に設定してプリントした結果、定着性をより改善したいときは、「アツガミ H」に設定してお試しください。

- 通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで用紙タイプを設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合（LBP5800 のみ）で用紙タイプが設定できないときは、本項目で設定してください。
- 封筒の場合は、「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-12）で「フウトウ　Y4」または「フウトウ　K2」に設定すると自動的に封筒に適した印字モードでプリントされます。このメニューで設定する必要はありません。
- ハガキの場合は、「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-12）で「ハガキ」に設定すると自動的にハガキに適した印字モードでプリントされます。このメニューで設定する必要はありません。

トレイ用紙タイプ

フツウシ、アツガミ、アツガミ H、OHP、フリー

給紙トレイにセットする用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された給紙トレイの用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

厚紙（106 ～ 135g/m^2）に印刷する場合は「アツガミ」、OHP フィルムの場合は「OHP」、ラベル用紙の場合は「アツガミ」に設定します。

給紙トレイを使う場合で、プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）からプリントする場合は、必ずトレイ用紙タイプとデフォルト用紙タイプの設定を一致させます。

重要

- 本プリンタでは、給紙トレイにセットされた用紙のタイプに応じて、内部的に最適な印刷モードに切り替えて印刷します。給紙トレイにセットした用紙のタイプと印刷モードが異なると、エンジンに重大な故障が生じる恐れがあります。
  Windows や Macintosh から給紙トレイを使ってプリントする場合は、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、およびプリンタドライバの「用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタの設定とプリンタドライバの設定が一致していないとエラーメッセージが表示され、プリンタは停止します。
  また、プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）からプリントする場合は（LBP5800 のみ）、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
- 「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプのチェックを行いません。プリンタドライバで設定した用紙と給紙トレイにセットした用紙のタイプが合っているかを必ず確認してお使いください。
- OHP フィルムにプリントする場合は、本プリンタ専用の「キヤノンカラーレーザ OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」をお使いください。
- 「アツガミ」、「アツガミ H」、「OHP」のいずれかに設定した場合、両面印刷は行えません。また、印刷速度が遅くなります。

メモ

- 「アツガミ」に設定してプリントした結果、定着性をより改善したいときは、「アツガミ H」に設定してお試しください。
- 封筒の場合は、「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-12）が「フウトウ　Y4」または「フウトウ　K2」に設定されていれば、この項目で設定する必要はありません。
- ハガキの場合は、「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-12）が「ハガキ」に設定されていれば、このメニューで設定する必要はありません。
- 給紙選択メニューの「トレイ用紙タイプ」でも同様の設定ができます（→ P.6-13）。

手差し両面

1 メンメ、2 メンメ

給紙トレイにセットした普通紙や厚紙を手動で両面プリントするときの印刷面を設定します。

表面（最初にプリントする面）にプリントするときは「1 メンメ」を設定します。

裏面（一度プリントした用紙の裏面）にプリントするときは、「2 メンメ」を設定します。

重要
- 本プリンタで一度プリントした用紙の裏面にプリントする場合は、必ず「2 メンメ」を設定してください。
- ハガキに両面プリントする場合は、先に裏面（文面側の面）をプリントしてください。次に「2 メンメ」を設定して表面（宛名側の面）をプリントしてください。

両面印刷

シナイ、スル

用紙の片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。

「スル」に設定すると、用紙の両面にプリントします。

重要
通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで両面印刷を設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合で、両面印刷が設定できないときは、本項目で設定してください。

メモ
- A3、B4、A4、B5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙のみ両面プリントできます。詳しくはユーザーズガイド「第 3 章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- ロゴ入りの用紙などに両面プリントするときは、次のように用紙をセットしてください。
  - ・給紙カセットからプリントするときは、1 ページ目のプリント面を下にしてセットします。
  - ・給紙トレイからプリントするときは、1 ページ目のプリント面を上にしてセットします。
- 給紙選択メニューの「両面印刷」でも同様の設定ができます（→ P.6-14）。

レイアウトグループの設定項目

レイアウトグループでは、印字の位置の調整や、とじ代用の余白の設定など、プリントするときの体裁に関わる条件について設定できます。

コピー枚数

1 ～ 2000

プリントの部数を設定します。

設定値で指定した部数だけプリントされます。

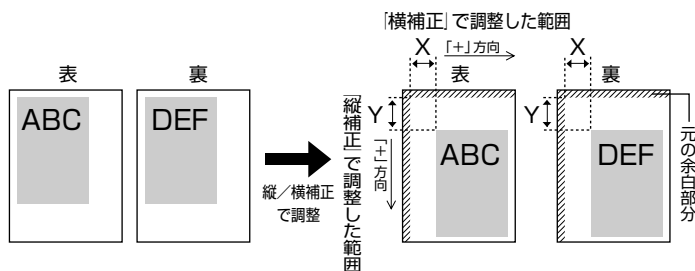
縦補正／横補正

-50.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +50.0 mm

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値の増減につれて、印字位置は次のようになります。

縦補正： 設定値が増えると用紙の Y 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の Y 方向の余白が狭くなります。

横補正： 設定値が増えると用紙の X 方向の余白が広くなります。
設定値が減ると用紙の X 方向の余白が狭くなります。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ　［►］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ増え、［◄］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ減ります。また、［►］あるいは［◄］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。

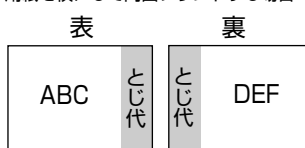
とじ方向

ナガテ、ミジカテ

とじる位置を、用紙の長い辺（長手）にするか短い辺（短手）にするかを設定します。両面プリントをしてとじるときには、表面と裏面とで、とじ代の位置も自動的に調整します。

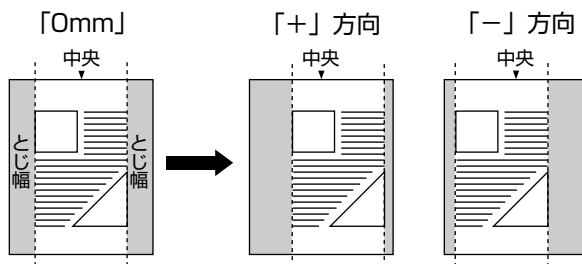
とじ代用の余白の幅や、上／下／左／右とじのいずれにするのかは、「とじ幅」（➞次項目）で設定します。

「ナガテ」に設定すると、とじる位置を用紙の長い辺にします。

「ミジカテ」に設定すると、とじる位置を用紙の短い辺にします。

メモ　本項目だけを設定してもとじ代をあけることはできません。「とじ幅」と組み合わせて設定することによって、とじ代をあけることができます。

とじ幅

-30.0 mm ～ **0.0 mm** ～ +30.0 mm

とじ代用の余白をあけてプリントするときの、余白の幅を設定します。設定した値だけ画像をずらして余白を作ります。「＋」の値で画像を＋方向にずらし、「－」の値で画像を－方向にずらします。

用紙の長短どちらの辺にとじ代をあけるのかは「とじ方向」（→前項目）で設定します。用紙の上下左右のどの辺にとじ代をあけるかは、「とじ方向」の設定と本項目の設定を「＋」にするか「－」にするかの組み合わせにより決まります。

重要 とじ幅を設定した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ
- ［►］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ増え、［◄］を押すたびに設定値が 0.5 mm ずつ減ります。また、［►］あるいは［◄］から指を離さずに押し続けていると、加減速度が速くなります。
- 「縦補正」「横補正」と本項目を同時に設定した場合は、「縦補正」「横補正」の処理が行われたあとで本項目の処理が行われます。

●とじ方向ととじ幅の設定

下図の仕上りイメージを参考にして、とじ方向ととじ幅を設定してください。

用紙を縦に使ってプリントするか、横に使ってプリントするかは、アプリケーションソフトなどで設定します。

特殊両面処理

スル、シナイ

「両面印刷」（→ P.3-16）が「スル」に設定されている状態で、奇数ページのジョブをプリントするときの最終ページのプリント面を設定します。

本項目の設定や給紙元により、最終ページのプリント面は以下のようになります。

- 給紙カセットからプリントする場合
「スル」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。
「シナイ」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
- 給紙トレイからプリントする場合
「スル」に設定すると、セットした用紙の下の面にプリントして排紙します。
「シナイ」に設定すると、セットした用紙の上の面にプリントして排紙します。

プレプリント紙など用紙の向きや表裏のある用紙にプリントするとき、最終ページの用紙の向きや表裏を前ページと合わせたいときは、本項目を「シナイ」に設定してください。

メモ

- 「シナイ」に設定すると、両面プリントと同じ動作をしますので、「スル」に設定したときより排紙されるまでの時間が数秒遅くなります。
- 本項目は「両面印刷」を「スル」に設定したときのみ有効です。

印字調整グループの設定項目

印字調整グループでは、データの解像度や高解像度印字の際のメモリ設定など、プリントの品質について設定できます。

データ処理

ファイン、クイック

プリントデータを処理するときの解像度を設定します。

解像度は 1 インチあたりのドット数を示す dpi（dot per inch）という単位で表され、数値が大きいほど高い精度でプリントできます。

「ファイン」に設定すると、解像度 600 dpi のファインモードでプリントします。通常はこのモードに設定しておいてください。

「クイック」に設定すると、300 dpi のデータに適したモードでデータを処理します。本プリンタ以外のプリンタドライバを使用して、正しくプリントできないときなどに設定してください。

メモ　本項目はデータを処理するときの解像度を設定します。「ファイン」、「クイック」のどちらに設定しても、出力時の解像度は 600 dpi になります。

階調処理

コウカイチョウ 1、コウカイチョウ 2、ヒョウジュン

600 dpi のカラー／モノクロデータを、標準の階調で印刷するか、高階調で印刷するかを設定します。

線画や解像度の低いデータなど、それほど高い階調が必要ないときは「ヒョウジュン」に、写真などを一般的な品質でプリントするときは「コウカイチョウ 1」に、より高い品質でプリントするときは「コウカイチョウ 2」に設定すると効果的です。

メモ
- 本項目は、ファインモードでのみ有効です。クイックモードでは無視されます。
- データのサイズによって、高階調モードでプリントできずに標準モードでプリントされることがあります。その場合は、標準の RAM（32MB）に加えてオプションの拡張 RAM（メインメモリ）を増設してください。

トナー節約

ツカワナイ、ツカウ

トナーを節約してプリントするモードを使うかどうかを設定します。

メモ　本項目を「ツカウ」に設定すると、トナーは節約できますが、プリント結果が薄くなり、不鮮明になることがあります。

トナー濃度 C

1 ～ **7** ～ 15

プリントするときのシアンの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ
- 通常の使用時には、この項目で濃度を調整する必要はありません。
- 本プリンタをネットワークと接続し、複数台（2 台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。

トナー濃度 M

1 ～ **7** ～ 15

プリントするときのマゼンタの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ
- 通常の使用時には、この項目で濃度を調整する必要はありません。
- 本プリンタをネットワークと接続し、複数台（2 台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。

トナー濃度 Y

1 ～ **7** ～ 15

プリントするときのイエローの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ
- 通常の使用時には、この項目で濃度を調整する必要はありません。
- 本プリンタをネットワークと接続し、複数台（2 台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。

トナー濃度 K

1 ～ **7** ～ 15

プリントするときのブラックの印字濃度を調整します。設定値が大きくなるほど、印字濃度が濃くなります。

メモ
- 通常の使用時には、この項目で濃度を調整する必要はありません。
- 本プリンタをネットワークと接続し、複数台（2 台以上）同時に使用しているときに、この項目でプリンタ間の濃度のバラツキを微調整します。

カラーモード

ジドウ、カラー、モノクロ

カラープリントを行うか、モノクロプリントを行うかを設定します。「ジドウ」に設定した場合は、アプリケーションでの指示にしたがって切り替わります。

モノクロ中間調

パターン 1、パターン 2

モノクロデータの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を設定します。

「パターン 1」に設定すると、テキストデータは輪郭がはっきりと見えるディザパターンで、グラフィックデータやイメージデータは微妙な階調をなめらかに再現するディザパターンで処理されます。

「パターン 2」に設定すると、テキスト、グラフィック、イメージといったデータの種類に関わらず同じディザパターンで処理されます。

メモ

- 本項目を「パターン 1」に設定すると、薄くて印字されにくい文字に対して、少し濃くなるような処理を行い印字します。
- 「パターン 2」の場合、文字以外は当社の LBP-470/740/740e/750/840/850/870/880/930/930EX/950/2040/2260/2200 の「パターン 1」と同じディザパターンで印字します。

カラー中間調

テキスト .... **カイゾウド**、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド
グラフィック........ **カイゾウド**、カイチョウ、シキチョウ、コウカイゾウド
イメージ .... カイゾウド、カイチョウ、**シキチョウ**、コウカイゾウド

テキスト、グラフィック、イメージといったカラーデータの種類ごとに、最適なディザパターンを設定します。

「カイゾウド」に設定すると、解像度重視の線数の高いディザパターンを使用します。エッジ部分のギザギザが目立たず、一般的な文字やグラフィックなどをプリントするときに向いています。

「カイチョウ」に設定すると、階調を優先したディザパターンを使用します。グラデーションなどの微妙な階調をなめらかに再現するときに向いています。

「シキチョウ」に設定すると、色調を優先したディザパターンを使用します。色ずれなどが発生するイメージをプリントするときに向いています。安定した色調でプリントされます。

「コウカイゾウド」に設定すると、「カイゾウド」よりさらに線数の高いディザパターンを使用します。小さい文字や特に細い線をプリントするときに向いています。

OHP タイプ

トウカガタ、ハンシャガタ

OHP フィルムを投影するプロジェクタの種類によって印字モードを切り替えることができます。

「トウカガタ」は透過型のプロジェクタに、「ハンシャガタ」は反射型のプロジェクタに適しています。

重要 OHP フィルムにプリントする場合は、本プリンタ専用の「キヤノンカラーレーザ OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」をお使いください。

画質警告

ケイゾク、テイシ

「階調処理」（→ P.3-21）が「コウカイチョウ 1」や「コウカイチョウ 2」に設定されていても、大量のデータや複雑なデータなどを受信すると、処理に必要なメモリが不足して、高品位のプリントを通常の品位に落としてプリントすることがあります。そのときに、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

「ケイゾク」に設定すると、メッセージを表示せずに、自動的に印字品位を落としてプリントします。

「テイシ」に設定すると、メッセージを表示してプリントを停止します。その場合、[オンライン] を押すと、印字品位を落としてプリントを再開します。

メモ

- 本項目を「テイシ」に設定したとき、エラーが発生すると「36　カイチョウ　テイカ」や「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが表示されます。この場合、[オンライン] を押してエラーを解除することもできますが、処理スピードや印字品位が低下することがあります。
- 本項目を「テイシ」に設定して、「36　カイチョウ　テイカ」や「38　ガシツ　テイカ」というメッセージが頻繁に表示される場合は以下の対処を行ってください。
  1. 「印字動作」の項目を「ガシツ　ユウセン」に設定する
  2. 1 の対処を行ってもメッセージが表示される場合は「階調処理」を以下のように設定する
     「コウカイチョウ 2」に設定されているときは、「コウカイチョウ 1」に設定する
     「コウカイチョウ 1」に設定されているときは、「ヒョウジュン」に設定する
     ＊ただし、この場合、階調を落としてプリントされます
  3. 2 の対処を行ってもメッセージが表示される場合や、階調を落とさずにプリントしたい場合は、オプションの拡張 RAM（メインメモリ）を増設する
- 本項目を「テイシ」に設定すると、受信するデータの種類によって処理に必要なメモリが不足した場合に「28　ビョウガメモリ　フル」というメッセージを表示してプリントを停止するようにもなります。この場合、[オンライン] を押すとエラーを解除することができます。ただし、正しくプリントされない場合があります。

印字動作

ジドウ、ガシツ　ユウセン、トウロク　ユウセン

メモリ（RAM）の配分のしかたや、データの処理方法について設定します。

本プリンタに搭載されている RAM（標準で 32MB のメインメモリ）は、データを展開するための描画メモリ、図形などの処理のためのシステムワークメモリ、受信したデータを一時的にためておくための受信バッファなど、いろいろな用途に使われます。本プリンタでは各用途ごとに個別に設定しなくても自動的にメモリを配分し、最適な環境を実現します。

ただし、複雑で大量のデータをプリントする場合や、ハードディスクを搭載して多彩な機能を使う場合などは、必要に応じて本項目でメモリの配分のしかたを設定しておきます。

また、本項目の設定はメモリの配分のしかたを変えるだけではなく、データの処理方法も変えるので、効率よく目的に合ったプリントを行うことができます。

「ジドウ」に設定すると、描画メモリ、システムワークメモリ、受信バッファ用にそれぞれ自動的にメモリを配分します。通常はこの設定にしておいてください。

「ガシツ　ユウセン」に設定すると、描画メモリとシステムワークメモリを優先して確保します。また、できるだけ画質が低下しないようなデータの処理方法にするので、より確実に高品位なプリントができるようになります。ただし、プリントのスピードが若干遅くなることがあります。「ジドウ」に設定していて「36　カイチョウ　テイカ」や「38　ガシツ　テイカ」などのエラーが表示される場合に設定してください。

「トウロク　ユウセン」に設定すると、描画メモリは「ガシツ　ユウセン」の場合より少なく、システムワークメモリや受信バッファは適切な値に設定します。

そしてフォントや、オーバレイプリントに使用するフォームデータなどの登録用の領域のための空き容量を確保します。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ
- 登録用の領域として使用できるメモリ容量は、ステータスプリントの「空きメモリ量」を目安にしてください。ただし、ステータスプリントの「空きメモリ量」にプリントされる値はプリンタ待機時の値です。プリンタの状態、ご使用の OS やソフトウェアなどの条件によっては、実際の空きメモリ量がプリントされている値より小さいことがあります。
- 「ガシツ　ユウセン」に設定していても、オプションを装着していたり、複雑で大量のデータをプリントする場合、高品位な画質でプリントできないことがあります。

●「ガシツ　ユウセン」に設定した場合

プリンタの搭載メモリ（メインメモリ）によって、カラープリントできるデータサイズ（印字保証サイズ）の目安は次のようになります。大量で複雑なデータの場合でも印字保証サイズ以下であれば、指定した解像度と階調で、画質を落とさずにプリントすることができます。

総RAM容量（拡張RAM容量）	印字保証サイズ
32（標準）	B4
96（+64MB）＊	LG×4
160（+128MB）＊	A3×4
256（+256MB）＊	B4×8

＊ 表中に（+●●MB）とあるのは、標準のRAM（32MB）に加えて必要なオプションの拡張RAM（メインメモリ）の容量を示します。

上記の印字保証サイズは、「階調処理」の項目が「ヒョウジュン」に設定されていて、片面プリントの場合の値です。プリント時の階調や両面モードの設定によって、次のように印字保証可能なサイズが変わります。上記の表の用紙サイズから換算してください。

階調処理	標準	等倍
	高階調1	1/2倍
	高階調2	1/4倍
両面印刷	しない	等倍
	する	1/2倍

印字保証サイズはプリンタの空きメモリ（RAM）容量によって、上記の表のサイズよりも小さくなる場合があります。空きメモリ（RAM）容量は、オプションのコントロール ROM（LBP5800 のみ）を装着したり、フォントやオーバレイのデータをプリンタに登録したときなどに少なくなります。また、印字保証サイズは本項目を「ガシツ　ユウセン」に設定しているときのみ、ステータスプリントで確認することができます。

インタフェースグループの設定項目

インタフェースグループでは、パソコンと接続するときの方法や、データをやりとりするときの取り決めについて設定できます。

インタフェースグループの設定は、パソコン側のユーティリティソフトからは行えません。必ず、プリンタの操作パネルで設定してください。

インタフェース選択

ジドウ、セントロニクス、USB、ヒョウジュン　ネットワーク *1、カクチョウ　ネットワーク *2

*1「ヒョウジュン　ネットワーク」は、LBP5800 のみ表示されます。

*2「カクチョウ　ネットワーク」は、オプションのプリントサーバが装着されている場合にのみ表示されます。

パソコンと接続するときのインタフェースの種類を設定します。

「ジドウ」に設定すると、パソコンに応じて、接続しているインタフェースを自動的に切り替えてプリントすることができます。

先にデータを受信したインタフェースに自動的に切り替えるので、種類の異なるインタフェースに同時に接続しているときでも、そのつどプリンタ側で設定を変更する必要がありません。

「セントロニクス」「USB」「ヒョウジュン　ネットワーク」「カクチョウ　ネットワーク」は、それぞれのインタフェースのみを使用する場合に設定します。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

メモ　拡張 RAM（メインメモリ）を増設していない状態で、印字動作を「ガシツ　ユウセン」に設定してプリントする場合、本項目を「ジドウ」ではなく「セントロニクス」、「USB」など、個別のインタフェースに設定すると、データの処理速度が速くなることがあります。

タイムアウト

5 ～ 15 ～ 300 ビョウ、シナイ

動作モード自動切り替えを設定している場合、プリンタは、データを受信するとコントロールコマンドを認識して、動作モードを切り替えてプリントを開始し、データの終了を認識すると動作モードを終了します。この処理を「ジョブ」といいます。

プリンタ側ではジョブが終了しないと、次に違う種類のコントロールコマンドのデータがきても動作モード自動切り替えができません。このような場合に本項目でタイマーを設定しておくと、データが入力されなくなってから設定時間が経過したときに自動的にジョブを終了することができます。

また、アプリケーションソフトから排紙コマンドが送られてこないために、プリンタ内にデータが残ったままの状態のときも、本項目を設定しておくと、自動的に排紙することができます。

設定値で指定した時間が経過すると、自動的にジョブを終了します。また、「シナイ」に設定した場合は自動ジョブ終了の機能を使いません。

重要

- 自動ジョブ終了を設定した場合、パソコン側の処理に時間がかかると、データの途中でジョブが終了して正しいプリント結果が得られないことがあります。その場合は、タイムアウトの設定時間を調節してください。
- オプションのハードディスク（LBP5800のみ）を使用している場合は、次のように設定してください。
  - ・本項目を「シナイ」以外に設定してください。なるべく工場出荷時の状態の「15ビョウ」に設定しておくことをおすすめします。
  - ・LIPS専用セットアップメニューの「ジョブタイムアウト」（→ P.4-12）を「スル」に設定してください。

メモ

- ジョブ中は操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- オフライン状態のときは、自動ジョブ終了は行われません。

セントロニクス設定

■ busy-ack

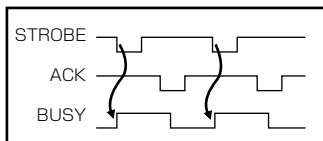
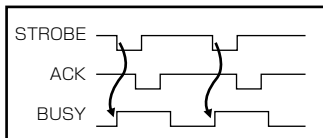
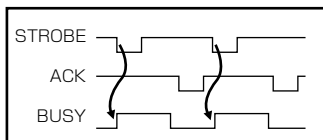
A-B-A、A-B、B-A

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

BUSY信号とACKNLG信号の出力順位を変更することができます。通常は「A-B-A」に設定しておいてください。

メモ

各設定値ごとのBUSY信号とACKNLG信号の出力順位は次のとおりです。

「A-B-A」：

「A-B」：

「B-A」：

■ セントロ受信速度

コウソク、チュウソク、テイソク

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータを受信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

メモ 「コウソク」に設定されている場合に、プリンタのデータ受信の速度が速すぎて、パソコンからのデータ送信が間に合わなくなり、プリントが行われないことがあります。このような場合は、「チュウソク」または「テイソク」に設定してください。

■ セントロ送信速度

コウソク、チュウソク、テイソク

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースからデータを送信する速度を設定することができます。

通常は「コウソク」に設定しておいてください。

■ インプットプライム

ドウサモード　イゾン、リセット

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

パソコンからインプットプライム（プリンタのリセット信号）を受信したときの処理を設定します。

「ドウサモード　イゾン（動作モード依存）」は、インタフェースの種類の設定で「ジドウ」または「セントロニクス」を選択している場合に機能します。インプットプライムを受信すると、動作中のモード（LIPS、ESC/P、オプションのエミュレーションのいずれか）の処理に依存します。

「リセット」は、インタフェースの種類の設定で「セントロニクス」を選択している場合にのみ機能します。インプットプライムを受信すると、プリンタをリセットします。

拡張インタフェースを使用している場合は、インプットプライムは無視されます。

メモ
- リセットを行うと、いったん受信したデータがキャンセルされます。プリント中の場合は、プリントを中止して、残りのデータは破棄されます。
- インプットプライムを受信し、処理をしている間は、ディスプレイに「03　インプットプライム」と表示されます。
- 本項目を「ドウサモード　イゾン」に設定した場合、LIPS モードではジョブを終了します。エミュレーションモードでは、各モードのエミュレーションの対象となるプリンタ（ESC/P エミュレーションでは ESC/P 準拠プリンタ）と同じ処理を行います。

■ 双方向

ECP、ニブル、ツカワナイ

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースでデータの双方向通信を設定することができます。通常は「ECP」に設定しておいてください。

「ECP」に設定すると、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ECP モード、ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ニブル」に設定すると、パソコンからプリンタへ、プリンタからパソコンへ双方向でデータを伝送します。ニブルモードおよびバイトモードに対応しています。

「ツカワナイ」に設定すると、パソコンからプリンタへのデータ伝送は行いますが、プリンタからパソコンへのデータ伝送は行いません。

メモ

- 本プリンタのパラレルインタフェースは、IEEE 1284.4 規格に準拠しています。これは従来のセントロニクスインタフェースを拡張したもので、パソコンとプリンタとの双方向通信、データ伝送速度の高速化、パケットプロトコルを実現しています。本プリンタはIEEE 1284.4 規格の中の ECP モード、ニブルモード、バイトモードのプロトコルに対応しています。
- お使いのパソコンやインタフェースケーブルが、プリンタと双方向でデータを伝送する機能を持っているかどうか、あるいはどのプロトコルに対応しているかについては、パソコンの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側に、プリンタと双方向でデータを伝送する機能がない場合は、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って本プリンタと双方向通信を行う場合は、本プリンタに付属している専用プリンタドライバをお使いください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコン側にエラーメッセージが表示された場合には、再度プリントを行うか、本項目を「ツカワナイ」に設定してください。
- Windows を使って双方向通信をしているときに、パソコンによっては、「ECP」に設定するとデータをプリントできない場合があります。その場合は、「ニブル」または「ツカワナイ」に設定してプリントしてください。
- 本項目を「ツカワナイ」に設定したときは、次の手順で Windows のプリンタドライバの設定で双方向通信機能を使わないように設定してください。
  ＜ Windows NT 4.0/2000/XP の場合＞
  ・[スタート] メニューの [設定] - [プリンタ] (Windows NT/2000)、[プリンタと FAX] (Windows XP) を選択します。
  ・お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] メニューを選択します。
  ・[ポート] シートの [双方向サポートを有効にする] のチェックを外します。

■ ジョブ区切り

シナイ、スル

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「セントロニクス」に設定されている場合にのみ表示されます。

セントロニクスインタフェースを使用してプリントしたときに不具合が発生することがあります。このようなときに「スル」に設定します。

重要　「スル」に設定した場合、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けや受信したジョブがプリントされないなど）があります。このような場合には、以下のいずれかの方法でプリントしなおしてください。
・Canon Driver Information Assist Service をインストールする
・「双方向」（→前項目）を「ツカワナイ」に設定する
・プリンタがオンラインになっていることを確認して、パソコンからデータを送信する

標準ネットワーク

■ TCP/IP

フレームタイプ................................ ETHERNET　2、ムコウ
IP モード * .... シュドウ、ジドウ
プロトコル *
　DHCP....................................... オフ、オン
　BOOTP..................................... オフ、オン
　RARP....................................... オフ、オン
アドレス *
　IP アドレス 192.168.0.215
　サブネットマスク...................... 0.0.0.0
　ゲートウェイアドレス 0.0.0.0

* 本項目は、LBP5800 で「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

*「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET　2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IP モード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IP モード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

本プリンタに内蔵されているプリントサーバの TCP/IP 設定を行います。本項目では、TCP/IP のフレームタイプ、IP アドレスの取得方法、IP アドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要　本項目で設定値を設定したあと、必ず「標準ネットワーク」の「設定登録」（→次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、気を付けてください。

メモ
- 「IP　アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、［◄］または［►］を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動し、［▼］を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。［►］を押すと数値が増え、［◄］を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、［▼］を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。
- 設定内容については、ネットワークガイド「第 2 章 TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」を参照してください。

■ 設定登録

ー

* 本項目は、LBP5800 で「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

標準ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「ヒョウジュン　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　トウロク」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと登録が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

■ ネットワーク設定初期化

ー

* 本項目は、LBP5800 で「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、標準ネットワークの設定内容を工場出荷時の状態に戻すことができます。

「ヒョウジュン　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「ネットワークセッテイショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと初期化が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

拡張ネットワーク

■ TCP/IP

フレームタイプ .... **ETHERNET　2、ムコウ**
IP モード *.. **シュドウ、ジドウ**
プロトコル *
　DHCP .... **オフ、オン**
　BOOTP...................................... **オフ、オン**
　RARP... **オフ、オン**
アドレス *
　IP アドレス .... **数値**
　サブネットマスク........................ **数値**
　ゲートウェイアドレス............... **数値**

* 本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

*「IP モード」、「プロトコル」、「アドレス」は、「フレームタイプ」が「ETHERNET　2」に設定されている場合にのみ表示されます。また、「プロトコル」は「IP モード」が「ジドウ」に、「アドレス」は「IP モード」が「シュドウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

* 工場出荷時の設定値は、装着するプリントサーバによって異なります。

本プリンタにオプションで装着されたプリントサーバの TCP/IP 設定を行います。本項目では、TCP/IP のフレームタイプ、IP アドレスの取得方法、IP アドレス自動取得のプロトコル、アドレス（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の設定ができます。

重要 本項目で設定値を設定したあと、必ず「拡張ネットワーク」の「設定登録」（→次項目）で登録操作を行ってください。登録操作を行わないと設定した値が有効になりませんので、気をつけてください。

メモ
- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」の数値を入力するには、［◄］または［►］を押して、入力したいアドレスの各フィールド（ピリオドで区切られた 3 桁分の領域）にカーソルを移動し、［▼］を押します。フィールド内の数値が点滅し、数値を入力できるようになります。［►］を押すと数値が増え、［◄］を押すと数値が減少します。目的の数値が表示されたら、［▼］を押して確定します。以上の操作を繰り返して、各フィールドの数値を入力します。
- 設定内容については、オプションのプリントサーバに付属の取扱説明書を参照してください。

■ 設定登録

ー

* 本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

拡張ネットワークの設定を変更した場合に、変更した設定値を登録します。

「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「セッテイ　トウロク」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと登録が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、登録を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

■ ネットワーク設定初期化

ー

* 本項目は、操作パネルからのネットワーク設定をサポートしたオプションのプリントサーバが装着されていて、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

初期化を行うと、拡張ネットワークの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。「カクチョウ　ネットワーク」を選択したあと、次の階層で「ネットワーク　セッテイショキカ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ？」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと初期化が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行わずに通常のプリントができる状態に戻ります。

コネクション認識

スル、シナイ

* 本項目は、「インタフェース選択」の項目が「ジドウ」または「ヒョウジュン　ネットワーク」、「カクチョウ　ネットワーク」に設定されている場合にのみ表示されます。

「標準ネットワーク」／「拡張ネットワーク」を使用してプリントした場合に、正しいプリント結果が得られないこと（文字化けやオーバレイプリントが正しくできないなど）があります。そのような場合に、本項目を「シナイ」に設定してください。

重要　本項目の設定を変更した場合は、設定を有効にするために、電源を入れなおすかハードリセット操作を行ってください。

動作モードグループの設定項目

動作モードグループでは、エミュレーションの固定や優先などプリンタの動作モードについて設定できます。

動作モード選択

ジドウ　センタク、その他のエミュレーション*[1]*[2]、BMLinkS、LIPS、ESC/P*[1]、HEX-DUMP、LIPS-DUMP

*1「その他のエミュレーション」、「ESC/P」は、LBP5800 のみ表示されます。

*2「その他のエミュレーション」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示されます。

動作モード選択では、本プリンタが動作するモードを設定することができます。パソコンから送信されたデータによって自動的に動作モードを切り替えるか、LIPS、ESC/P、BMLinkS の各モードやオプションのエミュレーションモードに動作モードを固定して本プリンタを使用するかを設定できます。

また、データを文字や図形に変換せずに、16 進コードでプリントする「HEX-DUMP」や、LIPS のコントロールコマンドの状態でプリントする「LIPS-DUMP」でプリントすることもできます。

「ジドウ　センタク」:（自動切り替えモード）

パソコンから送信されたデータが、LIPS コマンド、ESC/P エミュレーションコマンド、BMLinkS コマンド、オプションのエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションソフトからプリントする場合、通常はこのモードでお使いください。

工場出荷時は、「ジドウ　センタク」が設定されています。

重要　オプションのコントロール ROM を装着している場合は、オプションのエミュレーションモードも含めて自動切り替えが行えます。ただし、本プリンタを IBM5577、HP-GL などのプリンタのエミュレーションとしてお使いの場合で、パソコン側で専用のハンドシェークが必要な場合は、オプションのエミュレーションモードに固定してお使いください。

メモ　工場出荷時の状態では、オプションのエミュレーションモードも含めてすべてのモードを対象に自動切り替えを行いますが、自動切り替えの対象となるモードを限定することもできます。（→自動切り替え：次項目）

「その他のエミュレーション」（LBP5800 のみ）

動作モードをオプションのエミュレーションモードに固定します。オプションのコントロール ROM を装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

「BMLinkS」：（BMLinkS モード）

動作モードを BMLinkS モードに固定します。

使用するコントロールコマンドが BMLinkS に限られる場合（BMLinkS プリンタドライバのみを使用している場合）や、自動切り替えでうまく BMLinkS モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

メモ　LBP5700 の場合、BMLinkS に対応したオプションのプリントサーバが装着されているときのみ、BMLinkS モードが有効になります。

「LIPS」：（LIPS モード）

動作モードを LIPS モードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが LIPS に限られる場合や、自動切り替えでうまく LIPS モードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「ESC/P」：（ESC/P エミュレーションモード）（LBP5800 のみ）

動作モードを ESC/P エミュレーションモードに固定します。

アプリケーションソフトが使用するコントロールコマンドが ESC/P に限られる場合や、自動切り替えでうまく ESC/P エミュレーションモードに切り替わらない場合にこのモードにします。

「HEX-DUMP」：（ヘキサダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに 16 進コードでプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

ヘキサダンプリストの見かたについては、「ヘキサダンプリスト」（→ P.7-13）を参照してください。

「LIPS-DUMP」：（LIPS ダンプモード）

パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。パソコンからの出力内容を検証する場合などにこのモードにします。

LIPS ダンプリストの見かたについては、「LIPS ダンプリスト」（→ P.7-14）を参照してください。

●動作モードの自動切り替えについて

アプリケーションソフトのプリンタ選択画面で、常に特定のプリンタ名しか選択しない（特定のコントロールコマンドしか使わない）場合以外は、動作モードは自動切り替えに設定しておくと便利です。

自動切り替えに設定した場合は、受信したデータの順にコントロールコマンドの種類を認識して自動的に動作モードを切り替えてプリントします。

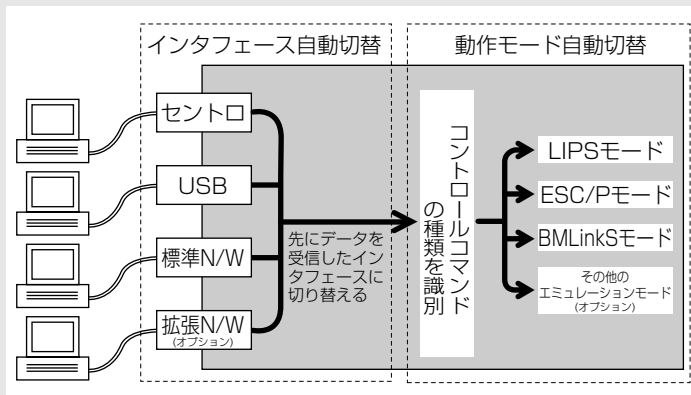
自動切り替えで正しく動作モードを切り替えたいときは、「タイムアウト」（→P.3-27）を設定しておく必要があります。ジョブタイムアウトは、データが入力されなくなってから一定時間以上たつと、それまで動作していた動作モードを終了し、次の動作モードに切り替われる状態にする機能です。工場出荷時は、データが入力されなくなってから 15 秒たつと、動作モードを終了するように設定されています。

また、本プリンタにはインタフェースの種類を自動的に切り替える機能もあります。インタフェースの自動切り替えと動作モードの自動切り替えを同時に設定している場合は、次の順番で切り替えます。

① インタフェースを切り替える

データを先に受信したインタフェースに自動的に切り替えます。

② 動作モードを切り替える

受信したデータのコントロールコマンドの種類を識別して、動作モードを自動的に切り替えます。

自動切り替え

LIPS ....**ツカウ**、ツカワナイ
ESC/P*1 ....**ツカウ**、ツカワナイ
BMLinkS................**ツカウ**、ツカワナイ
オプション *1*2........**ツカウ**、ツカワナイ

*1「ESC/P」、「オプション」は、LBP5800 のみ表示されます。

*2「オプション」は、オプションのコントロールROM が装着されている場合にのみ表示されます。

動作モード自動切り替えが設定されている場合の、自動切り替えの対象となる動作モードを設定します。LIPS エミュレーション、ESC/P エミュレーション、BMLinkS、オプションのエミュレーションの各モードについて設定します。

「ツカウ」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象とします。「ツカワナイ」に設定すると、そのモードを自動切り替えの対象としません。

メモ
- 動作モード自動切り替えは、「動作モード選択」（→前項目）で設定します。
- 本項目で、すべてのモードを自動切り替えの対象としない設定にしたときに、動作モード自動切り替えが設定された場合は、優先エミュレーションメニューで設定されたモードで動作します。
- 「オプション」を「ツカワナイ」に設定すると、装着されているオプションのエミュレーションすべてが自動切り替えの対象から外れます。

優先エミュレーション

ESC/P*1、ナシ、その他のエミュレーション*1*2、BMLinkS、LIPS

*1「ESC/P」、「その他のエミュレーション」は、LBP5800 のみ表示されます。

*2「その他のエミュレーション」は、オプションのコントロール ROM が装着されている場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示されます。

動作モードの自動切り替えを設定した状態で、本プリンタがコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える「優先エミュレーション」を設定しておくことができます。

「ESC/P」（LBP5800 のみ）

ESC/P エミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

LBP5800 の工場出荷時は、「ESC/P」に設定されています。

「ナシ」

優先エミュレーションを設定しません。

コントロールコマンドを識別できなかった場合は、以前の動作モードで引き続き処理をします。

「その他のエミュレーション」（LBP5800 のみ）

オプションのエミュレーションモードを優先エミュレーションにします。

オプションのコントロール ROM を装着している場合にのみ、そのエミュレーションの名前が表示され、選択できるようになります。

「BMLinkS」

BMLinkS モードを優先エミュレーションにします。

「LIPS」

LIPS モードを優先エミュレーションにします。

LBP5700 の工場出荷時は、「LIPS」に設定されています。

ユーザメンテナンスグループの設定項目

ユーザメンテナンスグループでは、給紙元ごとの印字位置の調整やプリント時の処理方法の設定など、トラブル発生時のプリンタの調整について設定できます。

定着特殊処理

シナイ、スル

蒸し暑いところにプリンタが設置されている場合に、両面印刷を行うと2面目がしわになることがあります。このような場合に、本項目を「スル」に設定すると、プリント結果を改善することができます。

重要
- 本項目は、普通紙にプリントする場合にのみ設定してください。
- 温度や湿度が低いところにプリンタが設置されている場合には、本項目を「スル」に設定しないでください。印字品質が低下します。

印字位置調整

縦補正（トレイ）................................0 ～ **52** ～ 104
横補正（トレイ）................................0 ～ **52** ～ 104
縦補正（カセット1）........................0 ～ **52** ～ 104
横補正（カセット1）........................0 ～ **52** ～ 104
縦補正（カセット2）*....................0 ～ **52** ～ 104
横補正（カセット2）*....................0 ～ **52** ～ 104
縦補正（カセット3）*....................0 ～ **52** ～ 104
横補正（カセット3）*....................0 ～ **52** ～ 104
縦補正（カセット4）*....................0 ～ **52** ～ 104
横補正（カセット4）*....................0 ～ **52** ～ 104
縦補正（両面）....................................0 ～ **52** ～ 104
横補正（両面）....................................0 ～ **52** ～ 104

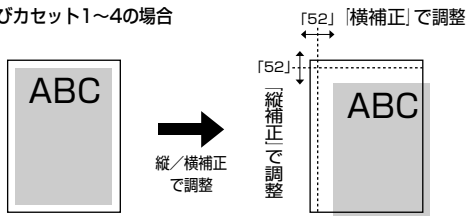
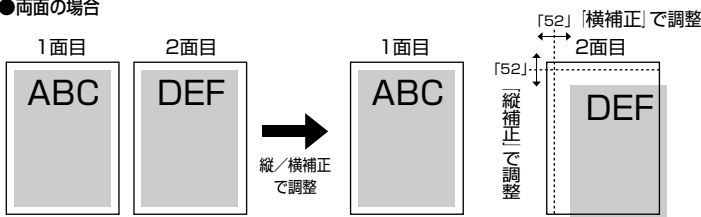
* 「縦補正（カセット2）」、「横補正（カセット2）」、「縦補正（カセット3）」、「横補正（カセット3）」、「縦補正（カセット4）」、「横補正（カセット4）」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

設定値で指定した値だけ、印字位置を縦方向または横方向にずらして調整します。

設定値はドット数で表されており、4ドット（約0.17mm）ずつ［►］または［◄］を押して調整することができます。

3

共通セットアップメニューの設定項目

印字位置の調整を行わない場合は、「52」に設定し、[◄] を押して「0」に近づくほど余白が狭くなり、[►] を押して「104」に近づくほど余白が広くなります。「0」に設定したときは約 -2.2mm、「104」に設定したときは約 +2.2mm の調整ができます。

メモ

両面プリント時の 2 面目の画像の向きは、プリントする用紙の向きや「とじ方向」(→ P.3-18) の設定によって次のように変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。

カウンタ初期化

■ ETB ユニット

ー

ETB ユニットを交換したときに本項目でカウンタのリセットを行います。

ETB カウント初期化を行うことで、操作パネルに表示されている ETB ユニットの交換メッセージ（EH　ETB ユニット　ヨコク／ EH　ETB ユニット　コウカン／ ER　ETB ユニット　コウカン）を消すことができます。

「ETB ユニット」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ ?」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと初期化が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行いません。

重要　この操作は ETB ユニットの交換時にのみ行ってください。ETB ユニットを交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、カートリッジやプリンタが故障する原因になります。

メモ　「EH　ETB ユニット　コウカン」が表示されているときは、[オンライン] を押して「ER　ETB ユニット　コウカン」を表示させてから本項目で初期化を実行してください。

■ 定着器

ー

定着器を交換したときに本項目でカウンタのリセットを行います。

定着器カウント初期化を行うことで、操作パネルに表示されている定着器の交換メッセージ（E5　テイチャクキ　ヨコク）を消すことができます。

「テイチャクキ」を選択すると、「ジッコウ　シマスカ ?」という確認のメッセージが表示されます。ここで［実行］を押すと初期化が行われます。［実行］を押さずに［オンライン］を押すと、初期化を行いません。

重要　この操作は定着器の交換時にのみ行ってください。定着器を交換しないで行うと、カウンタが正しく動作しなくなり、プリンタが故障する原因になります。

特殊モード J

ツカワナイ、ツカウ

トレイ用紙サイズを「フリー」に設定した場合に、「41　プリントチェック」を表示させてプリントを中断するか、プリント速度を遅くしてプリントするかを設定します。

「ツカワナイ」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に給紙トレイにセットされた用紙サイズが異なる場合、「41　プリントチェック」が表示されて、プリントが中断されることがあります。エラーとなった用紙は自動的に排紙されます。また、［オンライン］を押して、プリントを継続することもできます。ただし、正しくプリントされなかったり、紙づまりが発生することがあります。

「ツカウ」に設定すると、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズと実際に給紙トレイにセットされた用紙サイズが異なる場合でも、プリントチェックを行わずにプリントします。ただし、プリント速度が低下することがあります。また、アプリケーションソフトで指定した用紙サイズの大きさでプリントされるので、給紙トレイにセットされた用紙がアプリケーションソフトで指定した用紙サイズと異なる場合は、余白があいたり、画像の一部が欠けたりすることがあります。

重要　両面プリント時は、本項目の設定に関わらず、「41　プリントチェック」が表示されて、プリントが中断されます。

特殊モード L

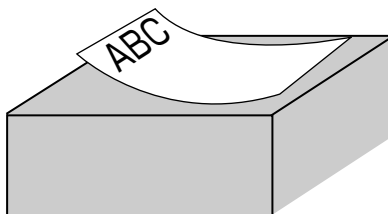
ツカワナイ、ツカウ

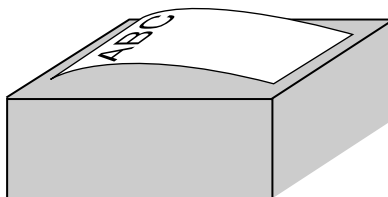
A3 や B4 サイズなどの大きいサイズの用紙に連続してプリントした結果、用紙の後端にトナーの汚れが付着することがあります。このような場合に、本項目を「ツカウ」に設定すると、プリント結果を改善することができます。

重要
- 問題が解決した場合、設定値を工場出荷時の状態の「ツカワナイ」に戻してください。
- 本項目を「ツカウ」に設定すると、プリント速度が遅くなることがあります。

OHP フィルム鏡像

シナイ、スル

プリントしたOHP フィルムをプロジェクタに置いたとき、次のようにOHP フィルムが反ってしまうことがあります。

このようなときは、本項目を「スル」に設定してください。「スル」に設定すると、鏡像でプリントします。鏡像でプリントした OHP フィルムは次のようにプロジェクタに置くことにより反りを抑えることができます。

メモ

- Windows 用プリンタドライバを使わずに本項目を「スル」に設定してプリントした場合、排紙した OHP フィルムは、鏡像でプリントされるため上向き（フェースアップ）で排紙したようになります。複数ページの OHP フィルムがプリントされ、排紙トレイに積み重なると、逆順に積み重なったようになります。このようなことを避けるには、1 枚ずつ OHP フィルムを取り除くか、アプリケーションソフトで逆順でプリントする設定にしてください。
  Windows 用プリンタドライバを使って鏡像でプリントした場合は、排紙した OHP フィルムはページ順に積み重なります。
- 本項目は、OHP フィルムにプリントした場合にのみ有効です。中差し用紙にプリントする場合でも、OHP フィルムにのみ鏡像でプリントします。

特殊印字処理

■ OHP フィルム特殊処理

シナイ、スル

蒸し暑いところに保管されていた OHP フィルムを使用すると、印字むらが出る（部分的に印字が薄くなる）ことがあります。このようなときに本項目を「スル」に設定すると、プリント結果を改善することができます。

重要

- 本項目は、OHP フィルムを使用する場合にのみ設定してください。
- 本項目は、電源を切るかハードリセット操作を行うと、自動的に「シナイ」に戻ります。
- 温度や湿度が低いところに保管されている OHP フィルムを使用する場合には、本項目を「スル」に設定しないでください。印字品質が低下します。
- 設置環境や印字する画像によっては、本項目を「スル」に設定してもプリント結果が改善されない場合があります。このようなときは、お買い求めの販売店または、キヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

■ 薄紙特殊処理

シナイ、スル

冬場など乾燥したところに保管されていた薄手の用紙や、ざらついた用紙に両面プリントすると、2 面目の画像に白い水玉が生じることがあります。このようなときに本項目を「スル」に設定すると、プリント結果を改善することができます。

重要

- 本項目は、電源を切るかハードリセット操作を行うと、自動的に「シナイ」に戻ります。
- 温度や湿度が高いところに保管されている用紙を使用する場合には、本項目を「スル」に設定しないでください。印字品質が低下します。
- 設置環境や印字する画像によっては、本項目を「スル」に設定してもプリント結果が改善されない場合があります。このようなときは、お買い求めの販売店または、キヤノン販売（株）「お客様相談センター」にお問い合わせください。

■ サービス特殊設定

ツカワナイ、セッテイ A、セッテイ B

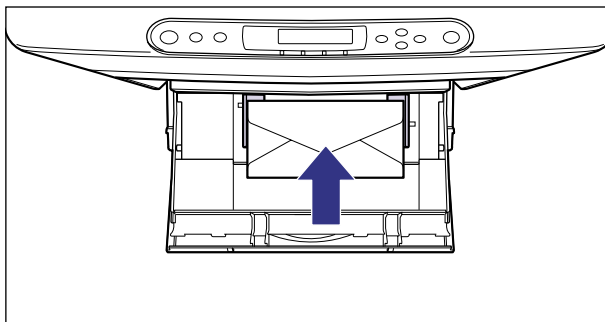
特定の環境でプリンタを使用したり、特定の用紙を使用すると、正しくプリントできなかったり、印字品質が低下することがあります。このようなときは、問題を解決するために、使用する環境や用紙に合わせたプリント設定を専門のサービスマンが行うことがあります。サービスマンが行った設定は「セッテイ A」または「セッテイ B」に登録されていますので、サービスマンの指示にしたがって「セッテイ A」または「セッテイ B」に設定してプリントします。

重要
- サービスマンの指示がない限り、本項目の設定を変更しないでください。
- 本項目は、電源を切るかハードリセット操作を行うと、自動的に「ツカワナイ」に戻ります。

封筒 Y4 横送り

シナイ、スル

プリンタの使用環境（低温低湿環境）によっては、洋形４号の封筒にプリントすると、印字品質が低下することがあります。このような場合に、本項目を「スル」に設定すると、プリント結果を改善することができます。

重要
- 問題が解決した場合、設定値を工場出荷時の状態の「シナイ」に戻してください。
- 本項目を「スル」に設定した場合は、図のように封筒のふたを閉めて、ふたが奥側になる向きにセットしてください。

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

4
CHAPTER

この章では、LIPS モードに固有の LIPS 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。LIPS 専用セットアップメニューは、LBP5800 のみ設定できます。

LIPS 専用セットアップメニュー 設定項目一覧

■ 表の見かた

- LIPS 専用セットアップメニューは、LBP5800 のみ表示されます。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

設定項目	設定値	参照ページ
拡大／縮小	**シナイ**、→ A3、→ B4、→ A4、→ B5、→ A5、→ハガキ、→リーガル、→レター	P.4-3
複数ページ印刷	**シナイ**、2 ページ（ヒダリ）、2 ページ（ミギ）、4 ページ（ヨコ - ヒダリ）、4 ページ（ヨコ - ミギ）、4 ページ（タテ - ヒダリ）、4 ページ（タテ - ミギ）	P.4-3
複数ページ余白	**パターン 1**、パターン 2	P.4-5
ページの向き	**タテ**、ヨコ	P.4-6
オーバレイ 1 ／ 2	**シナイ**、0 ～ 32767	P.4-6
カラーオーバレイ	**シナイ**、スル	P.4-7
スタートアップマクロ	0 ～ **30** ～ 32767	P.4-8
漢字コード	**JIS**、シフト JIS、EUC、DEC	P.4-8
文字サイズ	**10 ポイント**、12 ポイント、8 ポイント	P.4-9
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック	P.4-9
ANK 書体	**ミンチョウ**、ゴシック、ラインプリンタ	P.4-10
漢字グラフィックセット	**JIS90**、JIS78	P.4-10
行数	**6LPI**、8LPI、10 ～ 99	P.4-10
桁数	**ジドウ**、10CPI、12CPI、15CPI、10 ～ 200	P.4-10
自動改ページ	**スル**、シナイ	P.4-11
自動改行	**スル**、シナイ	P.4-11
CR 機能	**CR ノミ**、CR+LF	P.4-11
LF 機能	**LF ノミ**、LF+CR	P.4-11
網かけ解像度	**クイック**、ファイン	P.4-12
ジョブタイムアウト	**シナイ**、スル	P.4-12
白紙節約	**ツカウ**、ツカワナイ	P.4-12

LIPS 専用セットアップメニューの設定項目

LIPS 専用セットアップメニューでは、拡大／縮小プリントや複数ページ印刷などについて設定できます。

メモ　LIPS 専用セットアップメニューは、LBP5800 のみ設定できます。

拡大／縮小

シナイ、→ A3、→ B4、→ A4、→ B5、→ A5、→ハガキ、→リーガル、→レター

拡大または縮小プリントの設定をします。

アプリケーションソフトで作成したデータサイズと、設定値で指定した出力用紙サイズから、自動的に倍率を計算し、拡大／縮小してプリントします。

メモ
- アプリケーションソフトで作成するデータのサイズが定形サイズ（A4、B5 など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。
- 拡大／縮小でプリントすると、線の太さにムラが生じたり、細い線が消えたりすることがあります。
- アプリケーションソフトからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小してプリントされないことがあります。
- 拡大／縮小率が 25 ～ 200%の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍でプリントされます。この場合正しいプリント結果にはなりません。

複数ページ印刷

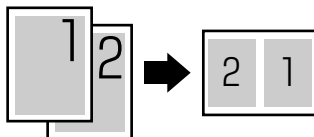
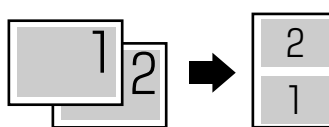
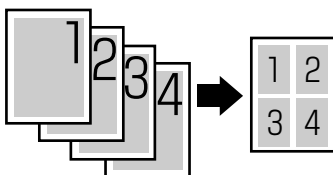
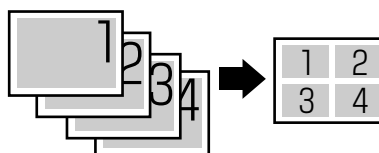
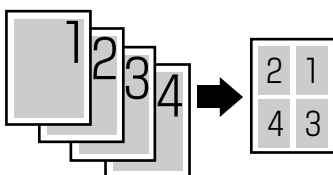
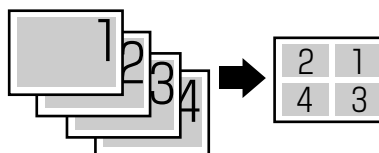
シナイ、2 ページ（ヒダリ）、2 ページ（ミギ）、4 ページ（ヨコ - ヒダリ）、4 ページ（ヨコ - ミギ）、4 ページ（タテ - ヒダリ）、4 ページ（タテ - ミギ）

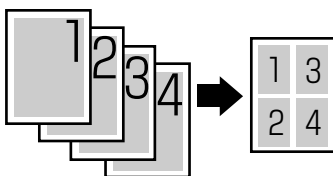
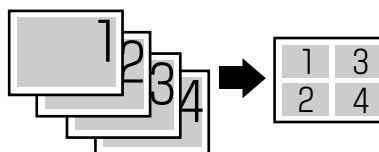
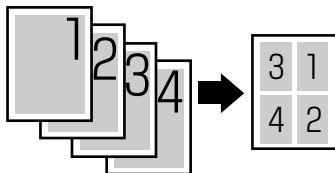
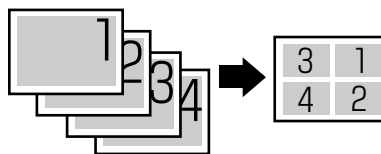
アプリケーションソフト側で作成したデータを、2 ページ分または 4 ページ分を並べて 1 ページにプリントできます。

「2 ページ（ヒダリ）」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合

用紙を横に使ってプリントする場合

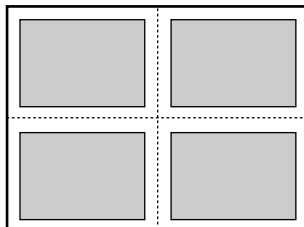
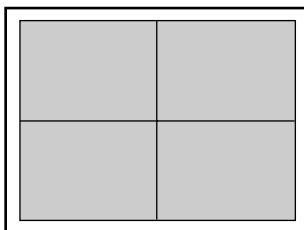
「2 ページ（ミギ)」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

「4 ページ（ヨコ−ヒダリ)」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合　　用紙を横に使ってプリントする場合

「4 ページ（ヨコ−ミギ)」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から横方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合　　用紙を横に使ってプリントする場合

「4 ページ（タテ−ヒダリ)」に設定すると、4 ページ分のデータを、左上から縦方向に並べてプリントします。

用紙を縦に使ってプリントする場合　　用紙を横に使ってプリントする場合

「4 ページ（タテーミギ）」に設定すると、4 ページ分のデータを、右上から縦方向に並べてプリントします。

メモ
- 異なるサイズのページデータを並べて 1 ページにプリントすることはできません。
- 拡大／縮小と複数ページ印刷を同時に設定し縮小率が　25%より小さくなる場合、複数ページ印刷は行われず正しいプリント結果にはなりません。

複数ページ余白

パターン 1、パターン 2

「複数ページ印刷」の機能を使って 2 ページ分または 4 ページ分を並べてプリントする場合の、余白のとりかたを設定します。

「パターン　1」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけてレイアウトします。

「パターン　2」に設定すると、各ページが接する部分に余白をつけずにレイアウトします。

メモ
- 「パターン 1」と「パターン 2」とでは余白のとりかたが違うため、画像の縮小率が異なります。「パターン 1」よりも「パターン 2」のほうが若干画像が大きくなります。
- 「パターン　2」に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白がつくことがあります。

ページの向き

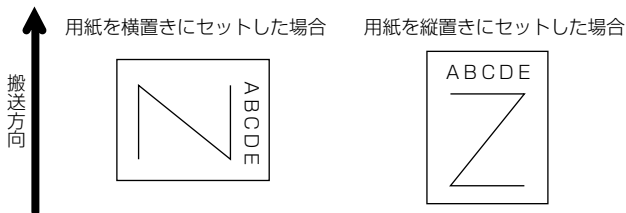
タテ、ヨコ

用紙を縦に使用してプリントするのか、横に使用してプリントするのかを設定します。

「タテ」に設定すると、用紙をセットした向き（置きかた）に関わらず、用紙を縦に使用してプリントします。

搬送方向

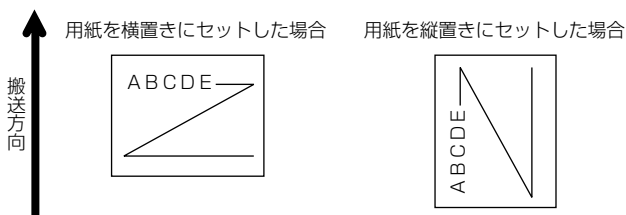
用紙を横置きにセットした場合

用紙を縦置きにセットした場合

「ヨコ」に設定すると、用紙をセットした向き（置きかた）に関わらず、用紙を横に使用してプリントします。

搬送方向

用紙を横置きにセットした場合

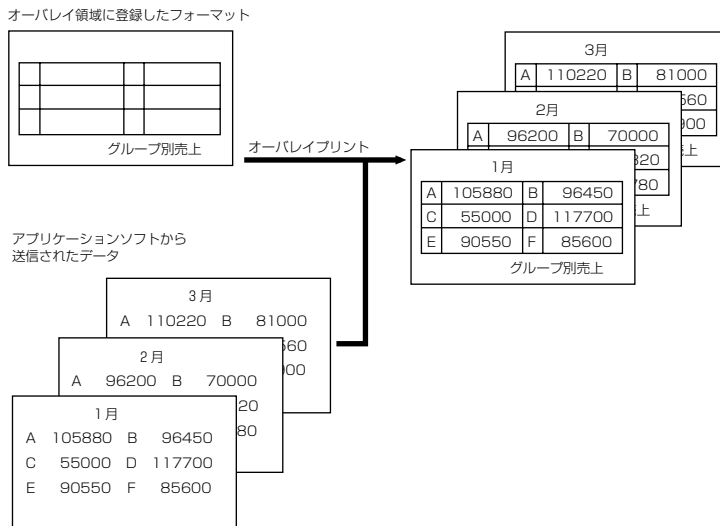
用紙を縦置きにセットした場合

オーバレイ 1 ／オーバレイ 2

シナイ、0 ～ 32767

オーバレイプリントを行うかどうかを設定します。オーバレイプリントを行う場合は、オーバレイプリントで使用するフォーマットデータの番号を指定します。

オーバレイプリントとは、各ページに共通するタイトルや表組みなどのフォーマットを、あらかじめプリンタのオーバレイ領域に登録し、後から別のデータを重ねてプリントする機能です。オーバレイプリントを行うと、各ページ共通のデータを、ページごとにアプリケーションソフト側から送る必要がないため、効率良くプリントすることができます。

オーバレイ領域には、1 ページ分のフォーマットを最大で 32,768 種類登録することができます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。登録の際にはフォーマットに 0 ～ 32767 の番号をつけて登録します。本項目では、オーバレイ 1 あるいはオーバレイ 2として、どの番号のフォーマットを選択するかという設定だけを行います。

メモ

- オーバレイの内容は、 電源をオフにするか、ハードリセット操作を行うと削除されます。
- オーバレイ領域に登録したフォーマットデータの内容や番号、 サイズは、LIPS 専用ユーティリティの「オーバレイプリント」、「オーバレイリスト」で確認することができます（→ P.6-4）。
- 登録するフォーマットを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

カラーオーバレイ

シナイ、スル

オーバレイプリントのモノクロのフォーマットを登録する際に、モノクロデータをカラーモードで使用可能にするかどうかを設定します。本項目では、モノクロのフォーマットをカラー化するかどうかを設定するだけで、登録そのものは行いません。フォーマットの作成や登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。また、オーバレイプリントを行うかどうかは、「オーバレイ 1」、「オーバレイ 2」（→前項目）で設定します。

「シナイ」に設定すると、オーバレイプリントのモノクロのフォーマットをカラーデータ化しません。

「スル」に設定すると、オーバレイプリントのモノクロのフォーマットをカラーデータ化します。

メモ

本項目は、「カラーモード」（→ P.3-23）を「カラー」に設定してあるときのみ有効です。

スタートアップマクロ

0 ～ **30** ～ 32767

スタートアップマクロ機能を使用するかどうかを設定します。使用しない場合は「0」を、使用する場合は実行したいマクロ番号を指定します。

スタートアップマクロ機能は、あらかじめパソコン側で作成した LIPS のコントロールコマンドのプログラムを、プリンタのマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行するようにする機能です。

マクロ領域には、最大で 1 ～ 32,767 番までの 32,767 種類のプログラムを登録することができます。登録は、アプリケーションソフト側から LIPS のコントロールコマンドで行います。プリンタ側では、本項目で実行したいマクロの番号の選択だけを行います。選択した番号のマクロはリセットを行うたびに実行されます。

メモ
- 登録したマクロの番号やサイズなどは、LIPS 専用ユーティリティの「マクロリスト」で確認することができます（→ P.6-5）。
- 登録するプログラムを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

漢字コード

JIS、シフト JIS、EUC、DEC

パソコンで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。通常は「JIS」に設定しておきますが、次のような場合に「JIS」以外に設定します。

- アプリケーションソフトを使わず、MS-DOS のテキストデータをそのままプリントするときには「シフト JIS」を設定します。
- UNIX を OS とするワークステーションやパソコンを使用するときには「EUC」（Extended Unix Code：UNIX 拡張コード）を設定します。
- DEC漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときには「DEC」（DEC コード）を設定します。

各漢字コードの文字セットは、次のように G0 ～ G3 の割り当てテーブルに割り当てられます。

	シフトJIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字

GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0~G1	G0~G1	解除	解除

重要

- 「シフト JIS」に設定した場合は、LIPS の C1 制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を 7 ビット形式で送信すれば、LIPS のコマンドとして動作します。
- 本項目で漢字コードを設定するということは、漢字コード体系に応じて文字セットを割り当てテーブルに割り当てるということです。JIS で規定されていない拡張文字などはプリントされません。
  上記以外の漢字コードを使用する場合は、アプリケーションソフト側で文字セットを割り当ててください。

メモ

- 指定された文字セットが存在しない場合は、近い属性の文字セットを使用してプリントします。
- JIS 漢字コードには「新 JIS」と「旧 JIS」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、「漢字グラフィックセット」（→ P.4-10）で設定します。
- UNIXではEUC を採用していますが、中にはOSのデバイスドライバがJIS 漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、パソコンの操作説明書を参照してください。

文字サイズ

10 ポイント、12 ポイント、8 ポイント

印字する文字の大きさをポイント数で設定します。

1 ポイントは約 0.35 mm（1/72"）です。

コントロールコマンドで LIPS III または LIPS IV を使用しているときと、LIPS II +を使用しているときとでは同じ設定値でも、実際にプリントされる大きさが次のように異なります。

「10 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 10 ポイント　LIPS II +＝ 9.6 ポイント
「12 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 12 ポイント　LIPS II +＝ 12 ポイント
「8 ポイント」：LIPS III ／ IV ＝ 8 ポイント　LIPS II +＝ 7.2 ポイント

設定値	LIPS III／IV	LIPS II+
8ポイント 10ポイント 12ポイント	8　文字サイズ 10　文字サイズ 12　文字サイズ	7.2　文字サイズ 9.6　文字サイズ 12　文字サイズ

メモ

LIPS II +のときのポイント数（7.2、9.6）はディスプレイに表示されません。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック

漢字やひらがななどの全角文字の書体を設定します。

「ミンチョウ」	「ゴシック」
明朝体	ゴシック体

4

LIPS専用セットアップメニューの設定項目

ANK 書体

ミンチョウ、ゴシック、ラインプリンタ

半角英数字や半角カナなどの ANK 文字の書体を設定します。

ANK とは、Alphabet、Numeric、Kana の略です。

ミンチョウ	123　ABC　ﾐﾝﾁｮｳﾀｲ
ゴシック	123　ABC　ｺﾞｼｯｸﾀｲ
ラインプリンタ	123　ABC　ﾗｲﾝﾌﾟﾘﾝﾀ

漢字グラフィックセット

JIS90、JIS78

「漢字コード」（→ P.4-8）の種類で「JIS」を選択した場合に使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS 漢字コードには「新 JIS（JIS90）」と「旧 JIS（JIS78）」があります。新 JISコードは、旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加、変更したものです。

メモ
- グラフィックセットとは、パソコンからのコードに対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。
- 新 JIS と旧 JIS の漢字コード表は付属の CD-ROM に収められています。

行数

6LPI、8LPI、10 ～ 99

１インチまたは１ページにプリントする行数を設定します。

LPI は Line Per Inch の略で、１インチあたりの行数の単位を表します。

「6LPI」に設定すると、１インチに 6 行プリントします。
「8LPI」に設定すると、１インチに 8 行プリントします。
「10 ～ 99」に設定すると、１ページにプリントする行数を 10 ～ 99 行の範囲で設定します。「10」を選択してから［►］を押すと行数が増え、［◄］を押すと行数が減ります。

桁数

ジドウ、10CPI、12CPI、15CPI、10 ～ 200

1 インチまたは 1 行にプリントする文字数を設定します。

CPI は、Characters Per Inch の略で、1 インチあたりの文字数の単位を表します。

「ジドウ」に設定すると、現在選択しているフォントに応じた文字数でプリントします。

「10CPI」に設定すると、1 インチに 10 桁プリントします。
「12CPI」に設定すると、1 インチに 12 桁プリントします。
「15CPI」に設定すると、1 インチに 15 桁プリントします。
「10 ～ 200」に設定すると、1 行にプリントする文字数を 10 ～ 200 の範囲で設定します。「10」を選択してから［►］を押すと桁数が増え、［◄］を押すと桁数が減ります。

自動改ページ

スル、シナイ

印字位置が有効印字領域の下端を超えようとしたとき、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページしてプリントするかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、パソコンから改ページコード（FF）が送られるまで印字位置を変更しません。

自動改行

スル、シナイ

印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に改行してプリントするかどうかを設定します。

「シナイ」に設定すると、パソコンから復帰コード（CR）、改行コード（LF）が送られるまで印字位置を変更しません。

CR 機能

CR ノミ、CR+LF

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「CR ノミ」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置をその行の第一文字目（左マージン）に移動します。

「CR ＋ LF」に設定すると、復帰コード（CR）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

LF 機能

LF ノミ、LF+CR

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF ノミ」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行に移動します。桁位置はそのままです。

「LF ＋ CR」に設定すると、改行コード（LF）を受信すると、印字位置を次の行の第一文字目に移動します。

網かけ解像度

クイック、ファイン

ファインモードでプリントするときの、網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

「クイック」に設定すると、300 dpi 用にデザインされたパターンを 2 倍に拡大して使用します。

「ファイン」に設定すると、600 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。「クイック」よりも高精度でプリントできます。

メモ
- 本項目は、「データ処理」（→ P.3-21）がファインモードの場合にのみ有効です。
- データの量や種類によっては、処理に必要なメモリが不足して、ファインモードでプリントされない場合があります。その場合は、本項目を「クイック」に設定していた場合よりも、「ファイン」に設定していた場合のほうが、印字の精度が低下することがあります。

ジョブタイムアウト

シナイ、スル

共通セットアップメニューの「タイムアウト」（→ P.3-27）の設定を有効にするかどうかを設定します。

重要
オプションのハードディスクを使用している場合は、次のように設定してください。
・本項目を「スル」に設定してください。
・共通セットアップメニューの「タイムアウト」（→ P.3-27）を「シナイ」以外に設定してください。なるべく工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定しておくことをおすすめします。

メモ
LIPS 対応のアプリケーションソフトから ESC/P などの他のエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われない場合に、本項目を「スル」に設定すると、タイムアウトで LIPS モードのジョブを終了して自動切り替えが行われるようになります。

白紙節約

ツカウ、ツカワナイ

アプリケーションソフトから送られた改ページコード（FF）と改ページコードの間に印字するデータがない場合、そのページを白紙で排出するかどうかを設定します。

「ツカウ」に設定すると、白紙を排出しません。「ツカワナイ」に設定すると、白紙を排出します。

この機能を使用すると、白紙が排出されることがなくなり、用紙を節約することができます。

ESC/P 専用セットアップメニューの設定項目

5
CHAPTER

この章では、ESC/P エミュレーションモードに固有の ESC/P 専用セットアップメニューで設定できる内容について説明しています。ESC/P 専用セットアップメニューは、LBP5800 のみ設定できます。

ESC/P専用セットアップメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印が付いている項目は、他の設定項目の内容によって表示されるときと表示されないときがあります。
- ESC/P 専用セットアップメニューは、LBP5800 のみ表示されます。
- 太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。
- オプションのコントロールROMを装着すると、「ESC/P専用セットアップメニュー」に項目が追加されます。詳しくはオプションのコントロール ROM の取扱説明書を参照してください。

■ ページレイアウトグループ

設定項目	設定値	参照ページ
ページフォーマット	**ジッスン　タテ**、ジッスン　ヨコ、10”→ A4　タテ、15”→ A4　ヨコ、15”→ B4　ヨコ、B4 → A4　タテ、B4 → A4　ヨコ	P.5-4
上余白	-127 ～ **+000** ～ +127	P.5-6
用紙位置微調整	-127 ～ **+000** ～ +127	P.5-7
領域	**ヒョウジュン**、ワイド	P.5-9
右マージン既定値	**136 ケタ**、ミギハシ	P.5-9
用紙サイズ	**カレントヨウシ**、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ	P.5-9
2 ページ印刷設定	**シナイ**、ヒダリ、ミギ	P.5-10

■ フォントグループ

設定項目	設定値	参照ページ
漢字書体	**ミンチョウ**、ゴシック、マルゴシック、ID	P.5-11
フォント ID*	001 ～ **002** ～ 999	P.5-11
漢字サイズ	**システム**、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント	P.5-11
文字コード	**カタカナ**、グラフィックス	P.5-12
国別文字	**ニホン**、ノルウェー、デンマーク 2、スペイン 2、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン	P.5-12

■ 印字機能グループ

設定項目	設定値	参照ページ
イメージの補正	**シナイ**、スル	P.5-13
縮小文字	**シナイ**、スル	P.5-13

■ 印字動作グループ

設定項目	設定値	参照ページ
改行機能	**LF コマンドヲマツ**、カイギョウ	P.5-14

■ VFC グループ

設定項目	設定値	参照ページ
連続用紙長	**システム**、1 ギョウ ～ 199 ギョウ	P.5-15
単票用紙長	**システム**、1 ギョウ ～ 199 ギョウ	P.5-15
ミシン目スキップ	**シナイ**、1 ギョウ～ 31 ギョウ	P.5-16

■ その他のグループ

設定項目	設定値	参照ページ
登録レベル	**イチジ**、エイキュウ	P.5-17
カラーモード自動時	**カラー**、モノクロ	P.5-17

ページレイアウトグループの設定項目

ページレイアウトグループでは、ESC/P 準拠プリンタから本プリンタへの用紙サイズの変換と、プリントする用紙サイズの設定や位置の調整などについて設定できます。

ページフォーマット

ジッスン　タテ、ジッスン　ヨコ、10”→A4　タテ、15”→A4　ヨコ、15”→B4　ヨコ、B4→A4　タテ、B4→A4　ヨコ

ESC/P 準拠プリンタ用の用紙サイズで作成されたデータを、本プリンタ用の用紙サイズに変換します。

アプリケーションソフトの印刷条件設定で選択した用紙サイズに合わせて設定してください。ページフォーマットの設定値の詳細やレイアウトについては、「ESC/P エミュレーションのページフォーマット(LBP5800のみ)」(→P.7-7)も併せて参照してください。なお、本プリンタにセットする用紙のサイズは、ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9)で設定します。

各設定値を設定した場合の処理は次のようになります。

メモ　用紙を縦に使う場合をポートレイト、横に使う場合をランドスケープと言います。

「ジッスン　タテ」:(実寸縦)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントします。A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンタに縦置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9)は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます(→領域:P.5-9)。

「ジッスン　ヨコ」:(実寸横)

データの用紙サイズは変換せずに、実寸でプリントします。A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズのカット紙を ESC/P 準拠プリンタに横置きにセットしたときと同じプリント結果になります。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9)は、データと同じ用紙サイズに設定します。
- 「用紙サイズ」を「A3」に設定した場合にのみ、ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます(→領域:P.5-9)。

「10”→A4　タテ」:(10”→ A4 縦)

10”× 11”連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(80 文字× 66 行)を A4 サイズに縮小してポートレイトでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9) は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます(→領域:P.5-9)。
- 10”× 11”連続用紙のサイズは、254 mm × 279.4 mm です。

「15”→A4　ヨコ」:(15”→ A4 横)

15”× 11”連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(136 文字× 66 行)を A4 サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9) は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます(→領域:P.5-9)。
- 15”× 11”連続用紙のサイズは、381 mm × 279.4 mm です。

「15”→B4　ヨコ」:(15”→B4 横)

15”× 11”連続用紙にプリントすることを想定して作成したデータ(136 文字× 66 行)を B4 サイズに縮小してランドスケープでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9) は、B4 サイズが基本ですが、A3 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます(→領域:P.5-9)。
- 15”× 11”連続用紙のサイズは、381 mm × 279.4 mm です。

「B4 → A4　タテ」:(B4 → A4 縦)

B4 サイズの実寸縦用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのポートレイトでプリントします。

メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9) は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます(→領域:P.5-9)。

「B4 → A4　ヨコ」:(B4 → A4 横)

B4 サイズの実寸横用のデータを 3/4 のサイズに縮小して A4 サイズのランドスケープでプリントします。

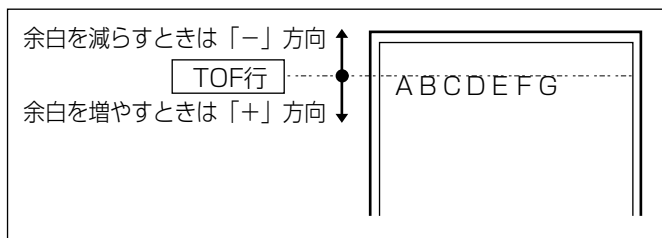
メモ
- ページレイアウトグループの「用紙サイズ」(→ P.5-9) は、A4 サイズが基本ですが、A3、B4 サイズも選択できます。
- ページフォーマットの印字領域を用紙の印字領域いっぱいに広げてプリントする「ワイド領域モード」を設定できます(→領域:P.5-9)。

上余白

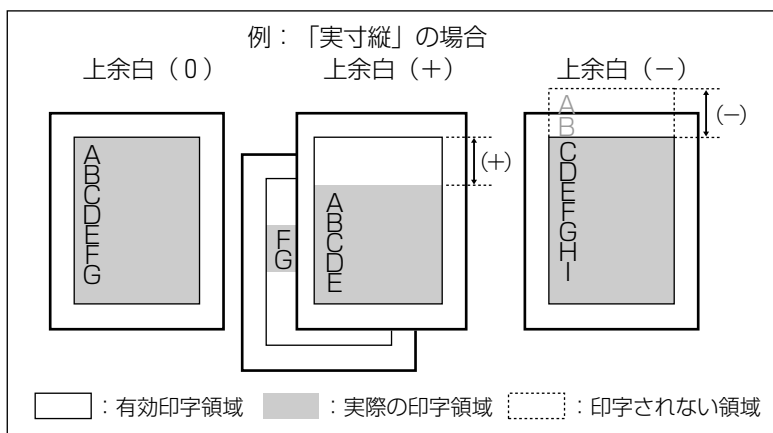
-127 ～ +000 ～ +127

それぞれのページフォーマットで設定されている 1 行目（TOF）の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

「＋」の値で下方向、「－」の値で上方向に、印字開始位置をずらします。

メモ

- 設定値が 1 増えると、ずらす位置が約 0.35 mm（1/72"）増えます。
- 用紙の上端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で -23 mm、「+000」で +22 mm、「+127」で +67 mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域によって印字開始位置は変わります。

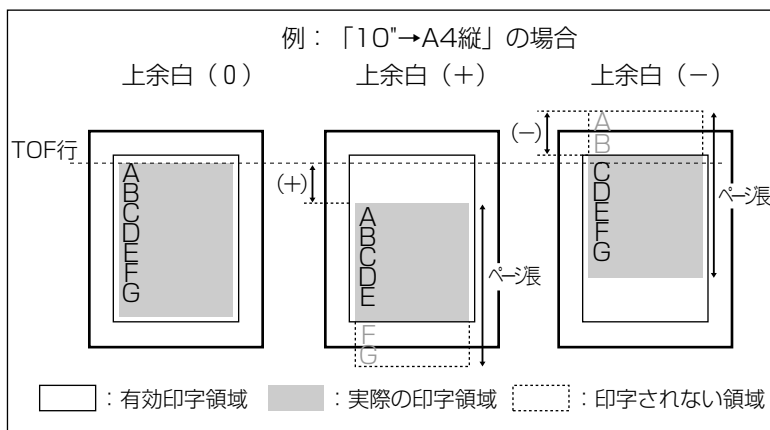
カット紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

メモ

- 上余白を増やした結果、印字データがボトム位置を超える場合は、次ページの 1 行目の位置からプリントされます。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分はプリントされません。下端はボトム位置までプリントされます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

連続用紙のページフォーマットの場合

上余白を調整した結果は次のようになります。

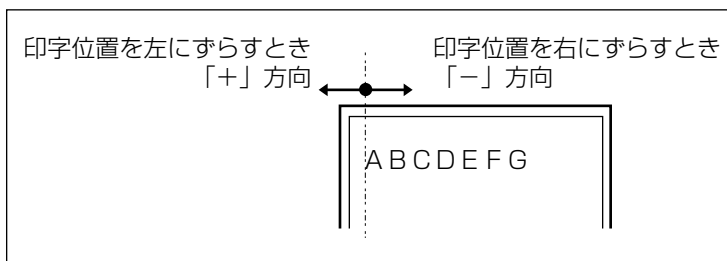
メモ

- 上余白を増やした場合、印字データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータはプリントされません。
- 上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を超えた部分のデータはプリントされません。このとき、下端はページ長までのデータをプリントします。

用紙位置微調整

-127 ～ +000 ～ +127

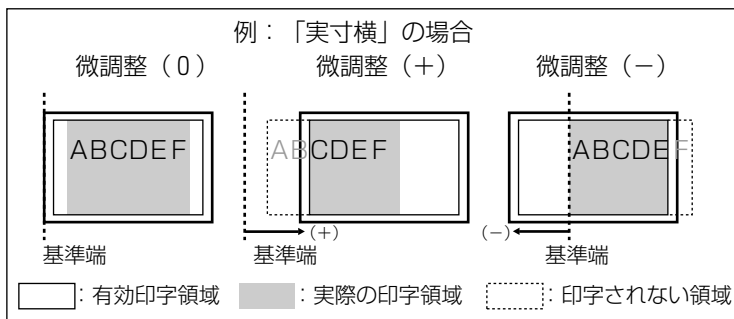
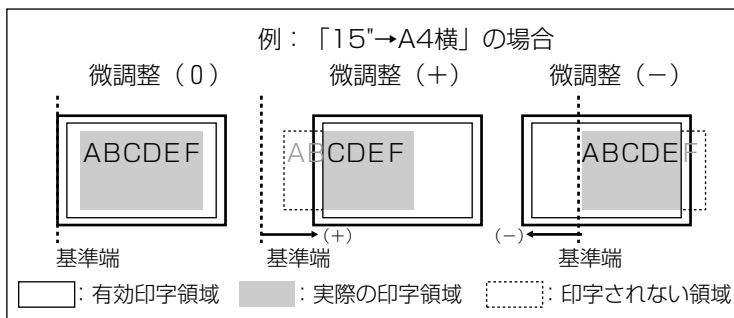
用紙の左端を基準として、ページフォーマットで設定されている印字位置を左右方向にずらします。

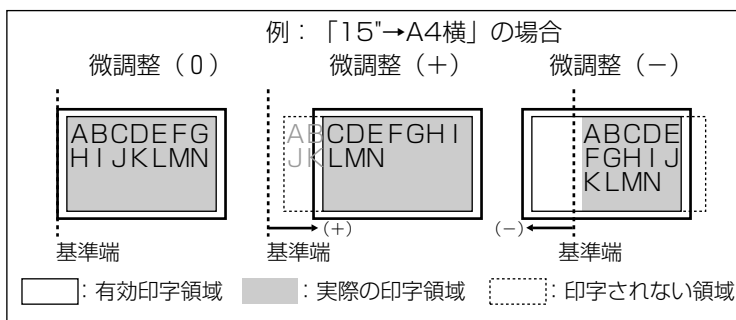
「+」の値で左方向、「−」の値で右方向に、設定した値だけ印字開始位置をずらします。

メモ

- 設定値が1増えると、ずらす位置が約0.35 mm（1/72"）増えます。
- 用紙の左端を基準とした実寸縦のとき、印字開始位置の目安は「-127」で +50 mm、「+000」で +5 mm、「+127」で -40 mm です。ページフォーマットごとの用紙サイズ、印字領域モードによって印字開始位置が変わります。
- データに左端が欠けてプリントされる場合は、本項目の設定を調節して本プリンタの印字領域内（上下左右5 mm 以内）に入るようにしてください。

標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

- 実寸サイズでプリントするページフォーマットの場合

- 縮小プリントするページフォーマットの場合

ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。

領域

ヒョウジュン、ワイド

それぞれのページフォーマットにしたがったレイアウトでプリントする（標準）か、または本プリンタの有効印字領域ほぼいっぱいにプリントする（ワイド）かを設定します。実寸縦、実寸横で「用紙サイズ」が A3 のとき、および 10”→ A4 縦、15”→ A4 横、15”→ B4 横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のページフォーマットの場合に有効です。

ワイドに設定してプリントした場合、ESC/P 準拠プリンタのレイアウトとは異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使ってプリントすることができます。レイアウトについては、「ESC/P エミュレーションのページフォーマット（LBP5800 のみ）」（→ P.7-7）も併せて参照してください。

メモ　用紙のサイズが小さい場合、「ワイド」に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。詳しくは、「ページフォーマットと印字範囲」（→ P.7-12）を参照してください。

右マージン既定値

136 ケタ、ミギハシ

実寸サイズでプリントするページフォーマット（実寸縦、実寸横）のときの、右マージンの位置を設定します。

「136 ケタ」に設定すると、136 桁目の位置を右マージンとします。

「ミギハシ」に設定すると、用紙の有効印字領域の右端を右マージンとします。

用紙サイズ

カレントヨウシ、A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ

プリントする用紙のサイズを設定します。

「カレントヨウシ」に設定すると、現在選択されている給紙元の用紙サイズを設定します。

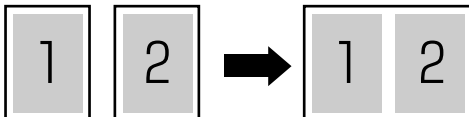
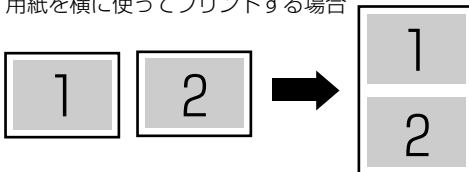
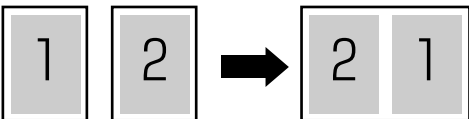
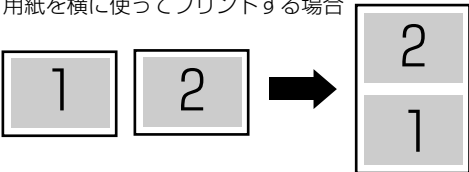
メモ

- 「カレントヨウシ」以外を設定したときに、本項目で設定したサイズの用紙がセットされていないと、指定のサイズの用紙を要求するメッセージが表示されます。設定したサイズの用紙をセットしてください。
- 共通セットアップメニューの「トレイ用紙サイズ」（→ P.3-12）を「フリー」に設定して、給紙トレイからプリントする場合は、「カレントヨウシ」以外の設定値を選択してください。

2 ページ印刷設定

シナイ、ヒダリ、ミギ

2 ページ分のデータを並べて 1 ページにプリントするかどうかを設定します。アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 または B5 サイズの場合に限り有効です。

「ヒダリ」に設定すると、2 ページ分のデータを左または上から並べてプリントします。

「ミギ」に設定すると、2 ページ分のデータを右または下から並べてプリントします。

メモ

- この機能では、縮小はせずに原寸でプリントするので、アプリケーションソフト側で作成したデータが A4 サイズのときは A3 サイズの用紙にプリントされ、B5 サイズのときは B4 サイズの用紙にプリントされます。
- A4 と B5 サイズのデータを並べて 1 ページにプリントすることはできません。
- A4またはB5以外のサイズのデータを2ページ印刷しようとしても、通常の状態でプリントされます。

フォントグループの設定項目

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1 バイトコード表などについて設定できます。

漢字書体

ミンチョウ、ゴシック、マルゴシック、ID

漢字などの全角文字の書体を設定します。

オプションで追加した漢字書体を使用するときは、本項目を「ID」に設定したうえで、書体を ID 番号で指定します。ID 番号は「フォント ID」（→次項目）で指定します。

明朝体 ゴシック体 丸ゴシック体	明朝 **ゴシック** 丸ゴシック

フォント ID

001 ～ **002** ～ 999

* 本項目は、「漢字書体」を「ID」に設定した場合にのみ表示されます。

「漢字書体」（→前項目）で「ID」を設定した場合に、実際に使用する書体の ID 番号を指定します。

重要　装着されていないオプション書体の番号を指定しないでください。

メモ　オプション書体の ID 番号については、「共通フォントリスト（LBP5800 のみ）」（→ P.7-17）を参照してください。

漢字サイズ

システム、8 ポイント、10 ポイント、12 ポイント

漢字などの全角文字のサイズを設定します。

「システム」に設定すると、現在のページフォーマットにしたがった文字サイズでプリントします。実寸縦、実寸横、10”→ A4 縦、15”→ B4 横のページフォーマットでは 10 ポイント相当、15”→ A4 横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のページフォーマットでは 8 ポイント相当です。

文字コード

カタカナ、グラフィックス

1バイトコード表に、カタカナまたは拡張グラフィックスの文字セットをセットします。

「カタカナ」に設定すると、データに1バイトコードの文字があったとき、カタカナの1バイトコード表に対応した文字でプリントします。

「グラフィックス」に設定すると、データに1バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの1バイトコード表に対応した文字でプリントします。

メモ　この機能は、ESC/P準拠プリンタのDIPスイッチの文字コード設定機能に対応しています。

国別文字

ニホン、ノルウェー、デンマーク2、スペイン2、ラテンアメリカ、USA、フランス、ドイツ、UK、デンマーク、スウェーデン、イタリア、スペイン

1バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、指定の国の文字セットをセットします。

印字機能グループの設定項目

印字機能グループでは、イメージデータの補正や、登録文字、縮小文字について設定できます。

イメージの補正

シナイ、スル

矩形罫線や網かけなどのイメージデータを補正するかどうかを設定します。通常は「シナイ」に設定しておきます。次のような現象が出てしまうときに、本項目を「スル」に設定して、イメージデータを補正します。

- 罫線が離れる
- 網かけ上にすじ（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

メモ　本項目を「スル」に設定しても、上記のような現象が改善されない場合があります。本プリンタの解像度が ESC/P 準拠プリンタとは異なるためです。

縮小文字

シナイ、スル

１バイトコード文字(ANK文字)を縮小してプリントするかどうかを設定します。

「スル」に設定すると、１バイトコード文字の横幅を 1/2 程度に縮小してプリントします。

メモ
- この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの縮小印字機能に対応しています。
- 15CPI の文字は縮小プリントされません。

印字動作グループの設定項目

印字動作グループでは、1 行を印字したあとの改行動作について設定できます。

改行機能

LF コマンドヲマツ、カイギョウ

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

「LF コマンドヲマツ」に設定すると、パソコンから改行コード（LF）が送られるまで改行しません。復帰のみ行い、その行の第一文字目へ印字位置を移動します。

「カイギョウ」に設定すると、印字位置が右マージンまたは有効印字領域の右端を超えようとしたとき、改行コード（LF）を受信しなくても復帰／改行を行い、自動的に次の行の第一文字目へ印字位置を移動します。

メモ　この機能は、ESC/P 準拠プリンタの DIP スイッチの自動改行に対応しています。

VFC グループの設定項目

VFC グループでは、連続用紙やカット紙のページ長について設定できます。

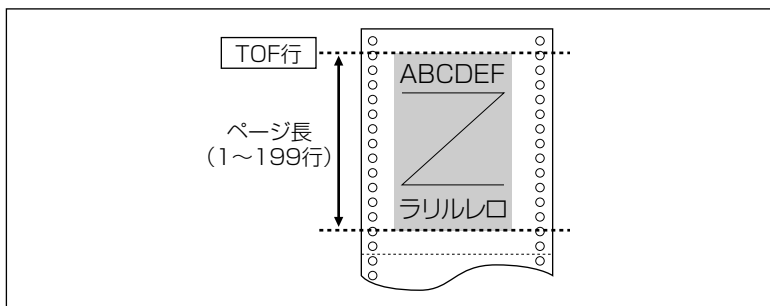
連続用紙長

システム、1 ギョウ 〜 199 ギョウ

連続用紙（10”→A4 縦、15”→A4 横、15"→B4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「1ギョウ」〜「199 ギョウ」に設定すると、1ページにプリントする行数を1〜199 行の範囲で設定します。

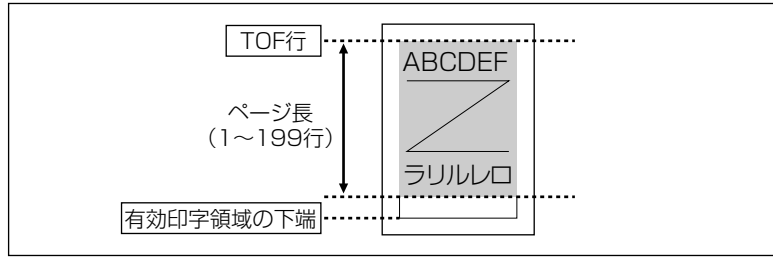
メモ

- 行間は1インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が1増えると、ページ長が約 4.2 mm（1/6”）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

単票用紙長

システム、1 ギョウ 〜 199 ギョウ

カット紙（実寸縦、実寸横、B4 → A4 縦、B4 → A4 横）のページ長を、ページフォーマットで決められている行数に設定するか、操作パネルで指定した行数に設定するかを選択します。

「システム」に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

「1 ギョウ」〜「199 ギョウ」に設定すると、1 ページにプリントする行数を 1 〜 199 行の範囲で設定します。

メモ
- 行間は 1 インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2 mm（1/6"）増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

シナイ、1 ギョウ〜 31 ギョウ

ページ長で設定されている行数のうち、下端からプリントしない（スキップする）行数を設定します。

「シナイ」に設定すると、スキップしません。

メモ
- 行間は 1 インチあたり 6 行（6LPI）です（LPI は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が 1 増えると、スキップされる領域が約 4.2 mm（1/6"）増えます。
- 10" → A4 縦、15" → A4 横、15" → B4 横の連続用紙のページフォーマットと、B4 → A4 縦、B4 → A4 横のワイドモードで有効です。
- ミシン目スキップ行数を設定した場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

その他のグループの設定項目

その他のグループでは、登録文字の保存方法について設定できます。

登録レベル

イチジ、エイキュウ

コントロールコマンドで登録した文字を、そのジョブの間だけ保存するのか、電源をオフにするまで保存するのかを設定します。

「イチジ」に設定すると、登録文字をジョブ中だけ保存します。ジョブが終了すると削除されます。

「エイキュウ」に設定すると、プリンタの電源をオフにするまで保存します。登録内容を削除するには、オフライン状態で［リセット］を押し、［◄］または［►］で「ソフト　リセット」を表示させ、「ハード　リセット」と表示されるまで［実行］を押し続けてハードリセット操作をいます。

メモ
- プリンタはデータを受信すると、コントロールコマンドを認識してプリントを開始／終了します。この処理を「ジョブ」といいます。ジョブ中は、操作パネルのジョブランプが点灯または点滅します。
- 登録データと通常のデータとを別々に送信する場合は、「エイキュウ」に設定してください。

カラーモード自動時

カラー、モノクロ

共通セットアップメニューの「カラーモード」（→ P.3-23）が「ジドウ」に設定されている場合に、ESC/P エミュレーションモードで受信したデータをカラーでプリントするか、モノクロでプリントするかを設定します。

メモ

共通セットアップメニューの「カラーモード」が「ジドウ」に設定されていない場合は、本項目の設定は無視され、共通セットアップメニューの「カラーモード」の設定にしたがってカラーまたはモノクロでプリントされます。

セットアップ以外のメニューの設定項目

6
CHAPTER

この章では、セットアップメニュー以外のメニューで設定できる内容について説明しています。

セットアップ以外のメニューの設定項目一覧

■ 表の見かた

- 「*」印の付いている項目や設定値は、オプション品の有無で表示されるときと表示されないときがあります。
- 「★」印が付いている項目は、LBP5800のみ表示されます。
- 太字で表示されている項目は、工場出荷時の値です。

■ ユーティリティメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ステータスプリント	–	P.6-4
エミュレーションのユーティリティ *★	–	P.6-4
LIPS ユーティリティ★	ステータスプリント、フォントリスト、オーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリント、カラーサンプル	P.6-4
ESC/P ユーティリティ★	ステータスプリント	P.6-5
フォントリスト★	–	P.6-6
標準 N/W プリント★	–	P.6-6
拡張 I/F プリント *	–	P.6-6
キャリブレーション	–	P.6-6
HD ユーティリティ *★	フォーマット 1、フォーマット 2	P.6-6

■ ジョブメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
セキュアプリント *★	–	P.6-8
保存ジョブリスト *★	–	P.6-9
保存ジョブプリント *★	–	P.6-9
印刷履歴リスト	–	P.6-9

■ リセットメニュー

設定項目	設定値	参照ページ
ソフトリセット／ハードリセット	−	P.6-10
排出	−	P.6-10
シャットダウン *★	−	P.6-11

■ 給紙選択メニュー

設定項目	設定値	参照ページ
給紙モード	**ジドウ**、カセット 1、カセット 2*、カセット 3*、カセット 4*、トレイ	P.6-12
トレイ用紙サイズ	**A4**、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウ Y4、フウトウ K2、A5、B5	P.6-13
トレイ用紙タイプ	**フツウシ**、アツガミ、アツガミ H、OHP、フリー	P.6-13
両面印刷	**シナイ**、スル	P.6-14

ユーティリティメニューの設定項目

ユーティリティメニューでは、プリンタ内部の状態や、搭載されているフォントなどの情報をプリントすることができます。

メモ
- 共通ステータスプリント、共通フォントリスト、共通テストプリント、標準N/Wプリントの出力サンプルについては、「動作モード共通のリスト」(→ P.7-16)を参照してください。LIPSのステータスプリントとフォントリスト、ESC/Pのステータスプリントの出力サンプルについては、「動作モード専用のリスト(LBP5800のみ)」(→ P.7-18)を参照してください。
- 各リストは、現在選択されている給紙元の用紙サイズでプリントされます。
- 共通ステータスプリントは、用紙サイズに合わせて拡大/縮小されます。ただし、画像が欠けたり、余白があいたりすることがあります。
- 共通ステータスプリント以外のリストは、A4サイズの用紙にプリントすることをおすすめします。A4サイズ以外の用紙を使用すると、画像が欠けたり、余白があいたりします。

ステータスプリント(共通ステータスプリント)

–

搭載しているメモリ(RAM)の容量や、共通セットアップメニューで設定した内容などがプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

エミュレーションのユーティリティ

–

* 本項目は、LBP5800にオプションのコントロールROMが装着されていて、「動作モード選択」の項目が「ジドウ　センタク」またはオプションのエミュレーションに設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのエミュレーションのユーティリティを実行します。

詳しい内容は、オプションのコントロールROMに添付の取扱説明書を参照してください。

LIPSユーティリティ(LIPS専用ユーティリティ)

ステータスプリント、フォントリスト、オーバレイリスト、マクロリスト、フォームリスト、オーバレイプリント、カラーサンプル

* 本項目は、LBP5800で「動作モード選択」の項目が「ジドウ　センタク」または「LIPS」に設定されている場合にのみ表示されます。

LIPSモードでの本体の内部情報をプリントします。

「ステータスプリント」

共通ステータスプリントの内容に、LIPS 専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

「フォントリスト」

LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

「オーバレイリスト」

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータの番号とサイズを一覧にしてプリントします。登録されているフォーマットデータがない場合は、何もプリントされません。

「マクロリスト」

マクロ領域に登録されているマクロの番号とサイズ、マクロが保存されている場所（RAM など）を一覧にしてプリントします。登録されているマクロがない場合は、何もプリントされません。

「フォームリスト」

フォーム領域に登録されているフォームデータの名称、保存されている場所（RAM）、登録サイズなどを一覧にしてプリントします。登録されているフォームデータがない場合は、何もプリントされません。

「オーバレイプリント」

オーバレイ領域に登録されているフォーマットデータのうち、LIPS 専用セットアップメニューのオーバレイ 1、2 に設定されている番号のオーバレイの内容がプリントされます。オーバレイ 1、2 ともに設定されている場合は、両方の内容がプリントされます。設定されていない場合は何もプリントされません。

「カラーサンプル」

LIPS トランスレータで使用できるカラー印字サンプルとして内蔵されているサンプルをプリントします。印字サンプルには、カラーテーブル、代表的なカラーパターンのサンプル、およびグレースケールがあります。

ESC/P ユーティリティ（ESC/P 専用ユーティリティ）

ステータスプリント

* 本項目は、LBP5800 で「動作モード選択」の項目が「ジドウ　センタク」または「ESC/P」に設定されている場合にのみ表示されます。

ESC/P エミュレーションモードでの本体の内部情報をプリントします。

「ステータスプリント」

共通ステータスプリントの内容に、ESC/P 専用セットアップメニューで設定した内容を加えてプリントされます。

フォントリスト（共通フォントリスト）

ー

＊ 本項目は、LBP5800 のみ表示されます。

本プリンタに搭載されているフォントの ID 番号、名称、サンプルの一覧がプリントされます。動作モードに関係なく選択できます。

メモ　各エミュレータ内でのみ登録されるフォントは出力されません。

標準 N/W プリント

ー

＊ 本項目は、LBP5800 のみ表示されます。

本プリンタに内蔵されているプリントサーバのバージョン、設定内容などがプリントされます。

拡張 I/F プリント

ー

＊ 本項目は、オプションのプリントサーバが装着されている場合にのみ表示されます。

オプションで装着したプリントサーバの名称、バージョン、設定内容などがプリントされます。

キャリブレーション

ー

キャリブレーションとは、カラー印刷時の色味の調整や各トナーの色ずれを調整する機能です。

カラープリントしたときに、以前と色味が異なる場合や色ずれが起こっているときに実行してください。

メモ
- キャリブレーションにかかる時間は、最大で 200 秒です。
- ETB ユニットの交換後には、本項目でキャリブレーションを実行してください。

HD ユーティリティ

フォーマット 1、フォーマット 2

＊ 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクの内容消去を行います。ユーティリティメニューで「HD　ユーティリティ」を設定してから「フォーマット 1」または「フォーマット 2」を選択します。

重要　「フォーマット 1」または「フォーマット 2」を行う場合、本プリンタに接続されているインタフェースケーブル（LAN ケーブル、USB ケーブル、プリンタケーブル）をすべて取り外してください。

「フォーマット 1」

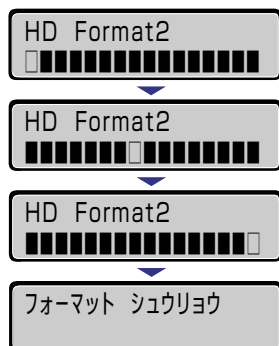
ハードディスクのクイックフォーマットを行います。ハードディスクに異常が発生した場合に実行します。

「フォーマット 2」

ハードディスクの通常のフォーマットを行います。フォーマット 1 でも異常が解消しなかった場合に実行します。

重要　「フォーマット 2」の実行中は、次のような画面が表示され、フォーマットの進行状況を「□」で表します。フォーマットが終了するまで、しばらくお待ちください。

6

セットアップ以外のメニューの設定項目

ジョブメニューの設定項目

ジョブメニューでは、セキュアジョブやボックスに保存したジョブをプリントしたり、セキュアジョブのリストや印刷履歴をプリントすることができます。

セキュアプリント

–

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、セキュアプリントデータがある場合にのみ表示されます。

セキュアプリントのデータをプリントします。

セキュアプリントとは、あらかじめパソコン側でデータに設定しておいたファイル名、ユーザ名、パスワードを、プリンタの操作パネルで指定してプリントする機能です。本項目でファイル名やユーザ名、パスワードを指定しないとプリントできないので、ひとに見られたくないデータをプリントするときなどに便利な機能です。

セキュアプリントは次の手順で行います。

1. ジョブメニューで「セキュア　プリント」を選択し［実行］を押します。
   保存されているプリントジョブのユーザ名が表示されます。
2. 目的のユーザ名を選択し［実行］を押します。
   そのユーザ名でセキュアプリントしたプリントジョブのファイル名が表示されます。
3. 目的のファイル名を選択し［実行］を押します。
4. パスワードを入力します。
   指定したファイルがプリントされます。

メモ

- パスワードは、数字のみ 1 文字以上 7 文字までで設定されています。パスワードは、操作パネルの以下のキーを使って入力します。
  ・数字の増減・・・［▲］［▼］
  ・桁の移動・・・［◄］［►］
  ・入力したパスワードの決定・・・［実行］
- ファイル名、ユーザ名、パスワードの設定は、プリンタドライバで行います。
- セキュアプリントのデータは、プリントしたあと自動的に消去されます。また、電源をオフにするかハードリセットやソフトリセット操作を行うと消去されます。
- 一定時間が経過すると、プリントされていないセキュアプリントデータを自動的に消去することができます。消去時間の設定は、共通セットアップメニューの機能拡張グループの「セキュアプリント消去」（→ P.3-10）で行います。

保存ジョブリスト

ー

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、保存ジョブがある場合にのみ表示されます。

ボックス内の保存ジョブ（ハードディスクに保存してあるジョブ）の一覧をプリントします。

保存ジョブリストには、ボックス名やボックス番号、ファイル名などがプリントされます。

保存ジョブプリント

ー

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、保存ジョブがある場合にのみ表示されます。

ボックスに保存してあるジョブをプリントします。

ボックスにジョブを保存するには、プリンタドライバでボックスを指定して「保存」を実行します。ボックス内のジョブは、電源をオフにしても消去されないので、繰り返しプリントしたい文書を保存しておくと便利です。

保存ジョブプリントは次の手順で行います。

1. ジョブメニューで「ホゾンジョブ　プリント」を選択し［実行］を押します。
   ボックス番号が表示されます。
2. ジョブが保存されているボックス番号を選択し［実行］を押します。
   ファイル名が表示されます。
3. 目的のファイル名を選択し［実行］を押します。
   データがプリントされます。

メモ
- 保存ジョブはプリントしても、ハードディスクに残ります。保存ジョブの消去は、リモート UI で行ってください。（→リモート UI ガイド「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」）
- 保存ジョブはすべてのボックス内のジョブを合わせて、64 ジョブまで保存できます。

印刷履歴リスト

ー

印刷したジョブの履歴をプリントします。

印刷履歴リストには、ファイル名や印刷日時などがプリントされます。

メモ
- 印刷履歴がない場合は、何もプリントされません。
- 印刷履歴リストには、オプションのハードディスクを装着している場合、最大 128 ジョブの履歴がプリントされます。ハードディスクを装着していない場合、最大 32 ジョブの履歴がプリントされます。

リセットメニューの設定項目

リセットメニューでは、プリンタのリセット（ソフトリセット、ハードリセット）やプリンタに残っているプリントデータの排出、ハードディスク装着時に電源をオフにするときに行う「シャットダウン」をすることができます。

ソフトリセット／ハードリセット

－

トラブルが発生したときや、プリントを中止したいときのプリンタのリセットを行います。

ソフトリセットを行うと、現在実行中の処理の中止やプリンタメモリ内のジョブ、受信したプリントデータや処理中のジョブを消去します。ハードリセットを行うと、すべての処理を中止しジョブを消去します。

ソフトリセットを行うには、リセットメニューで「ソフトリセット」を選択し［実行］を押します。

ハードリセットを行うには、リセットメニューで「ソフトリセット」を選択し［実行］を 3 秒以上押して「ハードリセット」を表示させ、指をキーから離します。

重要

- 排紙待ちなど、実行中のデータがないときは、ソフトリセットができない場合があります。そのようなときは、ハードリセットを行ってください。
- ソフトリセットを行うには、必ずパソコン側でプリント中止の操作を行ってからにしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、そのときプリント中のデータやすべてのインタフェースで受信中のデータは消去されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- ソフトリセットまたはハードリセットを行うと、他のインタフェースのデータでも、すでにメモリに受信されたデータはすべて消去されます。ネットワークで使用しているときは、他のパソコンからのデータに影響しないようにリセットを行ってください。
- データの受信中にハードリセットをした場合、まだメモリに受信していないデータは、リセット処理後に受信されます。ただし、正しくプリントされない場合があります。

排出

－

パソコン側でプリントを中止した場合や受信したデータが 1 ページ分に満たない場合には、プリンタのメモリにプリントデータが残ってジョブが正しく終了しないことがあります。そのままでは、次のデータを受け取ることができず、次のプリントができません。このようなときは、本項目の操作を行って強制的にプリントデータを排出してください。

重要

- データを排出したときは、プリント中のデータは消されますので、再度パソコンからプリントしなおしてください。
- オプションのハードディスクを取り付けた場合、セットアップメニューの「ジョブタイムアウト」の設定を「シナイ」以外に設定してください。工場出荷時の状態の「15 ビョウ」に設定することをおすすめします。

メモ

- プリントデータがプリンタのメモリに残ったまま、またはプリントデータがないのにジョブが終了しない場合、ジョブランプが点灯しています。
- ジョブの「タイムアウト」が設定されているときは、設定されている時間が経過すると、１ページ分に満たないデータも自動的に排出されます。工場出荷時の状態では、ジョブの「タイムアウト」は「15 ビョウ」に設定されています。
- 排出の操作を行ってもジョブランプが消灯しないときは、ソフトリセットを行ってください。（→前項目）

シャットダウン

－

* 本項目は、LBP5800 にオプションのハードディスクが装着されていて、「ハードディスク」の項目が「ツカウ」に設定されている場合にのみ表示されます。

オプションのハードディスクの機能を終了させます。

ハードディスクを装着している場合、いきなりプリンタの電源をオフにすると、ハードディスクのアクセス中に電源がオフになってしまう恐れがあります。これを避けるため、本項目でハードディスクの機能を終了させてから電源をオフするようにします。

リセットメニューで「シャットダウン」を選択すると、シャットダウンを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。このとき［実行］を押すと、シャットダウンが実行されます。

シャットダウンが実行されたあと、データ受信もパネル操作も行えない状態になります。再度プリントする場合は、電源を入れなおしてください。

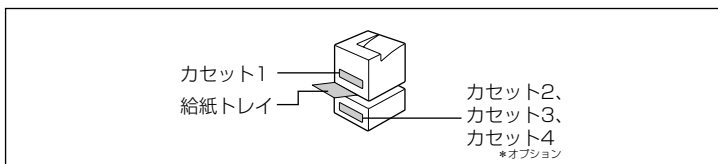
給紙選択メニューの設定項目

給紙選択メニューでは、どの給紙元から給紙するかや、給紙トレイにセットする用紙サイズと用紙タイプなどについて設定できます。

給紙モード

ジドウ、カセット 1、カセット 2*、カセット 3*、カセット 4*、トレイ

*「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」は、オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ表示されます。

給紙するカセットやトレイなどを選択します。選択後、該当する位置の給紙元表示ランプが点灯します。

一番下の給紙元表示ランプは、ペーパーフィーダが装着されている場合は、「カセット 2」、「カセット 3」、「カセット 4」共通の給紙元表示ランプとして点灯します。

重要

自動給紙選択時、不定形サイズの用紙（ユーザペーパー）を 2 つ以上の給紙元にセットすると、セットした用紙のサイズに関わらず以下の順番で給紙元を決定します。給紙元を指定したい場合は、あらかじめ給紙元を選択してからプリントしてください。

- ・「トレイ優先」が「シナイ」の場合（工場出荷時の設定）：カセット 1 →カセット 2* →カセット 3* →カセット 4* →給紙トレイ
- ・「トレイ優先」が「スル」の場合：給紙トレイ→カセット 1 →カセット 2* →カセット 3* →カセット 4*
- ・*：ペーパーフィーダ装着時のみ

メモ

- 装着しているカセット、給紙トレイは、通常は自動給紙選択の対象となりますが、対象から外すこともできます。
- 自動給紙選択で、2 つ以上の給紙元に同じサイズの用紙がセットされている場合は、給紙元表示ランプに関係なく、上段の給紙元から給紙されます。用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている他の給紙元へ自動的に切り替わります。
- 自動給紙選択時の給紙元表示ランプは、共通セットアップメニューの給紙グループの「トレイ優先」（→ P.3-13）の設定が「シナイ」のときはカセット 1 が点灯し、「スル」のときは給紙トレイが点灯します。プリント中は自動給紙で選択された給紙元が点灯します。
- 給紙トレイから給紙する場合は、セットした用紙のサイズをあらかじめ設定しておく必要があります。工場出荷時の設定は、「A4」に設定されています。
- A4 ／レターサイズの用紙をセットするときの置きかたは、共通セットアップメニューの給紙グループの「用紙の向き」（→ P.3-13）の設定と合わせてください。

トレイ用紙サイズ

A4、A4R、B4、A3、LT、LTR、LG、LD、EX、フリー、ユーザペーパー、ハガキ、フウトウ　Y4、フウトウ　K2、A5、B5

給紙トレイにセットした用紙サイズを設定します。

メモ

- 本項目を「フリー」に設定すると、1 枚ずつ違うサイズの用紙にプリントしたいときなどに便利です。ただし、アプリケーションソフトなどで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされている場合、正しくプリントされません。「特殊モード J」(→P.3-41）を「ツカワナイ」に設定している場合は、エラーメッセージが表示され、プリントを中止します。
- 「ユーザペーパー」は、アプリケーションソフトなどで定形以外のサイズを独自に設定してプリントしたいときに選択します。プリント中に用紙サイズ交換を要求するメッセージが表示される場合は、［オンライン］を押してエラーを解除してプリントしてください。
- 「LT」はレターに、「LG」はリーガルに、「LD」はレジャーに、「EX」はエグゼクティブに対応しています。
- 「フウトウ　Y4」は洋形 4 号に、「フウトウ　K2」は角形 2 号に対応していますが、種類によってはプリントできないものもあります。また、有効印字領域は、上下左右の用紙端から 10 mm 内側までとなります。詳しくは、ユーザーズガイド「第 3 章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- 共通セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙サイズ」(→ P.3-12) でも同様の設定ができます。

トレイ用紙タイプ

フツウシ、アツガミ、アツガミ H、OHP、フリー

給紙トレイにセットする用紙のタイプを設定します。本プリンタでは、ここで設定された給紙トレイの用紙のタイプに最適な印刷モードが内部的に設定されます。

厚紙（106 ～ 135g/m^2）に印刷する場合は「アツガミ」、OHP フィルムの場合は「OHP」、ラベル用紙の場合は「アツガミ」に設定します。

給紙トレイを使う場合で、プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）からプリントする場合は、必ずトレイ用紙タイプとデフォルト用紙タイプの設定を一致させます。

重要

- 本プリンタでは、給紙トレイにセットされた用紙のタイプに応じて、内部的に最適な印刷モードに切り替えて印刷します。給紙トレイにセットした用紙のタイプと印刷モードが異なると、エンジンに重大な故障が生じる恐れがあります。
  Windows や Macintosh から給紙トレイを使ってプリントする場合は、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、およびプリンタドライバの「用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。プリンタの設定とプリンタドライバの設定が一致していないとエラーメッセージが表示され、プリンタは停止します。
  また、プリンタドライバを使用できない OS（MS-DOS や UNIX など）からプリントする場合は（LBP5800 のみ）、給紙トレイにセットされた用紙のタイプと「トレイ用紙タイプ」の設定、および「デフォルト用紙タイプ」の設定を必ず一致させてください。
- 「フリー」に設定すると、プリンタドライバで設定した用紙タイプのチェックを行いません。プリンタドライバで設定した用紙と給紙トレイにセットした用紙のタイプが合っているかを必ず確認してお使いください。

- OHP フィルムにプリントする場合は、本プリンタ専用の「キヤノンカラーレーザ OHP 用紙 TR-3 A4（A4 サイズ）」をお使いください。
- 「アツガミ」、「アツガミ H」、「OHP」のいずれかに設定した場合、両面印刷は行えません。また、印刷速度が遅くなります。

メモ

- 「アツガミ」に設定してプリントした結果、定着性をより改善したいときは、「アツガミ H」に設定してお試しください。
- 封筒の場合は、「トレイ用紙サイズ」（→前項目）が「フウトウ　Y4」または「フウトウ　K2」に設定されていれば、この項目で設定する必要はありません。
- ハガキの場合は、「トレイ用紙サイズ」（→前項目）が「ハガキ」に設定されていれば、このメニューで設定する必要はありません。
- 共通セットアップメニューの給紙グループの「トレイ用紙タイプ」（→ P.3-15）でも同様の設定ができます。

両面印刷

シナイ、スル

用紙の片面にプリントするか両面にプリントするかを設定します。

「スル」に設定すると、用紙の両面にプリントします。

重要

通常、Windows パソコンや Macintosh パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバで両面印刷を設定します。MS-DOS や UNIX などを OS とするパソコンからプリントする場合で、両面印刷が設定できないときは、本項目で設定してください。

メモ

- A3、B4、A4、B5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの普通紙のみ両面プリントできます。詳しくはユーザーズガイド「第 3 章 給紙・排紙のしかた」を参照してください。
- ロゴ入りの用紙などに両面プリントするときは、次のように用紙をセットしてください。
  - ・給紙カセットからプリントするときは、1 ページ目のプリント面を下にしてセットします。
  - ・給紙トレイからプリントするときは、1 ページ目のプリント面を上にしてセットします。
- 共通セットアップメニューの給紙グループの「両面印刷」（→ P.3-16）でも同様の設定ができます。

7
CHAPTER

付録

この章では、LIPS、ESC/P の各モードの参考情報や各種リストの内容などについて説明しています。

文字セットコード表とコントロールコマンドリストについて

文字セットコード表

LBP5800に内蔵のフォントのコード表（LIPS、ESC/P）が、本プリンタ付属のCD-ROMの［FONTLIST］フォルダに収められています。詳しくは、［FONTLIST］フォルダ内のReadmeファイルを参照してください。

コントロールコマンドリスト

LBP5800が標準で対応している2つのコントロールコマンド（LIPS、ESC/Pエミュレーション）の機能、書式、コード、パラメータをまとめたリストが、本プリンタ付属のCD-ROMの［COMLIST］フォルダに収められています。LIPSコントロールコマンドは［LIPSCONT.TXT］というファイル名で、ESC/Pエミュレーションコントロールコマンドは［ESCPCONT.TXT］というファイル名で入っています。テキストファイルですので、テキストエディタなどをご使用ください。

メモ　LIPSコントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、オプションの「プログラマーズマニュアル」を参照してください。

LIPS 内蔵フォント（LBP5800 のみ）

■ 文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

- 書体
  書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンタ」「ガーランド」など多数の種類があります。
- グラフィックセット
  あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。
- 文字ピッチ
  文字をプリントする間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（1インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチでプリントされます。「プロポーショナル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。
- サイズ
  文字の大きさをポイント数で示します。単位は「ポイント」で示します。1ポイントは約 0.35mm（1/72"）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。
- スタイル
  スタイルには「直立体（Upright）」と「イタリック体（Italic）」があります。
- 太さ
  文字の太さには「標準（Medium）」「ボールド（Bold）」「ライト（Light）」があります。

■ LIPS II⁺内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） ALP10.XXX → ALP10.ROMA

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ラインプリンタ	ALP10 . X X X	ROMA N_USA	10.00	12.00	直立体	標準
	ALP15 . X X X	N_JPN KATA	15.00	7.20		
	ALP1125 . X X X		11.25	9.60		
明朝体	A1224M . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632M . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040M . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412M . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216M . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020M . X X X		6.00	6.00		
ゴシック体	A1224G . X X X	ROMA N_USA	20.00	7.20	直立体	標準
	A1632G . X X X	N_JPN KATA	15.00	9.60		
	A2040G . X X X	HIRA N_hKEI	12.00	12.00		
	A2412G . X X X	ROMA N_USA	10.00	3.60		
	A3216G . X X X	N_JPN KATA	7.50	4.80		
	A4020G . X X X		6.00	6.00		
Garland	Garland10 . X X X	ROMA N_Jpn	10.00	10.80	直立体	標準
	Garland12 . X X X	N / USA N / GER	12.00			
	Garland17 . X X X	N / SWD N / JPN	17.15			
	GarlandPS11 . X X X	N / UK N_UK	プロポーショナル			
		N_USA N_SWD				
		N_JPN N_GER				
		N_KATA N_HIRA				
		N_GRF				

2 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	K24M . X X X	J78 J83	10.00	7.20	直立体	標準
	K32M . X X X		7.50	9.60		
	K40M . X X X		6.00	12.00		
ゴシック体	K24G . X X X		10.00	7.20		
	K32G . X X X		7.50	9.60		
	K40G . X X X		6.00	12.00		

■ LIPS III ／ IV 内蔵フォント一覧

文字セット名称の後にはグラフィックセットを付けて使用します。

例） Ncourier10.XXX → Ncourier10.ISO_UK

グラフィックセットの「*① ～ ⑥」については、次ページの表を参照してください。

1 バイトビットマップフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Courier	Ncourier10 . X X X	*①②③④	10.00	12.00	直立体	標準
	Ncourier10 I . X X X				イタリック体	
	Ncourier10 B . X X X				直立体	ボールド
	Ncourier15 . X X X	*①②③	15.00	8.16		標準
	Ncourier17 . X X X	*④	16.66	8.16		
	Ncourier20 . X X X	*①②③	20.00	7.20		
		*④	13.60	8.16		

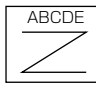
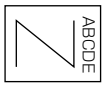
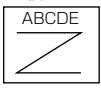
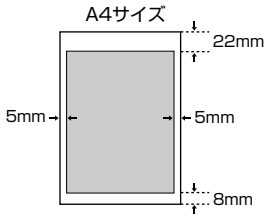
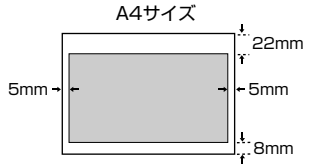
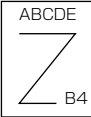
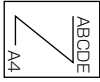
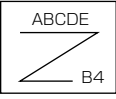
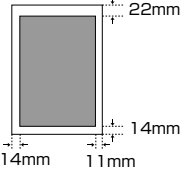
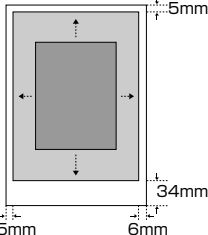
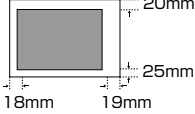
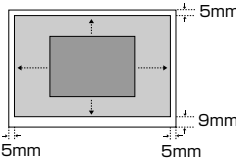
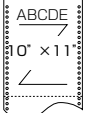
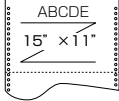
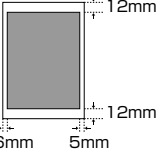
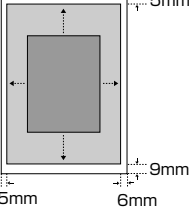
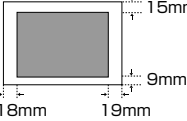
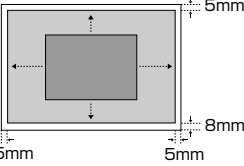
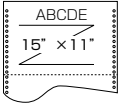
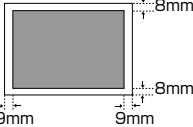
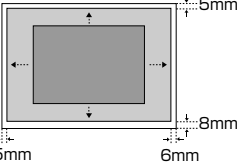
1 バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
ゴシック体	Gothic-Medium-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA KATA	プロポーショナル			
丸ゴシック体	RoundGothic-Light-H.XXX	ROMA KATA HIRA	固定	スケーラブル	直立体	ライト
ラインプリンタ	LinePrinter-Bold .XXX	ROMA KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド
Courier	Ncourier .XXX	*①②③⑤⑥	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Ncourier-Bold .XXX					ボールド
	Ncourier-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Ncourier-BoldItalic .XXX					ボールド
Swiss	Swiss .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Swiss-Bold .XXX					ボールド
	Swiss-Oblique .XXX				イタリック体	標準
	Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド
Dutch	Dutch-Roman .XXX	*①②③⑤⑥	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
	Dutch-Bold .XXX					ボールド
	Dutch-Italic .XXX				イタリック体	標準
	Dutch-BoldItalic .XXX					ボールド
Symbol	Symbol .XXX	SYML SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準

メモ　1 バイトビットマップフォント表と 1 バイトスケーラブルフォント表の「*① ～ ⑥」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

①	ISO_UK ISO_USA ISO_S/F ISO_N/D ISO_JPN ISO_GER ISO_FRC ISO_ITY ISO_SPN
②	88_UK 92_NL 92_UK 92_SWD 92_GER 92_FRC 96M_UK 96M_USA 96M_S/F 96M_N/D 96M_GER 96M_FRC 96X_USA 96P_UK 96P_USA 96P_S/F 96P_NOR 96P_GER 96P_FRC
③	CN_CND CN_NL CN_SWS CN_UK CN_USA CN_SWD CN_N/D CN_JPN CN_GER CN_FRC
④	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBML
⑤	IBMR1 IBMR2 IBM850 IBM819 IBMP IBM860 IBM863 IBM865 IBM1004 IBML IBML2 Win31L Win31R TURKISH
⑥	PSR PSL

2 バイトスケーラブルフォント

書体名	文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
明朝体	Mincho-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
角ゴシック体	Gothic-Medium.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
	Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			
丸ゴシック体	RoundGothic-Light.XXX	J78 J90	固定	スケーラブル	直立体	ライト

ESC/P エミュレーションのページフォーマット（LBP5800 のみ）

ESC/P エミュレーションモードでプリントするときのページフォーマットは、以下のとおりです。

メモ

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせて、本機側の用紙サイズも変更します。ESC/P 専用セットアップメニューの「用紙サイズ」（→ P.5-9）で設定します。「カレントヨウシ」に設定すると、用紙サイズに関係なく現在選択されている給紙元から給紙されます。
- 「実寸縦」「実寸横」で ESC/P 専用セットアップメニューの「用紙サイズ」を「A3」に設定している場合、および「10”→ A4 縦」、「15”→ A4 横」、「15”→ B4 横」、「B4 → A4 縦」、「B4 → A4 横」では、用紙の余白を有効に使ってプリントできるワイド領域モードが使えます。
- 10”× 11”の連続用紙のサイズは、254mm × 279.4mm です。15”× 11”の連続用紙のサイズは、381mm × 279.4mm です。

7

付録

■ ESC/P エミュレーションのページフォーマット

<table>
<tr><th>設定値名</th><th colspan="3">実寸縦</th><th colspan="3">実寸横</th></tr>
<tr><td rowspan="4">ページ
フォーマット</td><td colspan="6">カット紙の場合のページフォーマット</td></tr>
<tr><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td colspan="2">本プリンタ</td><td>ESC/P準拠プリンタ</td><td colspan="2">本プリンタ</td></tr>
<tr><td>縦置き
ABCDE</td><td>縦送り
ABCDE</td><td>横送り
ABCDE</td><td>横置き
ABCDE</td><td>縦送り
ABCDE</td><td>横送り
ABCDE</td></tr>
<tr><td colspan="3">ESC/P準拠プリンタにカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトでプリントします。</td><td colspan="3">ESC/P準拠プリンタにカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。ESC/P準拠プリンタと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープでプリントします。</td></tr>
<tr><td>用紙サイズ</td><td colspan="3">A3、B4、A4、B5、A5、ハガキサイズ。A3サイズにプリントするときにワイド領域モードを設定できます。</td><td colspan="3">「実寸縦」と同じです。</td></tr>
<tr><td>印字文字</td><td colspan="3">初期状態で10ポイントのフォント</td><td colspan="3">「実寸縦」と同じです。</td></tr>
<tr><td>イメージの印字</td><td colspan="3">プリンタの解像度が異なるため、ESC/P準拠プリンタとは印字結果が若干異なります。</td><td colspan="3">「実寸縦」と同じです。</td></tr>
<tr><td>印字領域</td><td colspan="3">A4サイズ
22mm
5mm　5mm
8mm
印字領域</td><td colspan="3">A4サイズ
22mm
5mm　5mm
8mm
印字領域</td></tr>
<tr><td>第一文字目の印字位置</td><td colspan="3">先頭行（TOF行）の左マージン位置です。</td><td colspan="3">「実寸縦」と同じです。</td></tr>
<tr><td>右マージン</td><td colspan="3">用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6”）またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません）</td><td colspan="3">「実寸縦」と同じです。</td></tr>
<tr><td>ボトム位置</td><td colspan="3">ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。</td><td colspan="3">「実寸縦」と同じです。</td></tr>
</table>

B4→A4縦	B4→A4横
カット紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ：縦置き 本プリンタ：縦送り／横送り	ESC/P準拠プリンタ：横置き 本プリンタ：縦送り／横送り
ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を縦置きにセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し用紙のほぼ中央（ワイド領域では有効印字領域ほぼいっぱい）に、ポートレイトでプリントします。	ESC/P準拠プリンタにB4サイズのカット紙を横置きにセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）に、ランドスケープでプリントします。
A3、B4、A4サイズ（A4より小さい用紙へのプリントは保証しません）。 A3、B4サイズを使用した場合でも、A4サイズと同じ比率で縮小されプリントします。	「B4→A4縦」と同じです。
初期状態で8ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。	「B4→A4縦」と同じです。
プリンタの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P準拠プリンタの印字結果とは見た目が異なります。	「B4→A4縦」と同じです。
標準領域モード（A4サイズの場合）：上22mm、下14mm、左14mm、右11mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：上5mm、下34mm、左5mm、右6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：上20mm、下25mm、左18mm、右19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：上5mm、下9mm、左5mm、右5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
標準領域モード：（TOF行）の左マージン位置です。	「B4→A4縦」と同じです。
標準領域モード：用紙サイズに関係なく、初期状態で345.4mm（13.6”）です。（有効印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータはプリントされません） **ワイド領域モード**：印字領域は本機の有効印字領域とほぼ同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
標準領域モード：ESC/P準拠プリンタのカットシートフィーダの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置です。	「B4→A4縦」と同じです。

設定値名	10”→A4縦	15”→A4横
ページフォーマット	連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ：10”×11”　本プリンタ：縦送り／横送り ESC/P準拠プリンタに10”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にポートレイトでプリントします。	連続用紙の場合のページフォーマット ESC/P準拠プリンタ：15”×11”　本プリンタ：縦送り／横送り ESC/P準拠プリンタに15”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。A4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリントします。
用紙サイズ	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字文字	初期状態で10ポイントのフォントを、文字間をつめて印字します。	初期状態で8ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。
イメージの印字	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：12mm、12mm、6mm、5mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：5mm、9mm、5mm、6mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域	標準領域モード（A4サイズの場合）：15mm、9mm、18mm、19mm ワイド領域モード（A3サイズの場合）：5mm、8mm、5mm、5mm 標準領域モードの印字領域 ワイド領域モードの印字領域
第一文字目の印字位置	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
右マージン	「B4→A4縦」と同じです。	「B4→A4縦」と同じです。
ボトム位置	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では271.8mm｛10.7”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。	**標準領域モード**：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では210.8mm｛8.3”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。 **ワイド領域モード**：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

15”→B4横	
連続用紙の場合のページフォーマット	
ESC/P準拠プリンタ	本プリンタ
15”×11”	縦送り

ESC/P準拠プリンタに15”×11”の連続用紙をセットしてプリントするときのフォーマット。B4サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは有効印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープでプリントします。

A3、A4サイズ（B4より小さい用紙へのプリントは保証しません）。
A3サイズを使用した場合でもB4サイズと同じ比率

初期状態で10ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。

「B4→A4縦」と同じです。

「B4→A4縦」と同じです。

「B4→A4縦」と同じです。

標準領域モード：初期状態の印字開始位置から279.4mm（11”）（実際の用紙上では266.7mm｛10.5”｝）下、またはESC/P設定メニューやコントロールコマンドで設定したページ長になります。
ワイド領域モード：有効印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

7
付録

■ ページフォーマットと印字範囲

標準領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ
実寸縦	文字数	112	97	78	67	54	35
	行　数	92	78	63	54	42	28
実寸横	文字数	136	136	112	97	78	54
	行　数	63	52	42	36	28	16
10”→A4縦	文字数	80	80	80	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15”→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	66	66	66	×	×	×
15”→B4横	文字数	136	136	×	×	×	×
	行　数	66	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	97	97	97	×	×	×
	行　数	78	78	82	×	×	×
B4→A4横	文字数	136	136	136	×	×	×
	行　数	52	52	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ワイド領域モード

（桁数 10cpi、行数 6lpi）

ページフォーマット	印字範囲	A3	B4	A4	B5	A5	ハガキ
実寸縦	文字数	112	–	–	–	–	–
	行　数	95	–	–	–	–	–
実寸横	文字数	161	–	–	–	–	–
	行　数	66	–	–	–	–	–
10”→A4縦	文字数	115	99	80	×	×	×
	行　数	98	84	68	×	×	×
15”→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	99	85	68	×	×	×
15”→B4横	文字数	161	139	×	×	×	×
	行　数	77	66	×	×	×	×
B4→A4縦	文字数	150	129	104	×	×	×
	行　数	127	109	88	×	×	×
B4→A4横	文字数	215	186	150	×	×	×
	行　数	88	76	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
表中の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値初期状態の場合です。

ダンプリスト

■ ヘキサダンプリスト

動作モード選択で「HEX-DUMP」に設定すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードでプリントします。

1 行に 32 バイトの 16 進コードを印字します。16 進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。A4 サイズポートレイトでのみプリントできます。
(操作方法：「共通セットアップメニューの機能と操作」→ P.2-2)

Version : R0.08/BEP5C25I　　　Page : 2

00660	E4 76 3D 1F 90 48 64 52	39 24 96 4D 27 94 4A 65	52 B9 64 B6 5D 2F 90 40	40 80 01 E0 50 38 24 16	ｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$.
00680	0D 07 84 42 61 50 B8 64	36 1D 0F 88 44 62 51 38	A4 56 2D 17 8C 46 63 51	B8 E4 76 3D 1F 90 48 64	.. BaPｸd6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. Hd
006A0	52 39 24 96 4D 27 94 4A	65 52 B9 64 B6 5D 2F 90	40 40 80 01 E0 50 38 24	16 0D 07 84 42 61 50 B8	R9$ M' JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸ
006C0	64 36 1D 0F 88 44 62 51	38 A4 56 2D 17 8C 46 63	51 B8 E4 76 3D 1F 90 48	64 52 39 24 96 4D 27 94	d6.. DbQ8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M'
006E0	4A 65 52 B9 64 B6 5D 2F	90 40 40 80 01 E0 50 38	24 16 0D 07 84 42 61 50	B8 64 36 1D 0F 88 44 62	JeRｹdｶ]/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. Db
00700	51 38 A4 56 2D 17 8C 46	63 51 B8 E4 76 3D 1F 90	48 64 52 39 24 96 4D 27	94 4A 65 52 B9 64 B6 5D	Q8､V-. FcQｸｺﾞv=. HdR9$ M' JeRｹdｶ]
00720	2F 90 40 40 80 01 E0 50	38 24 16 0D 07 84 42 61	50 B8 64 36 1D 0F 88 44	62 51 38 A4 56 2D 17 8C	/ @@ .ｶﾞP8$... BaPｸd6.. DbQ8､V-.
00740	46 63 51 B8 E4 76 3D 1F	90 48 64 52 39 24 96 2D	01 00 0F 00 FE 00 04 00	01 00 00 00 00 00 00 00	FcQｸｺﾞv=. HdR9$ -....ｹ...........
00760	00 01 03 00 01 00 00 00	91 00 00 00 01 01 03 00	01 00 00 00 25 00 00 00	02 01 03 00 01 00 00 00	....................%...........
00780	08 00 00 00 03 01 03 00	01 00 00 00 05 00 00 00	06 01 03 00 01 00 00 00	03 00 00 00 11 01 04 00	....
007A0	05 00 00 00 18 06 00 00	15 01 03 00 01 00 00 00	01 00 00 00 16 01 04 00	01 00 00 00 08 00 00 00	....
007C0	17 01 04 00 05 00 00 00	2C 06 00 00			....

7
付録

■ LIPS ダンプリスト

動作モードメニューで「LIPS-DUMP」を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式でプリントします。

現在選択されている給紙口の用紙サイズでプリントします。
（操作方法：「共通セットアップメニューの機能と操作」→ P.2-2）

```
Version : 02.00.R1.00/BEP5D189/FT5D18                    Page : 1

00000 |ec c| |ec P 4 1 ; 6 0 0 J ec ¥| |ec <| |ec [ 1 1 h| |ec [ ? 6 ˽ I| |ec [ 3 0 0 0 ; 1 . r| 72 65 67 72 65 67
00042 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65
        * * * s k i p 2960 Byte * * *
03016 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 72 65 67 |ec [ 0 ; 1 x| |ec [ {| |ec [ 0 ; 4 x| |ec [ }| |ec [ 0
03057 ; 0 x| |ec [ 5 0 0 ; 5 0 0 f| F I L E ˽ N A M E ˽ - - - > ˽ H E I G H T . 0 0 4 ˽ ˽ T . K A W A I
03104 |ec P z M i n c h o - M e d i u m . J 7 8 ec ¥| |ec [ ? 3 5 0 ˽ K| |ec [ 1 0 0 0 ˽ C| |ec [ 3 0 0 0 ; 4
03150 5 0 0 f| ! v ! v ! v ! ! J 8 ; z 9 b ; X D j L ? N a ! ! ! v ! v ! v |ec [ ? 8 5 0 ˽ K| |ec [ 3 5 0
03197 ˽ C| |ec [ 5 0 0 0 ; 1 5 0 0 f| |ec [ 4 m| ! v J 8 ; z 9 b ; X D j L ? N a $ G ; X D j $ 7 $ ? |ec [
03243 7 m| B g $ - $ 5 $ N J 8 ; z $ K $ J $ k $ + |ec [ 2 7 m| ! J # 2 % P % $ % H ! & % 9 % 1 ! < % i %
03291 V % k ! & % U % ) % s % H ! K |ec [ 2 4 m| |ec [ 2 7 5 0 0 ; 1 2 0 0 0 f| |ec [ 5 m| # C # 0 # M # M
```

• 枠囲みパターンについて
コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位で枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

• 改行・改ページを示す記号

｜	lf（改行）、vt（垂直タブ）、nl（復帰改行）による改行を伴うコマンド、または ff（改ページ）による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。（例： lf ｜）

• 異常終了を知らせる記号

!	命令終了コードが送られるまえに、命令開始コードが送られた場合、または、16 進コードのダウンロードで 16 進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

■ LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

制御データは次に示す省略記号を使って印字します。

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

- ベクタモードの LIPS ダンプリスト
  - ･命令は全角文字で印字されます。
  - ･パラメータは 10 進コードで、文字パターンは 16 進コードでそれぞれ印字されます。
  - ･パラメータが 2 つ以上連続するときは、パラメータの間にスペースが入ります。

メモ

- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から20バイトと最後から20バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード 20h（16進コード）は「␣」、文字コード A0h（16進コード）は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。
  【例】 改ページ→ ff　　FFh（16 進コード）→ FF

動作モード共通のリスト

動作モード共通のリストについて説明しています。

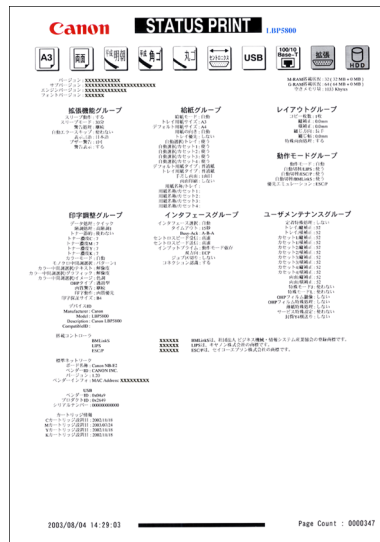
重要　ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したリストとは、一部内容が異なる場合があります。

共通ステータスプリント

搭載している RAM の容量や共通プリント環境の設定内容などがプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「ステータス　プリント」を表示します。
4. ［実行］を押して出力します。

7
付録

共通フォントリスト（LBP5800 のみ）

本プリンタに搭載されているフォントの一覧がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［▶］を押して「フォント　リスト」を表示します。
4. ［実行］を押して出力します。

Canon　FONT LISTS　LBP5800

フォント名称	フォントＩＤ	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Mincho-Medium	002	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Gothic-Medium	004	あいうえおカキクケコ差氏巣背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえおカキクケコ差氏巣背
RoundGothic-Light-H	005	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
RoundGothic-Light	006	あいうえおカキクケコ差氏巣背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Roman		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Dutch-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-Oblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Swiss-BoldOblique		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Bold		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-Italic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Ncourier-BoldItalic		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij
Symbol		ΑΒΧΔΕΦΓΗΙϑΚΛΜΝΟαβχδεφγηιφ
Ncourier10		ABCDEFGHIJKLMNOabcdefghij

Page Count : 0000348

標準 N/W プリント（LBP5800 のみ）

本プリンタに内蔵されているプリントサーバのバージョンや設定内容などがプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［▶］を押して「ヒョウジュン N/W プリント」を表示します。
4. ［実行］を押して出力します。

Canon　CONFIG PRINT　NB-E2

◆　内蔵型プリントサーバ　◆

製品名 :LASER SHOT LBP-2810
インタフェース
　バージョン :3.4
　転送モード :DMA
MACアドレス :00:00:85:20:E0:1F

ファームウエア
　バージョン :1.00
CANON-MIB
　バージョン :2.40

NetWare
　NetWare :Enabled
　ネットワークアドレス :00 00 00 00
　プリントサービス :None
　NDS PServer :Disabled
　　ツリー名 :
　　コンテキスト名 :
　　プリントサーバ名 :
　Bindery PServer :Disabled
　　Netwareサーバ名1 :
　　Netwareサーバ名2 :
　　Netwareサーバ名3 :
　　Netwareサーバ名4 :
　　Netwareサーバ名5 :
　　Netwareサーバ名6 :
　　Netwareサーバ名7 :
　　Netwareサーバ名8 :
　　Netwareサーバ名9 :
　　Netwareサーバ名10 :
　　Netwareサーバ名11 :
　　Netwareサーバ名12 :
　　Netwareサーバ名13 :
　　Netwareサーバ名14 :
　　Netwareサーバ名15 :
　　Netwareサーバ名16 :
　　プリントサーバ名 :
　Nprinter :Disabled
　　プリントサーバ名1 :　プリンタ番号1 :
　　プリントサーバ名2 :　プリンタ番号2 :
　　プリントサーバ名3 :　プリンタ番号3 :
　　プリントサーバ名4 :　プリンタ番号4 :
　Rprinter :Disabled
　　プリントサーバ名1 :　プリンタ番号1 :
　　プリントサーバ名2 :　プリンタ番号2 :
　　プリントサーバ名3 :　プリンタ番号3 :
　　プリントサーバ名4 :　プリンタ番号4 :

フレームタイプ :802.2
ノードアドレス :00 00 85 20 E0 1F

TCP/IP
　TCP/IP :Enabled
　IPアドレス :192.168.5.185
　サブネットマスク :Automatic router sensing
　ゲートウェイアドレス :Automatic router sensing
　DHCP :OFF
　BOOTP :OFF
　RARP :OFF
　Rawモード双方向通信機能 :OFF
　DNSサーバアドレス :0.0.0.0
　DNSサーバ動的更新 :OFF
　DNSホスト名 :
　DNSドメイン名 :
　SMTPサーバアドレス :
　IPPプリンタURI :printer
　LPDバナー :オフ
　TCP/IP印刷制御 :OFF
　　制御モード :
　　指定アドレス :
　　:
　　:

AppleTalk
　AppleTalk :Enabled
　フェーズ :Phase 2
　Object名 :Canon NB-E2 p820lite(No.17)
　Zone名 :*

NetBIOS/NetBEUI
　NetBIOS/NetBEUI :Enabled
　フレームタイプ :802.2
　ポート名 :CANON20E01F

7
付録

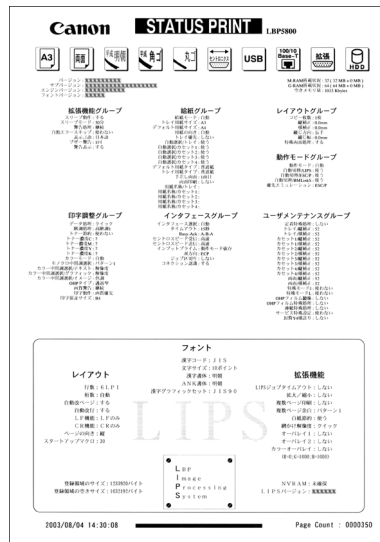
動作モード専用のリスト（LBP5800 のみ）

動作モード専用のリストについて説明しています。

重要 ここに掲載されているリストはサンプルです。お使いのプリンタで出力したリストとは、一部内容が異なる場合があります。

LIPS ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、LIPS 専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、LIPS 専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［►］を押して「ステータス　プリント」を表示します。
6. ［実行］を押して出力します。

LIPS フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントの一覧がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［▶］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、LIPS専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［▶］を押して「フォント　リスト」を表示します。
6. ［実行］を押して出力します。

カラーサンプル

本プリンタが内蔵しているカラーテーブルおよびグレースケールと、代表的なカラーパターンのサンプルがプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［▶］を押して「LIPS　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、LIPS専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［▶］を押して、「カラーサンプル」を表示します。
6. ［実行］キーを押して出力します。

メモ　この他に、本プリンタに内容が登録されている場合にのみ、「LIPS オーバレイリスト」、「LIPS マクロリスト」、「LIPS フォームリスト」、「LIPS オーバレイプリント」がプリントできます。

ESC/P ステータスプリント

共通ステータスプリントの内容に加えて、ESC/P 専用セットアップメニューの設定内容がプリントされます。

1. ［オンライン］を押してオフライン状態にします。
2. ［ユーティリティ］を押してユーティリティメニューを表示します。
3. ［►］を押して「ESC/P　ユーティリティ」を表示します。
4. ［実行］を押して、ESC/P 専用ユーティリティメニューに移ります。
5. ［►］を押して、「ステータス　プリント」を表示します。
6. ［実行］を押して出力します。

7

付録

本プリンタについての注意事項

本プリンタは従来のレーザショットシリーズと仕様が異なる点があり、操作のしかたやプリントの結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと従来シリーズとの違いについて主な注意点を説明します。

従来 LIPS III シリーズとの違いについて（LBP5800 のみ）

- 従来 LIPS III シリーズとは、LBP-A309GII、A304GII、A304EII、A304E、310、320、320PRO、350、B406GII、B406G、B406EII、B406E、B406S、B406D、A404F、A404GII、A404E、A404、A405Jr です。

■ フォント

- 本プリンタ内蔵の明朝体・角ゴシック体は「平成」書体を採用しています。従来シリーズとは書体が異なるため文字のデザインや太さなど印字結果が異なります。また、楷書体フォントについても従来シリーズの書体と異なっています。
- 従来機で使用していたグラフィックセット「J83」を「J90」に改名し、JISX0208-1990で追加された2文字（コード7425および7426）を追加しました。
- クーリエのスケーラブルフォントや従来のJBM1 フォントカード相当など、追加されたフォントがあるため LIPS モードで正確なフォント選択をしていなかった場合、追加されたフォントでプリントされることがあります。

■ データ処理解像度

- 従来のシリーズでは 300dpi ／240dpi で入力データを処理していましたが、本プリンタでは 600dpi で処理をしています。このため、プリント結果などに細かな違いが出てくる場合があります。LIPS ／エミュレーション各モードでの主な注意点は下記の各モードの注意点をご参照ください。
- 本プリンタはファインモード／クイックモードの2種類のデータ処理解像度が指定できますが、ファインモード／クイックモードとも 600dpi で出力します。クイックモードは従来シリーズの互換モードです。

■ 描画処理の違い

- 図形や文字のプリントの描画処理が効率化・統合化等のために変更されており、線のパターンや接続・強調印字など細かなプリント結果やスピードに違いが出ることがあります。

■ メニュー操作

- 従来シリーズと環境設定メニューの構造が異なっており、LIPS ／エミュレーション共通メニューと各動作モード固有のメニューに分かれています。また、設定したメニュー値は操作の都度記憶されリセットや電源をオフにしても引き継がれます。

- 本プリンタでは複数のエミュレーションの切り替えをサポートしており LIPS でもエミュレーションでもひとつのプリント単位を「ジョブ」として取り扱います。ひとつの「ジョブ」がタイムアウトやジョブ終了コマンドで終了するとプリント環境などが初期化されます。

■ インタフェース関連

- 従来のシリーズでは ME-CARD 以外のエミュレーションではインタフェースを切り替えることができませんでしたが、本プリンタではすべてのエミュレーションでセントロニクス以外のインタフェースも使用して切り替えることができます。ただし、5577 エミュレーションなどでホスト側で固有のインタフェースを必要とする場合は、自動インタフェース切り替え・動作モード自動切り替えをオフにする必要があります。詳しくは各エミュレーションの取扱説明書を参照してください。
- 自動インタフェース切り替えでは従来のシリーズと異なりすべてのインタフェースからのデータを同時に受信します。

■ メモリ

- 従来のシリーズとはメモリ管理の方法が異なっており印字データや登録データで使用可能なメモリ容量が異なります。

■ オプションのメモリやフォントなど

- 従来シリーズの拡張 RAM、コントロール ROM、拡張インタフェースボードは使用できません。本プリンタ専用のオプションをご使用ください。

以下に各モード固有の注意について記載します。

■ LIPS III モード

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 従来のシリーズでは文字セット登録時、文字セット補助命令でスケーラブルするかどうかを指定しましたが、本プリンタでは指定に関わらずスケーラブル化して登録します。このため、プリント時に正しいサイズを指定していなかった場合、従来と異なるサイズで印字が行われます。
- ファインモードでの注意点
  - ・ファインモードでは 600dpi でデータを処理するためベクタモードの座標範囲が約 5.5m 四方から半分の約 2.8m 四方になります。
  - ・600dpi でプリントされるため、罫線等の太りかたやパターン等に微妙な違いが出ることがあります。

■ LIPS II モード

- 従来シリーズでは LIPS II モードは 240dpi で処理されていましたが、本プリンタでは 600dpi で処理します。このため以下のような違いが出ることがあります。
  - ・塗りつぶしパターンの細かさや線の太さが若干異なります。
  - ・書体の違いに加えてスケーラブルフォントを使用することによるプリント結果の違いやスピードの違いがあります。

- ・イメージデータや文字登録データなど240dpiのドットパターンは600dpiに自動的に変換されるため、プリント結果の見た目が異なります。
- ・従来240dpiで印字位置を処理していたのに対し、600dpiで処理するため図形や文字などの印字位置に微妙な違いが出ることがあります。
- ・ベクタモードの座標範囲はLIPS IIIでのファインモードの注意に加えてクイックモードでも80%の大きさ（約6.9m四方→約5.5m四方）となります。

- リセット時などの論理用紙サイズの初期化は、従来シリーズではカセットの用紙サイズに従っていましたが、本プリンタではメニューの「デフォルト用紙サイズ」の大きさに初期化します。これにより複数の印字データが連続したときの処理の効率化を図っています。
- 描画処理の違いにより網掛けを重ねあわせたときにプリント結果が異なることがあります。

従来LIPS IVシリーズとの違いについて（LBP5800のみ）

※従来LIPS IVシリーズとは、LBP-730、720、830、450、430、740、750、930などです。

本プリンタは上記のモノクロプリンタと仕様が異なる点があり、操作のしかたやプリントの結果が異なることがあります。以下に、本プリンタと上記のモノクロプリンタとの違いについて主な注意点を説明します。

■ LIPSセットアップの拡大／縮小

- LBP-730/720/830/450/430/740/750/930 のモノクロプリンタと処理方式が違うため、プリント結果が若干異なります。登録済みのオーバレイページの拡大率は変更できません。

■ カラーモード対応

- 本プリンタはカラーモードに対応しています。カラーモード時は600dpiの多値処理または二値処理のいずれかの階調でプリントを行います。また、カラーデータの微妙な色調を、解像度優先、階調優先、色調優先、高解像度のいずれでプリントするかを選択できます。カラーモードとモノクロモードでは、プリント結果が異なる場合があります。カラーモードで飾り罫線を使用する場合は、階調優先でプリントしてください。

LIPS IVc搭載のカラーBJとの違い（LBP5800のみ）

- LIPS IVはLIPS IVcを包含したコマンド体系ですが、ハード的な違いなど以下のような注意点があります。
  - ・カラーBJはLIPS IVcのコマンドを360dpiで処理しますが、本プリンタは600dpiで処理するためプリント結果の見た目が異なることがあります。
  - ・カラーBJとは上余白／下余白（非有効印字領域）が異なります。

LBP-2030 機との違いについて

■ 印字領域

- LBP-2030 機と本プリンタとでは、印字が可能な領域(印字領域)が異なります。LBP-2030 機では、用紙の上端から 8mm と下端から 2mm まで印字できませんでしたが、本プリンタでは、上端/下端から 5mm までは印字できません。このため、LBP-2030 用に作成されたデータは、印字領域の下端 3mm が欠けてプリントされます。

■ 色空間

- LBP-2030 機と本プリンタとでは、カラーデータの画像処理をするための色空間が異なります。LBP-2030 機では NTSC の色空間が採用されていましたが、本プリンタでは HDTV の色空間が採用されています。NTSC から HDTV への変換式は、以下の通りです。

NTSC RGB γ(ガンマ)1.0 → HDTV RGB γ(ガンマ)1.5への変換式

(パラメータの定義)
hR => NTSC R　　(入力 NTSC 赤)
hR => HDTV R　　(中間演算結果、HDTV 赤)
hR'=> HDTV R　　(最終HDTV ガンマ 1.5)
* G、Bの場合は上記に同じ。

0 <= nR,nG,nB,hR,hG,hB <= 1000

(演算式)

$$\begin{vmatrix} hR \\ hG \\ hB \end{vmatrix} = \begin{vmatrix} 1.4608 & -0.3846 & -0.0761 \\ -0.0265 & 0.9625 & 0.0613 \\ -0.0264 & -0.0413 & 1.0676 \end{vmatrix} \begin{vmatrix} nR \\ nG \\ nB \end{vmatrix} \quad \cdots\cdots (1)$$

$$\begin{aligned} hR' &= \{ (hR/1000) \ \wedge \ (1/1.5) \} \times 1000 \\ hG' &= \{ (hG/1000) \ \wedge \ (1/1.5) \} \times 1000 \quad \cdots\cdots (2) \\ hB' &= \{ (hB/1000) \ \wedge \ (1/1.5) \} \times 1000 \end{aligned}$$

(1)式は、行列演算を示しています。
(2)A^Bは、AのB乗(べき乗)を示しています。

7 付録

本プリンタの制限事項

- LBP5800 で、動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能な環境は以下のとおりです。エミュレーションモードの種類によっては、独自のインタフェース処理を行っているため、自動切り替えができない場合があります。

動作モード＼インタフェース	パラレルインタフェース		USB	標準ネットワーク	拡張ネットワーク*
	直結パソコン	プリントサーバアダプタ*			
LIPS	○	○	○	○	○
内蔵 ESC/P	○	○	○	○	○
BMLinkS	×	×	×	○	○
I5577*	△	○	○	○	○
HP-GL*	○	○	○	○	○

「*」印がついているものには、オプション製品が必要です。

○：動作モード自動切り替えおよびインタフェース自動切り替えが可能です。
△：動作モード自動切り替えもインタフェース自動切り替えも行えないことがあります。その場合は、自動切り替えを設定せずに、選択している動作モードとインタフェースに固定させてお使いください。
×：印刷できません。

- LBP5800 で、LIPS メニューより拡大／縮小を行う場合、LIPS II+ モード用ユーザ登録文字セットおよびビットマップフォントGarland PS11／ALP10／ALP15／ALP1125は印字されないことがあります。
- LBP5700 では、LIPS IV コマンドのうち、フォントに関するコマンドは、ユーザ文字セットを登録しない限り使用できません。
- 薄いグレーパターンで枠内を塗りつぶしたり、文字や線を印字する場合などにグレーパターンが正しく印字されないことがあります。
- 印字データや登録データで使用可能なメモリ容量は、プリンタの機種により異なります。また、使用する拡張インタフェースボードによっても異なります。
- 本プリンタでは、印字品質保持のための濃度調節や温度調節、あるいはエンジン状態監視のために、一時的にプリントが中断されることがあります。

ESC/P 準拠プリンタとの違い（LBP5800 のみ）

ESC/P エミュレーションモードでは、ESC/P 対応アプリケーションソフトによるプリントができますが、ESC/P 準拠プリンタとは異なる点があります。プリントにあたっては以下の点にご注意ください。

■ 解像度の違いについて

ESC/P 準拠プリンタの解像度 180dpi に対し、本プリンタは解像度 600dpi で、各ページフォーマット毎の縮小率によってデータを変換します。これによって、プリント結果が ESC/P 準拠プリンタと異なることがあります。

- イメージデータ
  解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
  とくに「15”→ B4 横」では水平方向と垂直方向の縮小率が異なるため、イメージ全体が横長になります。
- 登録文字
  24 × 24 ドット構成の外字は、8 ポイント相当、32 × 32 ドット構成の外字は 10 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。
- 印字間隔等
  解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にズレを生じることがあります。
- 右マージン
  文字が右マージンをわずか（1 ドット未満）でも超える場合は、改行します。

■ 文字パターンの違いについて

- 文字サイズ
  「実寸縦」、「実寸横」、「10”→ A4 縦」、「15”→ B4 横」では 10 ポイント、「15”→ A4 横」、「B4 → A4 縦」、「B4 → A4 横」では 8 ポイントの文字が印字されるため、ESC/P 準拠プリンタより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。
- フォントデザイン
  ESC/P 準拠プリンタとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字等の字形や ANK/ 漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。
- 2 バイトコードの未定義領域
  2 バイトコードの中で、ESC/P では未定義の領域に本プリンタ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本プリンタ特有のパターンが印字されます。

■ その他の制限

- 登録文字数とメモリオーバー
  文字の登録を行っているとき等にメモリが不足すると、「23　ダウンロードメモリ　フル」のメッセージが表示されます。
  登録文字数を増やしたい場合は、以下のような方法で空きメモリを増やして再度プリントしてください。
  ・オプションの拡張 RAM（メインメモリ）の増設
  ・「印字動作」の項目を「トウロク　ユウセン」に設定して再立ち上げ
- 白紙の排出
  ESC/P エミュレーションモードでは、ページ内に印字データがないと排紙を行いません。
- ESC/P スーパー
  ESC/P エミュレーションモードは ESC/P24-J84 仕様にのみ対応しているため、ESC/P スーパーのプリンタ設定では正しくプリントされません。

索引

英数字

あ

か

7
付録

さ

た

は

ま

や

ら

わ

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

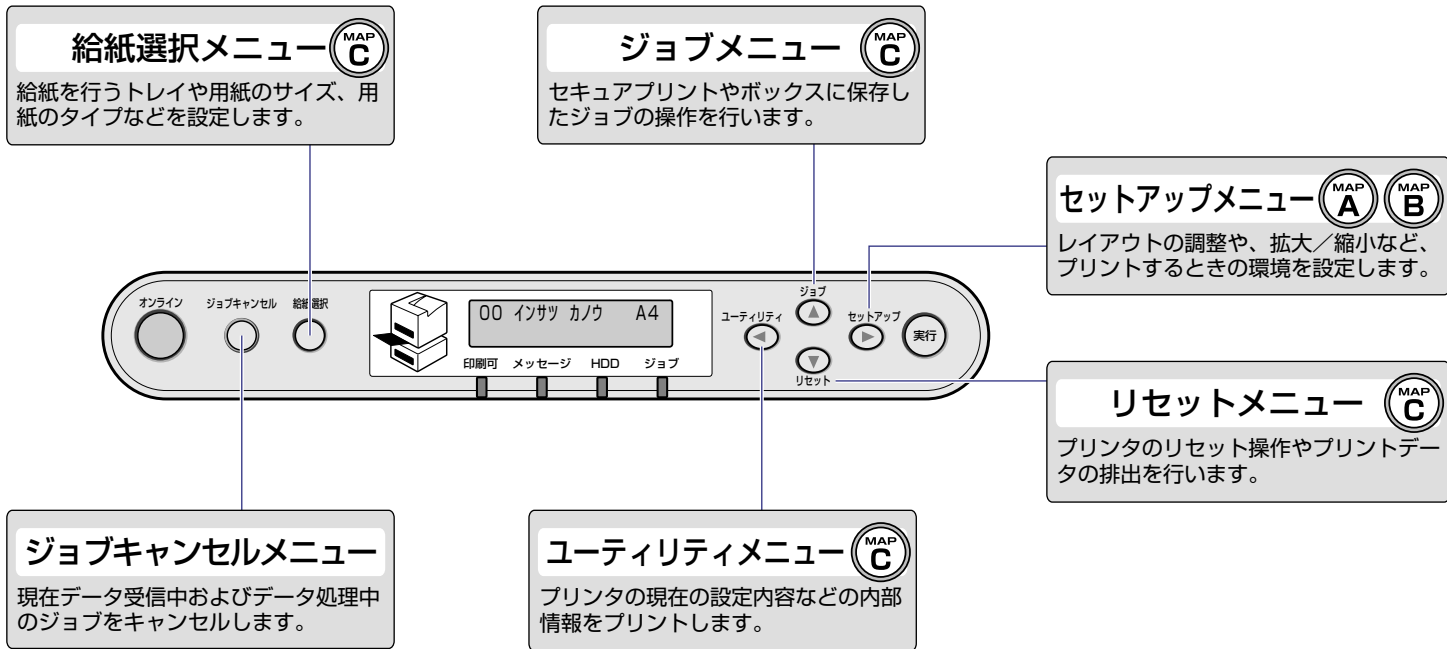
ダウンロードおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ（http://canon.jp/）**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ **CD-ROM の代引き配送サービス**
プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。
ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

- 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

7
付録

メニュースタートアップ

各メニューを表示したあとのメニュー項目（内容）については、該当する MAP A から MAP C を参照してください。

メニュールートマップ

共通セットアップ編

- 拡張機能 ▶◀
  - スリープ動作 P.3-7: する / オンラインのみ
  - スリープモード P.3-7: 30分 / 60分 / 180分 / 15分
  - 警告処理 P.3-8: 継続 / 停止
  - 自動エラースキップ P.3-8: 使わない / 使う
  - 表示言語 P.3-8: 日本語 / ENGLISH
  - ブザー P.3-9: 1回 / 連続
  - 警告表示 P.3-9: する / しない
  - 日付／時刻設定 P.3-9
    - 日付: 2001/01/01 / 2089/12/31
    - 時刻（24時間）: 00:00:00 / 23:59:59
  - ハードディスク★ *P.3-9: 使う / 使わない
  - 割り込み印刷許可★ *P.3-10: する / しない
  - セキュアプリント消去★ *P.3-10: 1時間 / 2時間 / 3時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間
  - rip once★ *P.3-11: 使う / 使わない
- 給紙
  - トレイ用紙サイズ P.3-12: A4 / A4R / B4 / A3 / LT / LTR / LG / LD / EX / フリー / ユーザペーパ / ハガキ / 封筒Y4 / 封筒K2 / A5 / B5
  - デフォルト用紙サイズ P.3-12: A4 / B4 / A3 / A5 / B5
  - 用紙の向き P.3-13: 自動 / 縦送り / 横送り
  - トレイ優先 P.3-13: しない / する
  - 自動選択 P.3-14
    - トレイ: 使う / 使わない
    - カセット1: 使う / 使わない
    - カセット2 *: 使う / 使わない
    - カセット3 *: 使う / 使わない
    - カセット4 *: 使う / 使わない
  - デフォルト用紙タイプ P.3-14: 普通紙 / 厚紙 / 厚紙H / OHP
  - トレイ用紙タイプ P.3-15: 普通紙 / 厚紙 / 厚紙H / OHP / フリー
  - 手差し両面 P.3-16: 1面目 / 2面目
  - 両面印刷 P.3-16: しない / する

下段に続く

上段から続く

- レイアウト ▶◀
  - コピー枚数 P.3-17: 1 / 2000
  - 縦補正 P.3-17: -50.0mm / 0.0mm / +50.0mm
  - 横補正 P.3-17: -50.0mm / 0.0mm / +50.0mm
  - とじ方向 P.3-18: 長手 / 短手
  - とじ幅 P.3-18: -30.0mm / 0.0mm / +30.0mm
  - 特殊両面処理 P.3-19: する / しない
- 印字調整
  - データ処理 P.3-21: ファイン / クイック
  - 階調処理 P.3-21: 高階調1 / 高階調2 / 標準
  - トナー節約 P.3-21: 使わない / 使う
  - トナー濃度C/M/Y/K P.3-22: 1 / 7 / 15
  - カラーモード P.3-23: 自動 / カラー / モノクロ
  - モノクロ中間調 P.3-23: パターン1 / パターン2
  - カラー中間調 P.3-23
    - テキスト: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
    - グラフィック: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
    - イメージ: 解像度 / 階調 / 色調 / 高解像度
  - OHPタイプ P.3-24: 透過型 / 反射型
  - 画質警告 P.3-24: 継続 / 停止
  - 印字動作 P.3-25: 自動 / 画質優先 / 登録優先
- インタフェース
  - インタフェース選択 P.3-27: 自動 / セントロニクス / USB / 標準ネットワーク★ / 拡張ネットワーク*
  - タイムアウト P.3-27: 15秒 / 300秒 / しない / 5秒
  - セントロニクス設定 *
    - busy-ack P.3-28: A-B-A / A-B / B-A
    - セントロ受信速度 P.3-29: 高速 / 中速 / 低速
    - セントロ送信速度 P.3-29: 高速 / 中速 / 低速
    - インプットプライム P.3-29: 動作モード依存 / リセット
    - 双方向 P.3-30: ECP / ニブル / 使わない
  - ジョブ区切り P.3-30: しない / する

下段に続く

上段から続く

- 標準ネットワーク★ *
  - TCP/IP P.3-31
    - フレームタイプ: ETHERNET2 / 無効
    - IPモード *: 手動 / 自動
    - プロトコル *
      - DHCP: オフ / オン
      - BOOTP: オフ / オン
      - RARP: オフ / オン
    - アドレス *
      - IPアドレス: 192.168.0.215
      - サブネットマスク: 0.0.0.0
      - ゲートウェイアドレス: 0.0.0.0
  - 設定登録 P.3-32
  - ネットワーク設定初期化 P.3-32
- 拡張ネットワーク *
  - TCP/IP P.3-32
    - フレームタイプ: ETHERNET2 / 無効
    - IPモード *: 手動 / 自動
    - プロトコル *
      - DHCP: オフ / オン
      - BOOTP: オフ / オン
      - RARP: オフ / オン
    - アドレス *
      - IPアドレス: （数値入力）
      - サブネットマスク: （数値入力）
      - ゲートウェイアドレス: （数値入力）
  - 設定登録 P.3-33
  - ネットワーク設定初期化 P.3-33
- コネクション認識 *P.3-34: する / しない
- 動作モード
  - 動作モード選択 P.3-35: 自動選択 / その他のエミュレーション★* / BMLinkS / LIPS / ESC/P★ / HEX-DUMP / LIPS-DUMP
  - 自動切り替え P.3-37
    - LIPS: 使う / 使わない
    - ESC/P★: 使う / 使わない
    - BMLinkS: 使う / 使わない
    - オプション★ *: 使う / 使わない
  - 優先エミュレーション P.3-38: ESC/P★ / なし / その他のエミュレーション★* / BMLinkS / LIPS

MAP B

MAPBをご参照ください

ルートマップの見かた

- 拡張機能 ▶◀ ←キー操作
- ←「グループ」の階層をあらわしています。
- スリープ動作 ←「設定項目」の階層をあらわしています。
- P.3-7 ←本文中のページ数をあらわしています。
- する / オンラインのみ ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。

●「*」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。

●「★」印の設定項目や設定値は、LBP5800のみ表示されます。

●キー操作について
メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
▲ 上の項目に戻る。
▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
◀ 左の項目を選択する。
▶ 右の項目を選択する。

MAP B メニュールートマップ

共通・LIPS・ESC／Pセットアップ編

MAP A（MAPAより）

ルートマップの見かた

拡張機能 ▶◀ ←キー操作
←「グループ」の階層をあらわしています。
スリープ動作 ←「設定項目」の階層をあらわしています。
P.3-7 ←本文中のページ数をあらわしています。
する／オンラインのみ ←「設定値」の階層をあらわしています。アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値をあらわしています。

- ●ルートマップ中の「▪▪▪▪」は、設定値を省略していることをあらわしています。
- ●「＊」印のグループや設定項目は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明をご覧ください。
- ●「★」印のグループは、LBP5800のみ表示されます。
- ●キー操作について
  メニュー項目の指定は、操作パネルの▲▼◀▶と［実行］の5つのキーを使って操作します。
  - ▲ 上の項目に戻る。
  - ▼ 下の項目に進む。または項目を決定する。［実行］でも同様の操作が行えます。
  - ◀ 左の項目を選択する。
  - ▶ 右の項目を選択する。

ユーザメンテナンス ▶◀ … その他のエミュレーション＊ → 下段に続く

- 定着特殊処理 P.3-39：しない／する
- 印字位置調整 P.3-39
  - 縦補正（トレイ）：0／52／104
  - 横補正（トレイ）：0／52／104
  - 縦補正（カセット1）：0／52／104
  - 横補正（カセット1）：0／52／104
  - 縦補正（カセット2）＊：0／52／104
  - 横補正（カセット2）＊：0／52／104
  - 縦補正（カセット3）＊：0／52／104
  - 横補正（カセット3）＊：0／52／104
  - 縦補正（カセット4）＊：0／52／104
  - 横補正（カセット4）＊：0／52／104
  - 縦補正（両面）：0／52／104
  - 横補正（両面）：0／52／104
- カウンタ初期化
  - ETBユニット P.3-41
  - 定着器 P.3-41
- 特殊モードJ P.3-41：使わない／使う
- 特殊モードL P.3-42：使わない／使う
- OHPフィルム鏡像 P.3-42：しない／する
- 特殊印字処理
  - OHPフィルム特殊処理 P.3-43：しない／する
  - 薄紙特殊処理 P.3-43：しない／する
  - サービス特殊設定 P.3-44：使わない／設定A／設定B
- 封筒Y4横送り P.3-44：しない／する

上段から続く ★ LIPSセットアップ ▶◀ → 下段に続く

（LIPSセットアップはLBP5800のみ表示されます。）

- 拡大／縮小 P.4-3：しない／→A3／→B4／→A4／→B5／→A5／→ハガキ／→リーガル／→レター
- 複数ページ印刷 P.4-3：しない／2ページ（左）／2ページ（右）／4ページ（横-左）／4ページ（横-右）／4ページ（縦-左）／4ページ（縦-右）
- 複数ページ余白 P.4-4：パターン1／パターン2
- ページの向き P.4-6：縦／横
- オーバレイ1 P.4-6：しない／0／32767
- オーバレイ2 P.4-6：しない／0／32767
- カラーオーバレイ P.4-7：しない／する
- スタートアップマクロ P.4-8：0／30／32767
- 漢字コード P.4-8：JIS／シフトJIS／EUC／DEC
- 文字サイズ P.4-9：10ポイント／12ポイント／8ポイント
- 漢字書体 P.4-9：明朝／ゴシック
- ANK書体 P.4-10：明朝／ゴシック／ラインプリンタ
- 漢字グラフィックセット P.4-10：JIS90／JIS78
- 行数 P.4-10：6LPI／8LPI／10～99
- 桁数 P.4-10：自動／10CPI／12CPI／15CPI／10～200
- 自動改ページ P.4-11：する／しない
- 自動改行 P.4-11：する／しない
- CR機能 P.4-11：CRのみ／CR＋LF
- LF機能 P.4-11：LFのみ／LF＋CR
- 網かけ解像度 P.4-12：クイック／ファイン
- ジョブタイムアウト P.4-12：しない／する
- 白紙節約 P.4-12：使う／使わない

上段から続く ★ ESC/Pセットアップ ▶◀ … パネル設定初期化 P.2-21

（ESC/PセットアップはLBP5800のみ表示されます。）

ページレイアウト ▶◀

- ページフォーマット P.5-4：実寸縦／実寸横／10%↓A4縦／15%↓A4横／15%↓B4横／B4→A4縦／B4→A4横
- 上余白 P.5-6：-127／±000／+127
- 用紙位置微調整 P.5-7：-127／±000／+127
- 領域 P.5-9：標準／ワイド
- 右マージン既定値 P.5-9：136桁／右端
- 用紙サイズ P.5-9：カレント用紙／A3／B4／A4／B5／A5／ハガキ
- 2ページ印刷設定 P.5-10：しない／左／右

フォント

- 漢字書体 P.5-11：明朝／ゴシック／丸ゴシック／ID
- フォントID ＊P.5-11：001／002／999
- 漢字サイズ P.5-11：システム／8ポイント／10ポイント／12ポイント
- 文字コード P.5-12：カタカナ／グラフィックス
- 国別文字 P.5-12：日本／ノルウェー／デンマーク2／スペイン2／ラテンアメリカ／USA／フランス／ドイツ／UK／デンマーク／スウェーデン／イタリア／スペイン

印字機能

- イメージの補正 P.5-13：しない／する
- 縮小文字 P.5-13：しない／する

印字動作

- 改行機能 P.5-14：LFコマンドを待つ／改行

VFC

- 連続用紙長 P.5-15：システム／1行／199行
- 単票用紙長 P.5-15：システム／1行／199行
- ミシン目スキップ P.5-16：しない／1行／31行

その他

- 登録レベル P.5-17：一時／永久
- カラーモード自動時 P.5-17：カラー／モノクロ

給紙選択メニュー

給紙選択メニューの設定項目
給紙選択メニューの機能と操作
P2-19 P6-12

- 給紙モード
  - 自動
  - カセット1
  - カセット2 *
  - カセット3 *
  - カセット4 *
  - トレイ
- トレイ用紙サイズ
  - A4
  - A4R
  - B4
  - A3
  - LT
  - LTR
  - LG
  - LD
  - EX
  - フリー
  - ユーザペーパ
  - ハガキ
  - 封筒Y4
  - 封筒K2
  - A5
  - B5
- トレイ用紙タイプ
  - 普通紙
  - 厚紙
  - 厚紙H
  - OHP
  - フリー
- 両面印刷
  - しない
  - する

リセットメニュー

リセットメニューの設定項目
リセットメニューの機能と操作
P2-15 P6-10

- ソフトリセット ハードリセット
- 排出
- シャットダウン ★*

ジョブメニュー

ジョブメニューの設定項目
ジョブメニューの機能と操作
P2-13 P6-8

- セキュアプリント ★*
- 保存ジョブリスト ★*
- 保存ジョブプリント ★*
- 印刷履歴リスト

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューの設定項目
ユーティリティメニューの機能と操作
P2-10 P6-4

- ステータスプリント
- その他のエミュレーションのユーティリティ ★*
- LIPSユーティリティ ★
  - ステータスプリント
  - フォントリスト
  - オーバレイリスト
  - マクロリスト
  - フォームリスト
  - オーバレイプリント
  - カラーサンプル
- ESC/Pユーティリティ ★
  - ステータスプリント
- フォントリスト ★
- 標準N/Wプリント ★
- 拡張I/Fプリント *
- キャリブレーション
- HDユーティリティ ★*
  - フォーマット1
  - フォーマット2

● 「＊」印の設定項目や設定値は、オプションの有無や他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。詳しくは、本文中の説明を参照してください。
● 「★」印の設定項目は、LBP5800のみ表示されます。

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

修理サービスのご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記**お客様相談センター**までご相談ください。

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

PUB. R-IJ-1165AD